

第23回「市民の声」アンケート

集 計 結 果

(令和元年度)

桐生市 総合政策部 広報課

目 次

第23回「市民の声」アンケート集計結果	1
●基本調査項目	2
●環境に対する意識や行動について	28
●市内の移動について	33
●防災について	36
●桐生が岡動物園の有料化について	39
●住宅の耐震について	42
●水道事業について	46
●公共下水道事業について	49
●空き家の利活用について	52
●シティブランディングについて	55
第23回「市民の声」アンケート自由意見集約結果	57

第23回「市民の声」アンケート集計結果

1 調査目的

市民参加による市政を進めるなかで、市政全般について市民の意識、意見などの傾向を調査し、今後の市政運営の参考資料とするもの。

2 調査項目

質問数は全体で48問。次期総合計画などに則った基本調査項目8問と、桐生が岡動物園の有料化や防災など、事業課から調査項目として要望のあった9分野40問で構成されている。また、提言、意見などを記入していただく自由意見記入欄を設けた。

3 調査設計

(1) 調査区域	市内全域
(2) 調査対象	18歳以上の市民
(3) 対象者数	2,000人
(4) 抽出方法	無作為抽出
(5) 調査方法	調査用紙を対象者にメール便で送付し、郵送により回収
(6) 調査期間	令和元年7月15日～31日

4 回収結果

(1) 発送調査対象数	2,000人	(A)
(2) 回収調査対象数	799人	(B)
(3) 回収率	40.0%	$(B/A \times 100)$
(4) 自由意見記入欄記載者数	343人	(751件)

5 資料

- (1) 第23回「市民の声」アンケート集計表
- (2) 第23回「市民の声」アンケート自由意見集約結果

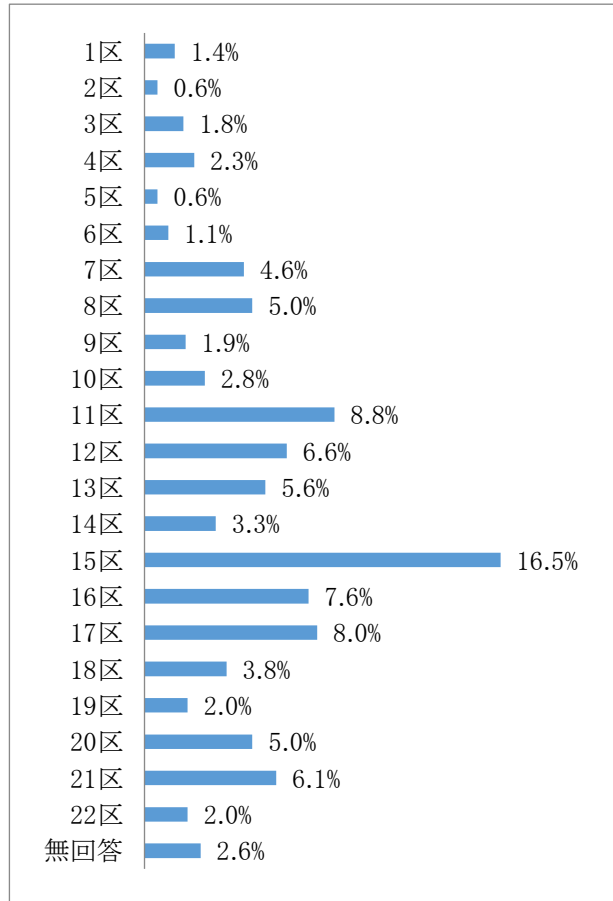
※表やグラフの作成にあたり、パーセントの算出については、小数点以下第2位を四捨五入するなどの調整を行っている。

第23回「市民の声」アンケート集計表

基本調査項目

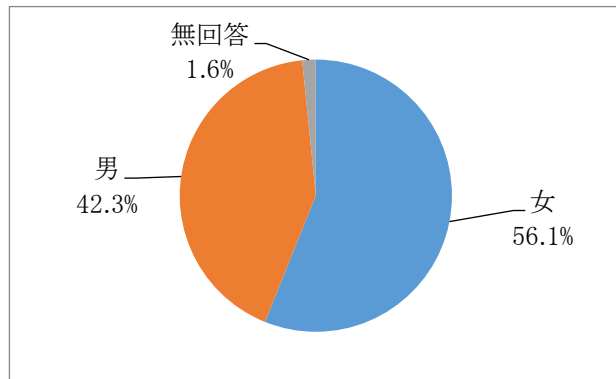
問1 あなたのお住まいの地区に○をつけてください。

	回答数	構成比
1区	11	1.4%
2区	5	0.6%
3区	14	1.8%
4区	18	2.3%
5区	5	0.6%
6区	9	1.1%
7区	37	4.6%
8区	40	5.0%
9区	15	1.9%
10区	22	2.8%
11区	70	8.8%
12区	53	6.6%
13区	45	5.6%
14区	26	3.3%
15区	132	16.5%
16区	61	7.6%
17区	64	8.0%
18区	30	3.8%
19区	16	2.0%
20区	40	5.0%
21区	49	6.1%
22区	16	2.0%
無回答	21	2.6%
計	799	100.0%



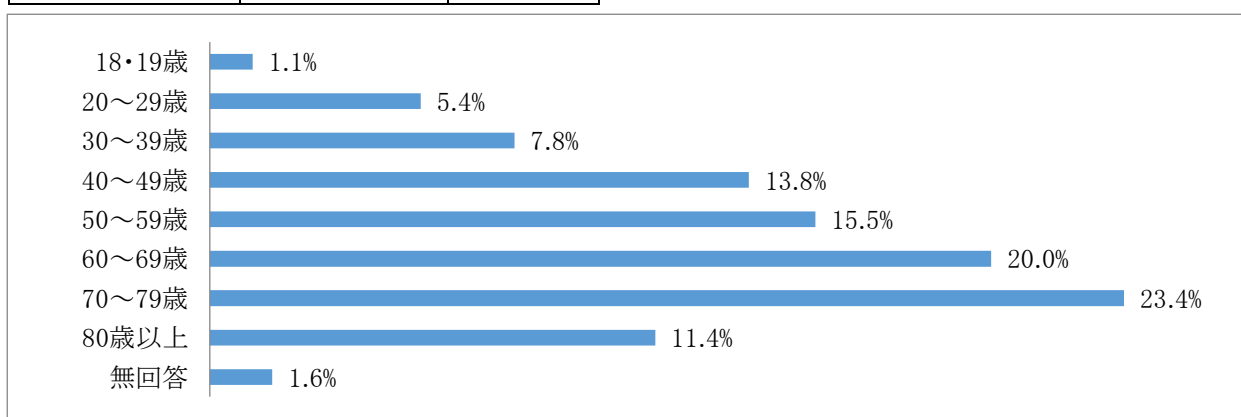
問2 あなたの性別はどちらですか。

	回答数	構成比
女	448	56.1%
男	338	42.3%
無回答	13	1.6%
計	799	100.0%



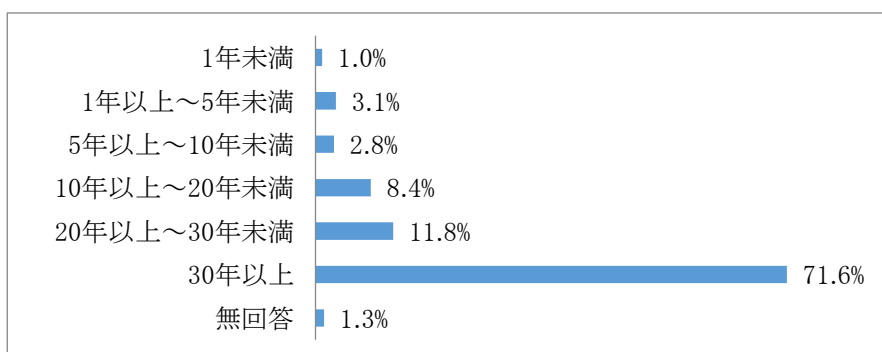
問3 あなたの年齢はおいくつですか。

	回答数	構成比
18・19歳	9	1.1%
20～29歳	43	5.4%
30～39歳	62	7.8%
40～49歳	110	13.8%
50～59歳	124	15.5%
60～69歳	160	20.0%
70～79歳	187	23.4%
80歳以上	91	11.4%
無回答	13	1.6%
計	799	100.0%



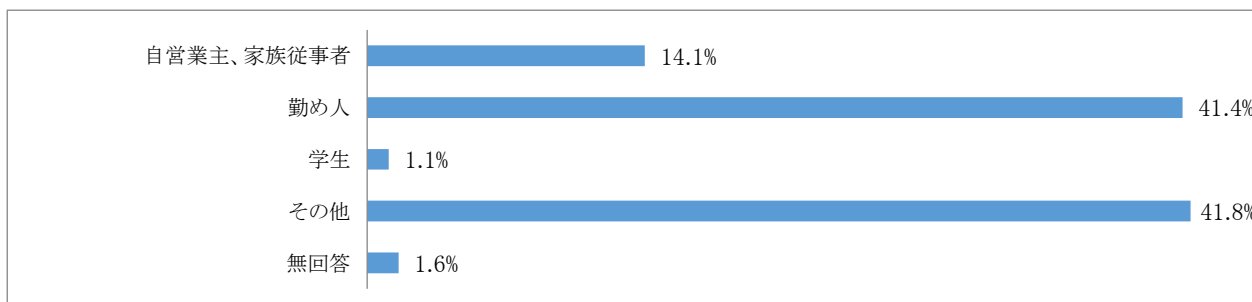
問4 あなたは桐生市に住んでどのくらいになりますか。

	回答数	構成比
1年未満	8	1.0%
1年以上～5年未満	25	3.1%
5年以上～10年未満	22	2.8%
10年以上～20年未満	67	8.4%
20年以上～30年未満	94	11.8%
30年以上	573	71.6%
無回答	10	1.3%
計	799	100.0%



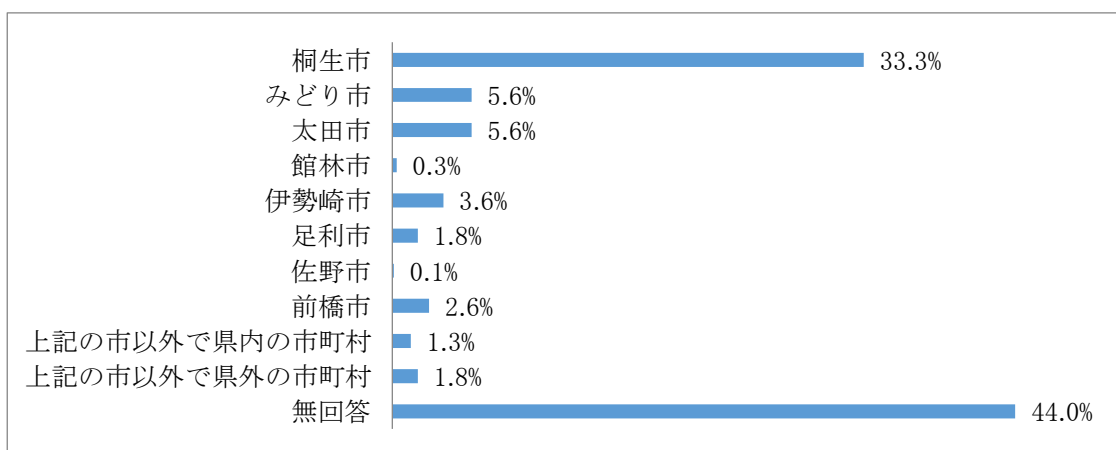
問5 あなたの職業に○をつけてください。兼業の方は、本業と思われるほうに○をつけてください。

	回答数	構成比
自営業主、家族従事者（農・林・漁業、会社・工場・商店などの経営、自由業）	113	14.1%
勤め人（会社・工場・商店・官公庁などに勤務、パート・アルバイト含む）	331	41.4%
学生	9	1.1%
その他（家事専業、無職、その他）	333	41.8%
無回答	13	1.6%
計	799	100.0%



問6 職業をお持ちの方や学生の方にお聞きします。あなたの勤務先（事業所・工場・商店などの所在地）や通学先はどちらですか。

	回答数	構成比
桐生市	266	33.3%
みどり市	45	5.6%
太田市	45	5.6%
館林市	2	0.3%
伊勢崎市	29	3.6%
足利市	14	1.8%
佐野市	1	0.1%
前橋市	21	2.6%
上記の市以外で県内の市町村	10	1.3%
上記の市以外で県外の市町村	14	1.8%
無回答	352	44.0%
計	799	100.0%



問7 あなたの暮らしやお住まいの地区、桐生市についてお聞きします。次の項目について、あなたの実感に最も近いものに○をつけてください。

桐生市におけるまちづくりの指針となる次期総合計画（計画期間：2020年度～2027年度）において、行政分野に関する市民の実感度を計画推進に当たっての指標のひとつとするため、前期基本計画（計画期間：2020年度～2023年度）を構成する全41の分野別施策の目標指標として「市民実感度」を設定し、その把握を行おうとするものである。

各質問に対して「大いに感じる」と「やや感じる」と回答した割合を合わせた「感じる」と回答した割合を「市民実感度」と捉え、今回の2019年度実施調査の結果（数値）を基準値として設定し、今後、各種施策を推進することにより、「市民実感度」の向上を目指す。

今回の結果においては、「市民実感度」が、「農林業は元気で活力がある（7.9%）」をはじめ、商工業に関する「中心市街地、商店街はにぎわっている（2.5%）」や「企業誘致に取り組み、工場の建設などが進んでいる（4.7%）」、また、「働きやすい環境が整っている（6.4%）」といった各産業や雇用の分野に関して、いずれも10%を下回った。これらの産業経済の分野は、まちの活力を維持・向上するためには不可欠な要素となっているため、これまで以上に、その振興を図っていく必要があると考えられる。

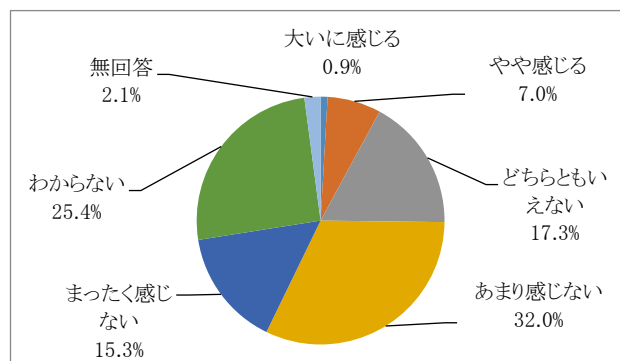
また、「障がいのある人にとって暮らしやすいまちである（8.3%）」や「経済的に弱い立場の人の生活を支える仕組みや自立を促す仕組みが整っている（7.3%）」といった社会的に弱い立場の人の生活環境に対する実感度も10%を下回っていることから、これらの環境整備を図り、福祉の向上に努める必要があると考えられる。

一方で、「いつでも安心して水道が使える（90.8%）」や「下水道や浄化槽などが整備され、快適に暮らすことができる（83.1%）」、「自然環境は良い（80.8%）」については80%を超え、上下水道の整備環境と自然環境は桐生市の強みであると考えられる。

1. 桐生市の農林業は元気で活力がある

「大いに感じる」（0.9%）と「やや感じる」（7.0%）の合計は7.9%となっており、「まったく感じない」（15.3%）と「あまり感じない」（32.0%）の合計47.3%を39.4ポイント下回っている。

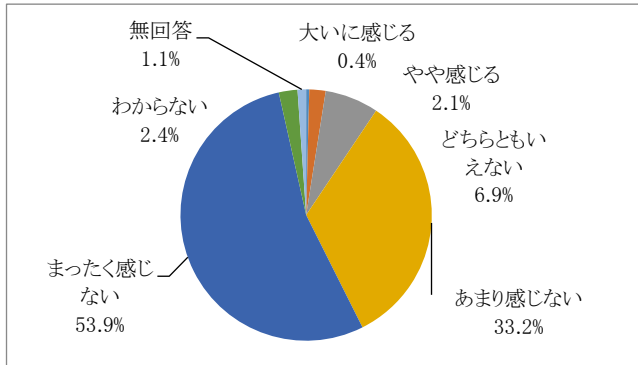
	回答数	構成比
大いに感じる	7	0.9%
やや感じる	56	7.0%
どちらともいえない	138	17.3%
あまり感じない	256	32.0%
まったく感じない	122	15.3%
わからない	203	25.4%
無回答	17	2.1%
計	799	100.0%



2. 桐生市の中心市街地、商店街はにぎわっている

「大いに感じる」(0.4%)と「やや感じる」(2.1%)の合計は2.5%となっており、「まったく感じない」(53.9%)と「あまり感じない」(33.2%)の合計87.1%を84.6ポイント下回っている。

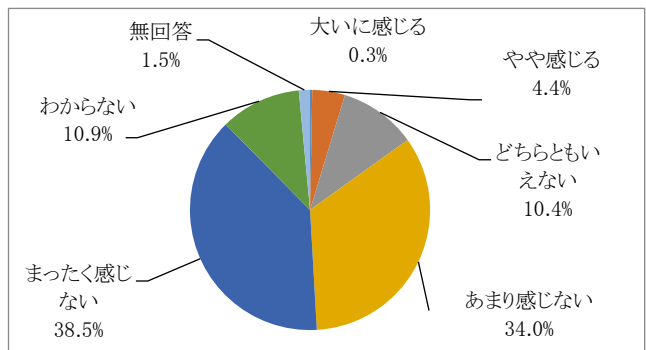
	回答数	構成比
大いに感じる	3	0.4%
やや感じる	17	2.1%
どちらともいえない	55	6.9%
あまり感じない	265	33.2%
まったく感じない	431	53.9%
わからない	19	2.4%
無回答	9	1.1%
計	799	100.0%



3. 桐生市は企業誘致に取り組み、工場の建設などが進んでいる

「大いに感じる」(0.3%)と「やや感じる」(4.4%)の合計は4.7%となっており、「まったく感じない」(38.5%)と「あまり感じない」(34.0%)の合計72.5%を67.8ポイント下回っている。

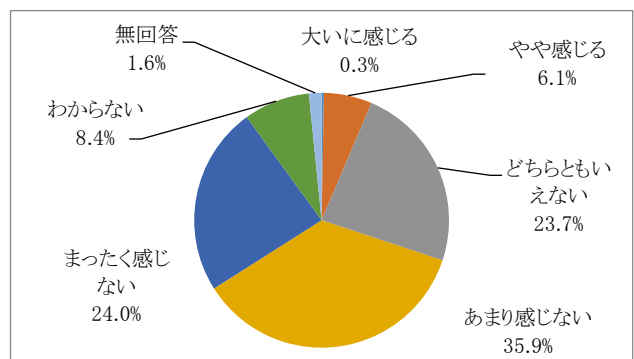
	回答数	構成比
大いに感じる	2	0.3%
やや感じる	35	4.4%
どちらともいえない	83	10.4%
あまり感じない	272	34.0%
まったく感じない	308	38.5%
わからない	87	10.9%
無回答	12	1.5%
計	799	100.0%



4. 桐生市は働きやすい環境が整っている

「大いに感じる」(0.3%)と「やや感じる」(6.1%)の合計は6.4%となっており、「まったく感じない」(24.0%)と「あまり感じない」(35.9%)の合計59.9%を53.5ポイント下回っている。

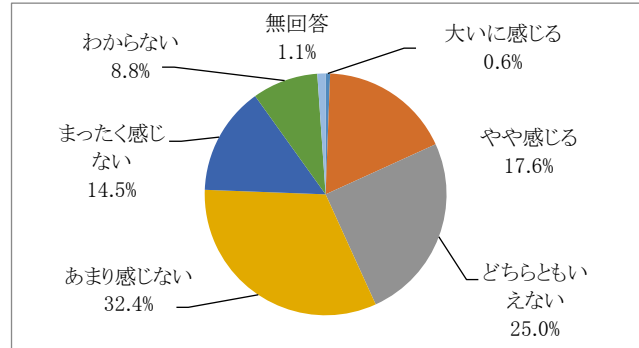
	回答数	構成比
大いに感じる	2	0.3%
やや感じる	49	6.1%
どちらともいえない	189	23.7%
あまり感じない	287	35.9%
まったく感じない	192	24.0%
わからない	67	8.4%
無回答	13	1.6%
計	799	100.0%



5. 桐生市のものづくり産業は元気で活力がある

「大いに感じる」(0.6%)と「やや感じる」(17.6%)の合計は18.2%となっており、「まったく感じない」(14.5%)と「あまり感じない」(32.4%)の合計46.9%を28.7ポイント下回っている。

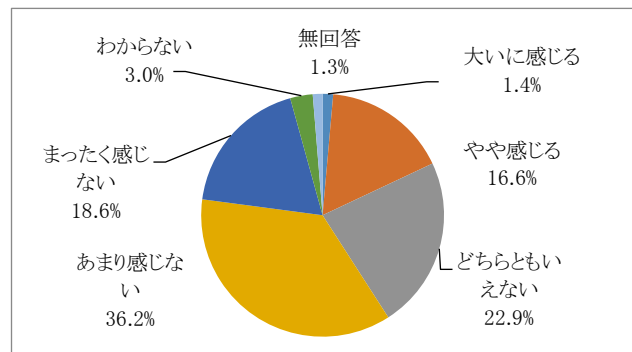
	回答数	構成比
大いに感じる	5	0.6%
やや感じる	141	17.6%
どちらともいえない	200	25.0%
あまり感じない	258	32.4%
まったく感じない	116	14.5%
わからない	70	8.8%
無回答	9	1.1%
計	799	100.0%



6. 桐生市は観光地として市外から人が訪れたい魅力のあるまちである

「大いに感じる」(1.4%)と「やや感じる」(16.6%)の合計は18.0%となっており、「まったく感じない」(18.6%)と「あまり感じない」(36.2%)の合計54.8%を36.8ポイント下回っている。

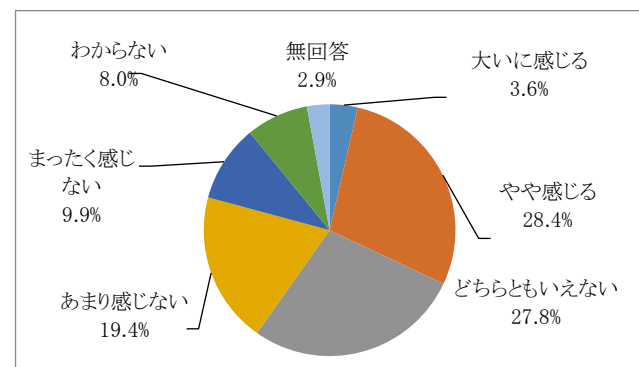
	回答数	構成比
大いに感じる	11	1.4%
やや感じる	133	16.6%
どちらともいえない	183	22.9%
あまり感じない	289	36.2%
まったく感じない	149	18.6%
わからない	24	3.0%
無回答	10	1.3%
計	799	100.0%



7. 桐生市は安心して子どもを産み、育てることができるまちである

「大いに感じる」(3.6%)と「やや感じる」(28.4%)の合計は32.0%となっており、「まったく感じない」(9.9%)と「あまり感じない」(19.4%)の合計29.3%を2.7ポイント上回っている。

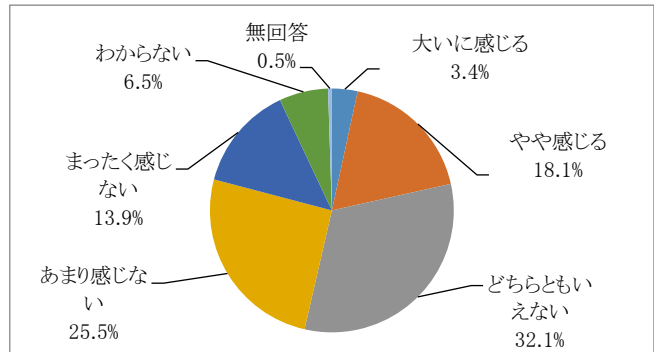
	回答数	構成比
大いに感じる	29	3.6%
やや感じる	227	28.4%
どちらともいえない	222	27.8%
あまり感じない	155	19.4%
まったく感じない	79	9.9%
わからない	64	8.0%
無回答	23	2.9%
計	799	100.0%



8. 桐生市は高齢者にとって暮らしやすいまちである

「大いに感じる」(3.4%)と「やや感じる」(18.1%)の合計は21.5%となっており、「まったく感じない」(13.9%)と「あまり感じない」(25.5%)の合計39.4%を17.9ポイント下回っている。

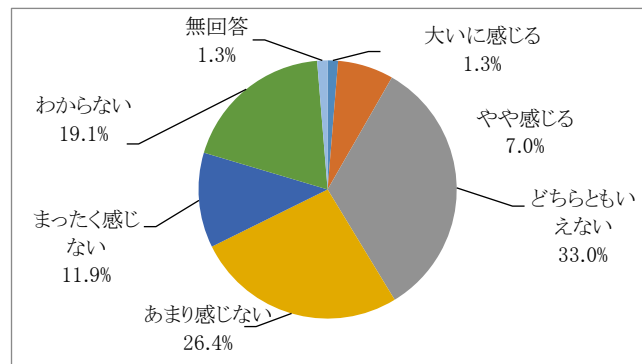
	回答数	構成比
大いに感じる	27	3.4%
やや感じる	145	18.1%
どちらともいえない	256	32.1%
あまり感じない	204	25.5%
まったく感じない	111	13.9%
わからない	52	6.5%
無回答	4	0.5%
計	799	100.0%



9. 桐生市は障がいのある人にとって暮らしやすいまちである

「大いに感じる」(1.3%)と「やや感じる」(7.0%)の合計は8.3%となっており、「まったく感じない」(11.9%)と「あまり感じない」(26.4%)の合計38.3%を30.0ポイント下回っている。

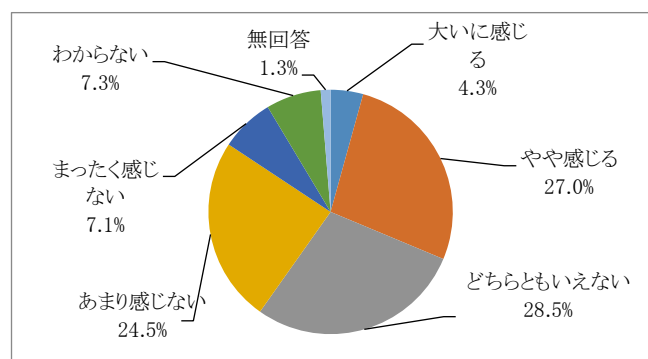
	回答数	構成比
大いに感じる	10	1.3%
やや感じる	56	7.0%
どちらともいえない	264	33.0%
あまり感じない	211	26.4%
まったく感じない	95	11.9%
わからない	153	19.1%
無回答	10	1.3%
計	799	100.0%



10. お住まいの地区には困っている人を見かけたときに声をかけたり協力したりしやすい雰囲気がある

「大いに感じる」(4.3%)と「やや感じる」(27.0%)の合計は31.3%となっており、「まったく感じない」(7.1%)と「あまり感じない」(24.5%)の合計31.6%を0.3ポイント下回っている。

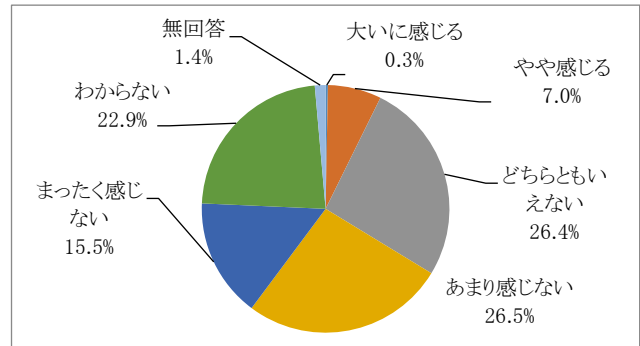
	回答数	構成比
大いに感じる	34	4.3%
やや感じる	216	27.0%
どちらともいえない	228	28.5%
あまり感じない	196	24.5%
まったく感じない	57	7.1%
わからない	58	7.3%
無回答	10	1.3%
計	799	100.0%



11. 桐生市は経済的に弱い立場の人の生活を支える仕組みや自立を促す仕組みが整っている

「大いに感じる」(0.3%)と「やや感じる」(7.0%)の合計は7.3%となっており、「まったく感じない」(15.5%)と「あまり感じない」(26.5%)の合計42.0%を34.7ポイント下回っている。

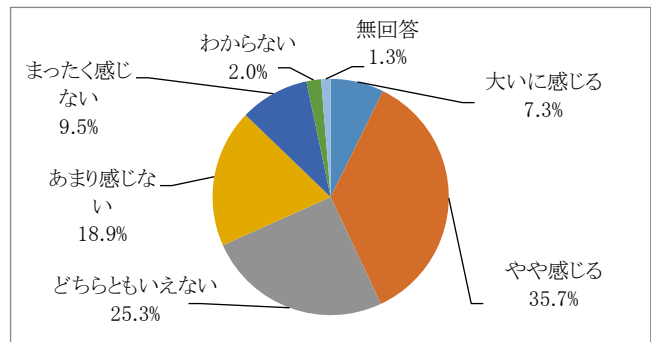
	回答数	構成比
大いに感じる	2	0.3%
やや感じる	56	7.0%
どちらともいえない	211	26.4%
あまり感じない	212	26.5%
まったく感じない	124	15.5%
わからない	183	22.9%
無回答	11	1.4%
計	799	100.0%



12. お住まいの地区には安心してかかることができる医療機関（病院や薬局など）が充実している

「大いに感じる」(7.3%)と「やや感じる」(35.7%)の合計は43.0%となっており、「まったく感じない」(9.5%)と「あまり感じない」(18.9%)の合計28.4%を14.6ポイント上回っている。

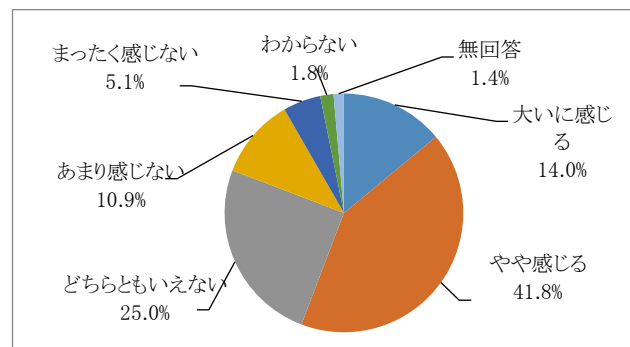
	回答数	構成比
大いに感じる	58	7.3%
やや感じる	286	35.7%
どちらともいえない	202	25.3%
あまり感じない	151	18.9%
まったく感じない	76	9.5%
わからない	16	2.0%
無回答	10	1.3%
計	799	100.0%



13. 自分は心身ともに健康的な生活を送ることができる

「大いに感じる」(14.0%)と「やや感じる」(41.8%)の合計は55.8%となっており、「まったく感じない」(5.1%)と「あまり感じない」(10.9%)の合計16.0%を39.8ポイント上回っている。

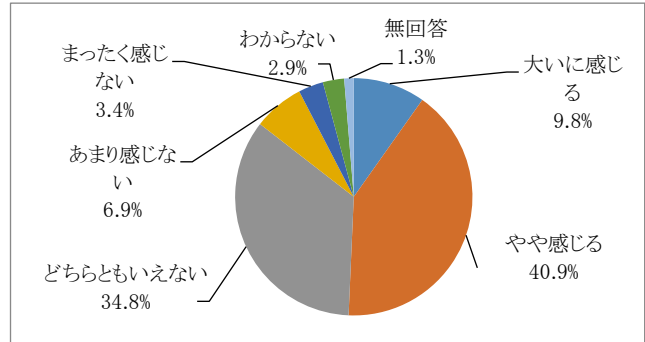
	回答数	構成比
大いに感じる	112	14.0%
やや感じる	334	41.8%
どちらともいえない	200	25.0%
あまり感じない	87	10.9%
まったく感じない	41	5.1%
わからない	14	1.8%
無回答	11	1.4%
計	799	100.0%



14. 自分は節電や環境に配慮した製品の購入など日頃から地球環境に配慮した生活をしている

「大いに感じる」(9.8%)と「やや感じる」(40.9%)の合計は50.7%となっており、「まったく感じない」(3.4%)と「あまり感じない」(6.9%)の合計10.3%を40.4ポイント上回っている。

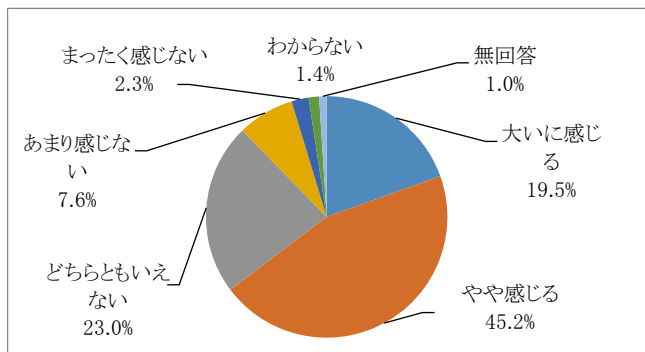
	回答数	構成比
大いに感じる	78	9.8%
やや感じる	328	40.9%
どちらともいえない	278	34.8%
あまり感じない	55	6.9%
まったく感じない	27	3.4%
わからない	23	2.9%
無回答	10	1.3%
計	799	100.0%



15. 自分は日頃から、ごみの減量や資源のリサイクルを意識して生活をしている

「大いに感じる」(19.5%)と「やや感じる」(45.2%)の合計は64.7%となっており、「まったく感じない」(2.3%)と「あまり感じない」(7.6%)の合計9.9%を54.8ポイント上回っている。

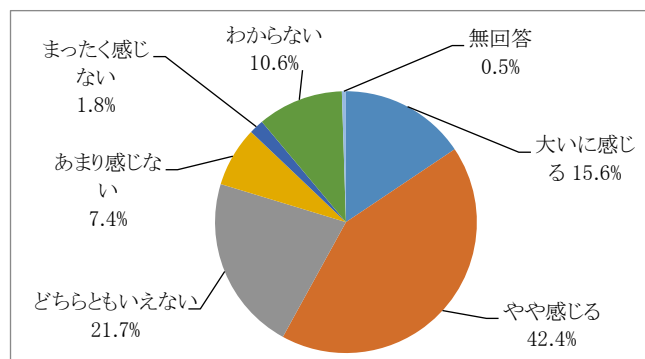
	回答数	構成比
大いに感じる	156	19.5%
やや感じる	361	45.2%
どちらともいえない	184	23.0%
あまり感じない	61	7.6%
まったく感じない	18	2.3%
わからない	11	1.4%
無回答	8	1.0%
計	799	100.0%



16. 桐生市は消防や救急の体制が十分に整っている

「大いに感じる」(15.6%)と「やや感じる」(42.4%)の合計は58.0%となっており、「まったく感じない」(1.8%)と「あまり感じない」(7.4%)の合計9.2%を48.8ポイント上回っている。

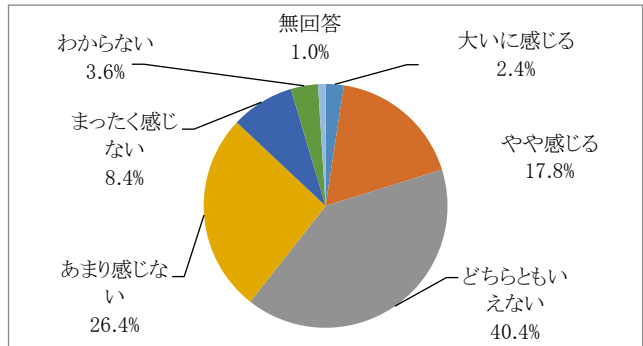
	回答数	構成比
大いに感じる	125	15.6%
やや感じる	339	42.4%
どちらともいえない	173	21.7%
あまり感じない	59	7.4%
まったく感じない	14	1.8%
わからない	85	10.6%
無回答	4	0.5%
計	799	100.0%



17. 自分は災害（地震・火災・風水害）に対する備えが十分であるという安心感を持っている

「大いに感じる」(2.4%)と「やや感じる」(17.8%)の合計は20.2%となっており、「まったく感じない」(8.4%)と「あまり感じない」(26.4%)の合計34.8%を14.6ポイント下回っている。

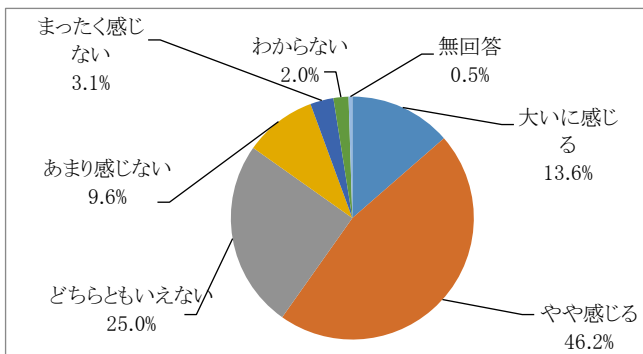
	回答数	構成比
大いに感じる	19	2.4%
やや感じる	142	17.8%
どちらともいえない	323	40.4%
あまり感じない	211	26.4%
まったく感じない	67	8.4%
わからない	29	3.6%
無回答	8	1.0%
計	799	100.0%



18. お住まいの地区は治安が良く、安心して暮らすことができる

「大いに感じる」(13.6%)と「やや感じる」(46.2%)の合計は59.8%となっており、「まったく感じない」(3.1%)と「あまり感じない」(9.6%)の合計12.7%を47.1ポイント上回っている。

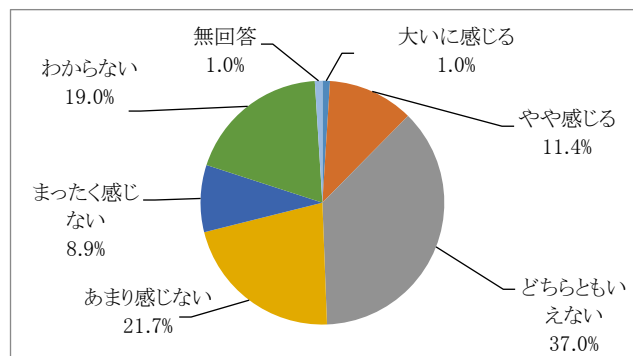
	回答数	構成比
大いに感じる	109	13.6%
やや感じる	368	46.2%
どちらともいえない	200	25.0%
あまり感じない	77	9.6%
まったく感じない	25	3.1%
わからない	16	2.0%
無回答	4	0.5%
計	799	100.0%



19. 桐生市は消費者のための情報提供や相談体制が十分に整っている

「大いに感じる」(1.0%)と「やや感じる」(11.4%)の合計は12.4%となっており、「まったく感じない」(8.9%)と「あまり感じない」(21.7%)の合計30.6%を18.2ポイント下回っている。

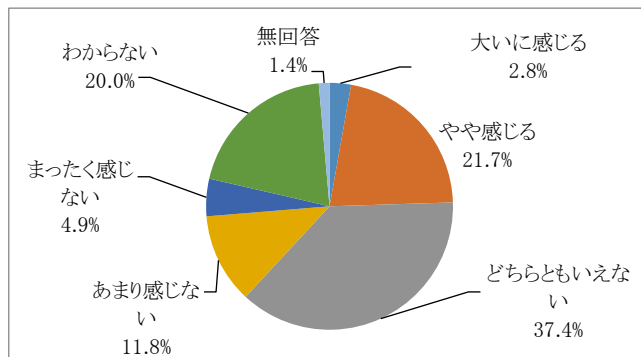
	回答数	構成比
大いに感じる	8	1.0%
やや感じる	91	11.4%
どちらともいえない	296	37.0%
あまり感じない	173	21.7%
まったく感じない	71	8.9%
わからない	152	19.0%
無回答	8	1.0%
計	799	100.0%



20. お住まいの地区では子どもが社会で生活していく上で必要な学力や体力、生活習慣などをしっかり身につけている

「大いに感じる」(2.8%)と「やや感じる」(21.7%)の合計は24.5%となっており、「まったく感じない」(4.9%)と「あまり感じない」(11.8%)の合計16.7%を7.8ポイント上回っている。

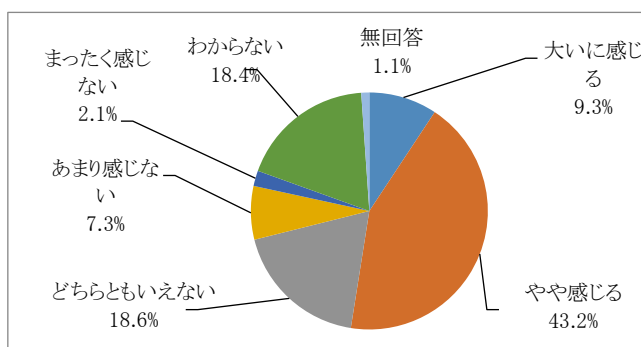
	回答数	構成比
大いに感じる	22	2.8%
やや感じる	173	21.7%
どちらともいえない	300	37.4%
あまり感じない	94	11.8%
まったく感じない	39	4.9%
わからない	160	20.0%
無回答	11	1.4%
計	799	100.0%



21. お住まいの地区では子どもが健全に育っている

「大いに感じる」(9.3%)と「やや感じる」(43.2%)の合計は52.5%となっており、「まったく感じない」(2.1%)と「あまり感じない」(7.3%)の合計9.4%を43.1ポイント上回っている。

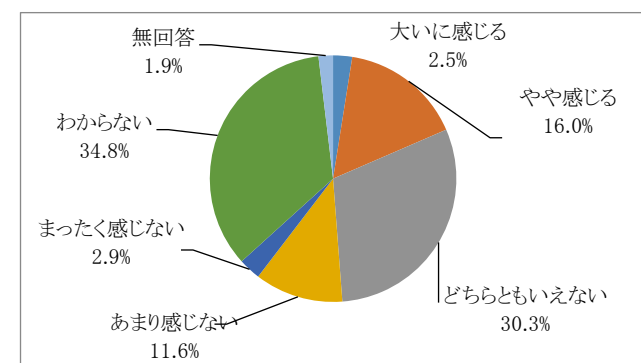
	回答数	構成比
大いに感じる	74	9.3%
やや感じる	345	43.2%
どちらともいえない	149	18.6%
あまり感じない	58	7.3%
まったく感じない	17	2.1%
わからない	147	18.4%
無回答	9	1.1%
計	799	100.0%



22. 桐生市は児童・生徒・保護者のための教育に関する相談・支援体制が充実している

「大いに感じる」(2.5%)と「やや感じる」(16.0%)の合計は18.5%となっており、「まったく感じない」(2.9%)と「あまり感じない」(11.6%)の合計14.5%を4.0ポイント上回っている。

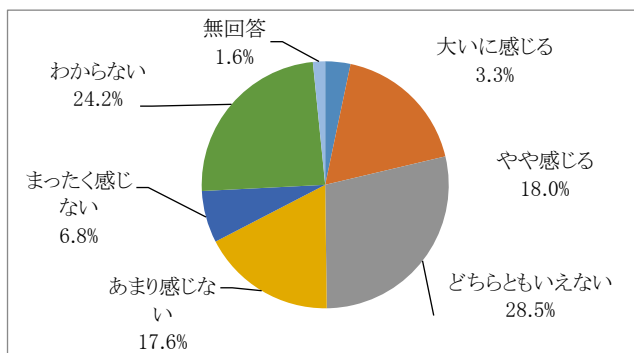
	回答数	構成比
大いに感じる	20	2.5%
やや感じる	128	16.0%
どちらともいえない	242	30.3%
あまり感じない	93	11.6%
まったく感じない	23	2.9%
わからない	278	34.8%
無回答	15	1.9%
計	799	100.0%



23. 桐生市は生涯にわたって学習できる環境が充実している

「大いに感じる」(3.3%)と「やや感じる」(18.0%)の合計は21.3%となっており、「まったく感じない」(6.8%)と「あまり感じない」(17.6%)の合計24.4%を3.1ポイント下回っている。

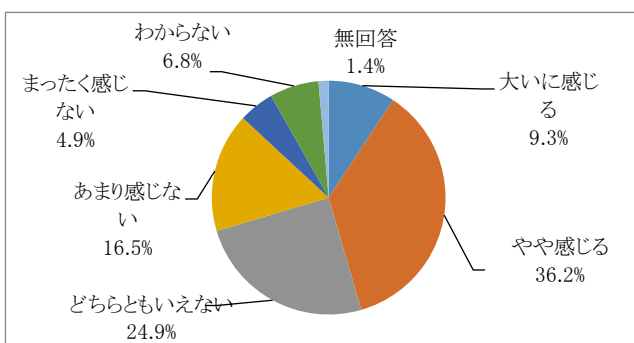
	回答数	構成比
大いに感じる	26	3.3%
やや感じる	144	18.0%
どちらともいえない	228	28.5%
あまり感じない	141	17.6%
まったく感じない	54	6.8%
わからない	193	24.2%
無回答	13	1.6%
計	799	100.0%



24. 自分は桐生市の芸術や文化、文化財に愛着や誇りを感じる

「大いに感じる」(9.3%)と「やや感じる」(36.2%)の合計は45.5%となっており、「まったく感じない」(4.9%)と「あまり感じない」(16.5%)の合計21.4%を24.1ポイント上回っている。

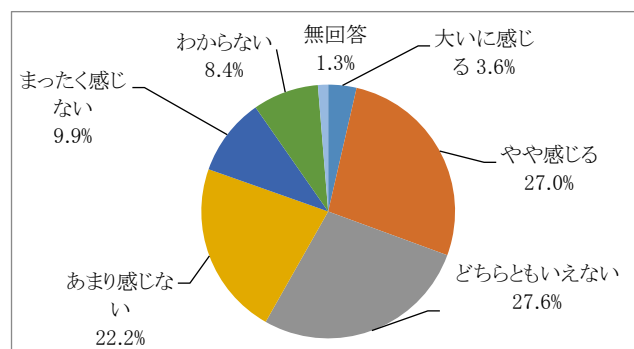
	回答数	構成比
大いに感じる	74	9.3%
やや感じる	290	36.2%
どちらともいえない	199	24.9%
あまり感じない	132	16.5%
まったく感じない	39	4.9%
わからない	54	6.8%
無回答	11	1.4%
計	799	100.0%



25. 桐生市には気軽に運動をする場所や機会、体を動かしたりする環境が整っている

「大いに感じる」(3.6%)と「やや感じる」(27.0%)の合計は30.6%となっており、「まったく感じない」(9.9%)と「あまり感じない」(22.2%)の合計32.1%を1.5ポイント下回っている。

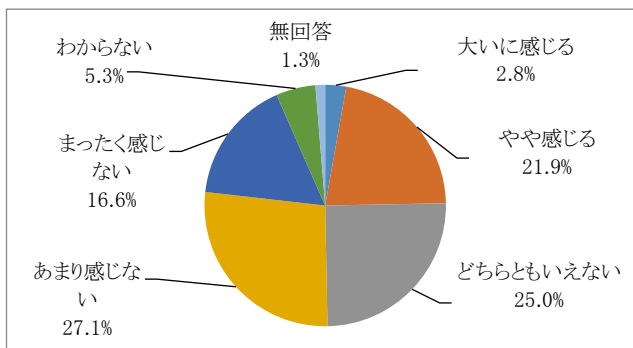
	回答数	構成比
大いに感じる	29	3.6%
やや感じる	216	27.0%
どちらともいえない	221	27.6%
あまり感じない	177	22.2%
まったく感じない	79	9.9%
わからない	67	8.4%
無回答	10	1.3%
計	799	100.0%



26. 桐生市は市中心部や周辺都市へ快適にアクセスできる道路網が整っている

「大いに感じる」(2.8%)と「やや感じる」(21.9%)の合計は24.7%となっており、「まったく感じない」(16.6%)と「あまり感じない」(27.1%)の合計43.7%を19.0ポイント下回っている。

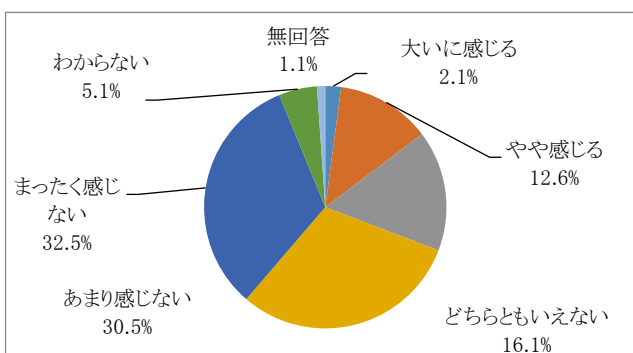
	回答数	構成比
大いに感じる	22	2.8%
やや感じる	175	21.9%
どちらともいえない	200	25.0%
あまり感じない	217	27.1%
まったく感じない	133	16.6%
わからない	42	5.3%
無回答	10	1.3%
計	799	100.0%



27. お住まいの地区の公共交通（鉄道やバス）は利便性が良い

「大いに感じる」(2.1%)と「やや感じる」(12.6%)の合計は14.7%となっており、「まったく感じない」(32.5%)と「あまり感じない」(30.5%)の合計63.0%を48.3ポイント下回っている。

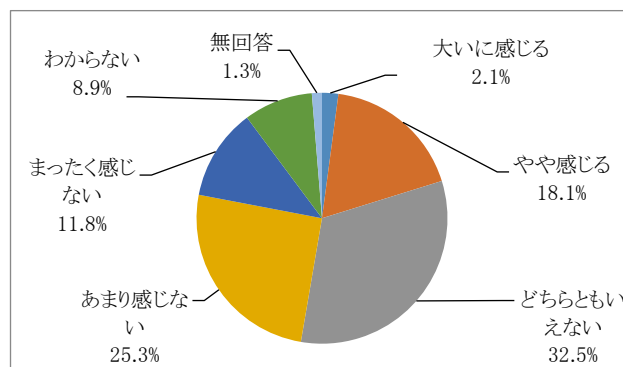
	回答数	構成比
大いに感じる	17	2.1%
やや感じる	101	12.6%
どちらともいえない	129	16.1%
あまり感じない	244	30.5%
まったく感じない	258	32.5%
わからない	41	5.1%
無回答	9	1.1%
計	799	100.0%



28. 桐生市は地域の特性を踏まえた、良好な景観のあるまちづくりができている

「大いに感じる」(2.1%)と「やや感じる」(18.1%)の合計は20.2%となっており、「まったく感じない」(11.8%)と「あまり感じない」(25.3%)の合計37.1%を16.9ポイント下回っている。

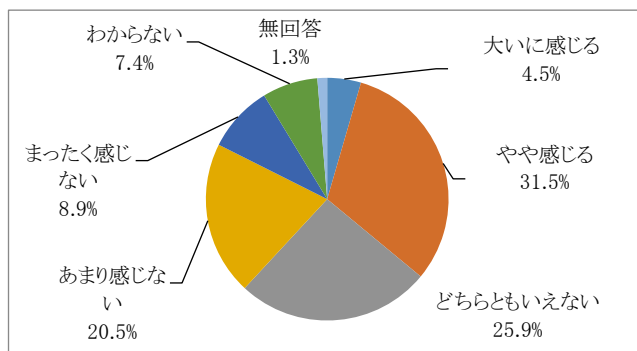
	回答数	構成比
大いに感じる	17	2.1%
やや感じる	145	18.1%
どちらともいえない	260	32.5%
あまり感じない	202	25.3%
まったく感じない	94	11.8%
わからない	71	8.9%
無回答	10	1.3%
計	799	100.0%



29. 桐生市は重伝建地区をはじめとする歴史的まち並みを生かしたまちづくりが進んでいる

「大いに感じる」(4.5%)と「やや感じる」(31.5%)の合計は36.0%となっており、「まったく感じない」(8.9%)と「あまり感じない」(20.5%)の合計29.4%を6.6ポイント上回っている。

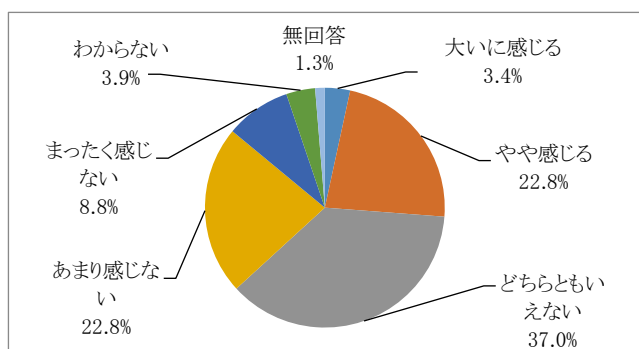
	回答数	構成比
大いに感じる	36	4.5%
やや感じる	252	31.5%
どちらともいえない	207	25.9%
あまり感じない	164	20.5%
まったく感じない	71	8.9%
わからない	59	7.4%
無回答	10	1.3%
計	799	100.0%



30. 桐生市は住み続けたい生活の場としての住環境が整っている

「大いに感じる」(3.4%)と「やや感じる」(22.8%)の合計は26.2%となっており、「まったく感じない」(8.8%)と「あまり感じない」(22.8%)の合計31.6%を5.4ポイント下回っている。

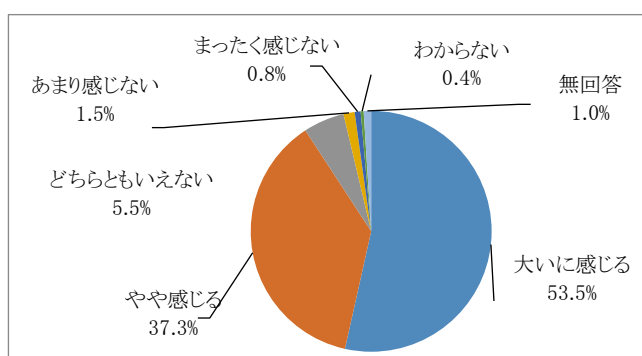
	回答数	構成比
大いに感じる	27	3.4%
やや感じる	182	22.8%
どちらともいえない	297	37.0%
あまり感じない	182	22.8%
まったく感じない	70	8.8%
わからない	31	3.9%
無回答	10	1.3%
計	799	100.0%



31. お住まいの地区はいつでも安心して水道が使える

「大いに感じる」(53.5%)と「やや感じる」(37.3%)の合計は90.8%となっており、「まったく感じない」(0.8%)と「あまり感じない」(1.5%)の合計2.3%を88.5ポイント上回っている。

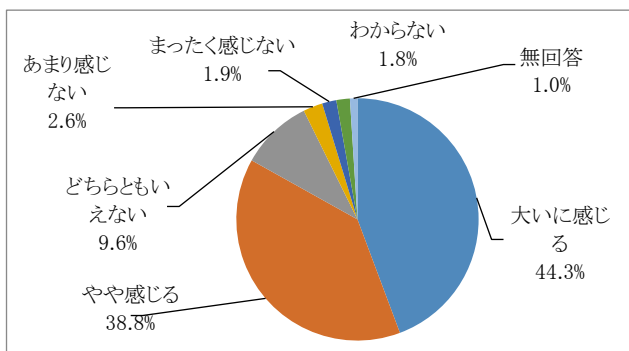
	回答数	構成比
大いに感じる	428	53.5%
やや感じる	298	37.3%
どちらともいえない	44	5.5%
あまり感じない	12	1.5%
まったく感じない	6	0.8%
わからない	3	0.4%
無回答	8	1.0%
計	799	100.0%



32. お住まいの地区は下水道や浄化槽などが整備され、快適に暮らすことができる

「大いに感じる」(44.3%)と「やや感じる」(38.8%)の合計は83.1%となっており、「まったく感じない」(1.9%)と「あまり感じない」(2.6%)の合計4.5%を78.6ポイント上回っている。

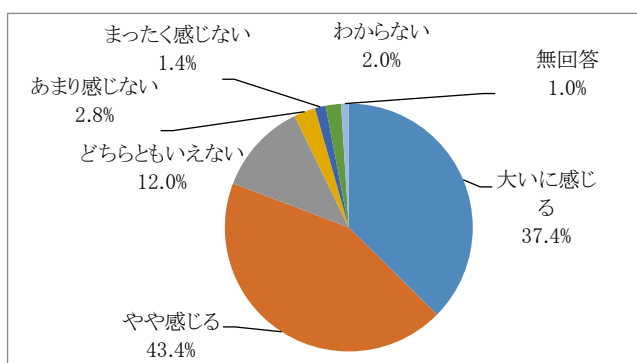
	回答数	構成比
大いに感じる	354	44.3%
やや感じる	310	38.8%
どちらともいえない	77	9.6%
あまり感じない	21	2.6%
まったく感じない	15	1.9%
わからない	14	1.8%
無回答	8	1.0%
計	799	100.0%



33. 桐生市の自然環境は良い

「大いに感じる」(37.4%)と「やや感じる」(43.4%)の合計は80.8%となっており、「まったく感じない」(1.4%)と「あまり感じない」(2.8%)の合計4.2%となっており76.6ポイント上回っている。

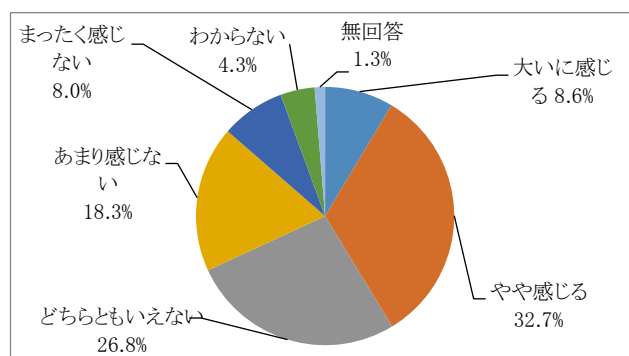
	回答数	構成比
大いに感じる	299	37.4%
やや感じる	347	43.4%
どちらともいえない	96	12.0%
あまり感じない	22	2.8%
まったく感じない	11	1.4%
わからない	16	2.0%
無回答	8	1.0%
計	799	100.0%



34. お住まいの地区には安全で快適に利用できる公園や、緑地が整備されている

「大いに感じる」(8.6%)と「やや感じる」(32.7%)の合計は41.3%となっており、「まったく感じない」(8.0%)と「あまり感じない」(18.3%)の合計26.3%を15.0ポイント上回っている。

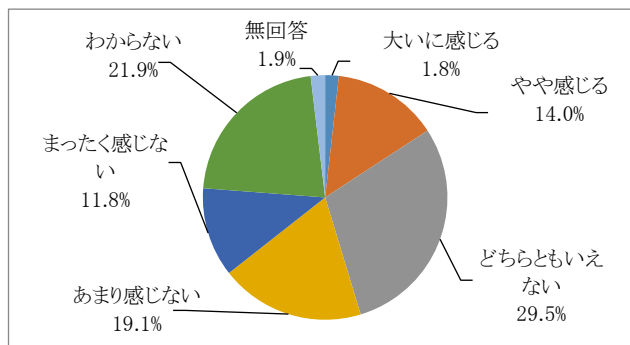
	回答数	構成比
大いに感じる	69	8.6%
やや感じる	262	32.7%
どちらともいえない	214	26.8%
あまり感じない	146	18.3%
まったく感じない	64	8.0%
わからない	34	4.3%
無回答	10	1.3%
計	799	100.0%



35. 桐生市では地域の課題解決に市民と行政が協力して取り組んでいる

「大いに感じる」(1.8%)と「やや感じる」(14.0%)の合計は15.8%となっており、「まったく感じない」(11.8%)と「あまり感じない」(19.1%)の合計30.9%を15.1ポイント下回っている。

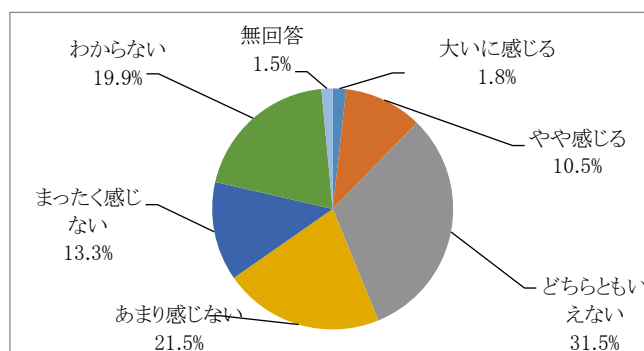
	回答数	構成比
大いに感じる	14	1.8%
やや感じる	112	14.0%
どちらともいえない	236	29.5%
あまり感じない	153	19.1%
まったく感じない	94	11.8%
わからない	175	21.9%
無回答	15	1.9%
計	799	100.0%



36. 桐生市は市民の声を適切に聴き取り、積極的に情報を発信している

「大いに感じる」(1.8%)と「やや感じる」(10.5%)の合計は12.3%となっており、「まったく感じない」(13.3%)と「あまり感じない」(21.5%)の合計34.8%を22.5ポイント下回っている。

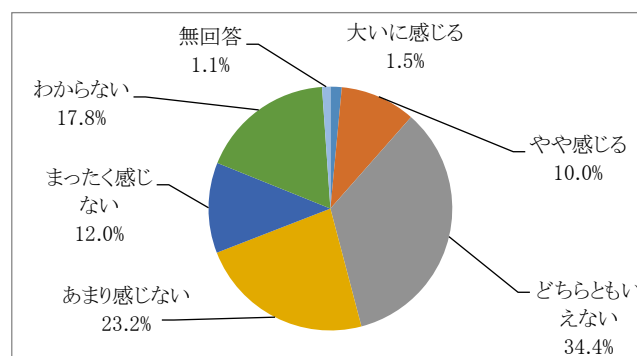
	回答数	構成比
大いに感じる	14	1.8%
やや感じる	84	10.5%
どちらともいえない	252	31.5%
あまり感じない	172	21.5%
まったく感じない	106	13.3%
わからない	159	19.9%
無回答	12	1.5%
計	799	100.0%



37. 桐生市は男女問わず誰もが家庭・職場・地域など、あらゆる場面で活躍できる環境が整っている

「大いに感じる」(1.5%)と「やや感じる」(10.0%)の合計が11.5%となっており、「まったく感じない」(12.0%)と「あまり感じない」(23.2%)の合計35.2%を23.7ポイント下回っている。

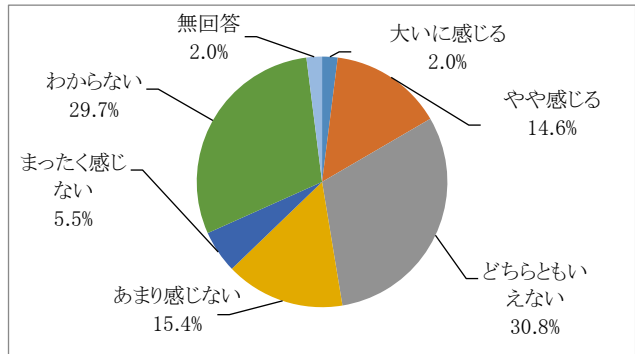
	回答数	構成比
大いに感じる	12	1.5%
やや感じる	80	10.0%
どちらともいえない	275	34.4%
あまり感じない	185	23.2%
まったく感じない	96	12.0%
わからない	142	17.8%
無回答	9	1.1%
計	799	100.0%



38. 桐生市は国籍や文化の異なる人々にとっても住みやすいまちである

「大いに感じる」(2.0%)と「やや感じる」(14.6%)の合計は16.6%となっており、「まったく感じない」(5.5%)と「あまり感じない」(15.4%)の合計20.9%を4.3ポイント下回っている。

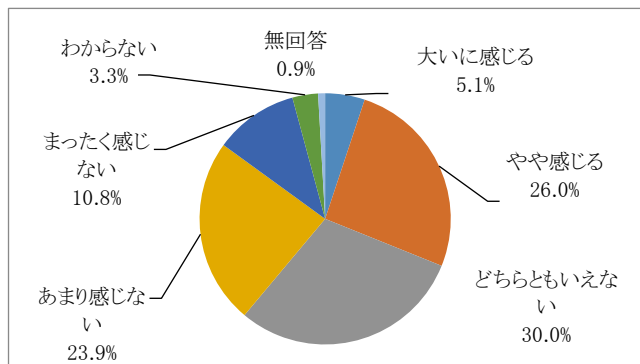
	回答数	構成比
大いに感じる	16	2.0%
やや感じる	117	14.6%
どちらともいえない	246	30.8%
あまり感じない	123	15.4%
まったく感じない	44	5.5%
わからない	237	29.7%
無回答	16	2.0%
計	799	100.0%



39. 自分は桐生市に対して、まちとしての価値や魅力を感じる

「大いに感じる」(5.1%)と「やや感じる」(26.0%)の合計が31.1%となっており、「まったく感じない」(10.8%)と「あまり感じない」(23.9%)の合計34.7%を3.6ポイント下回っている。

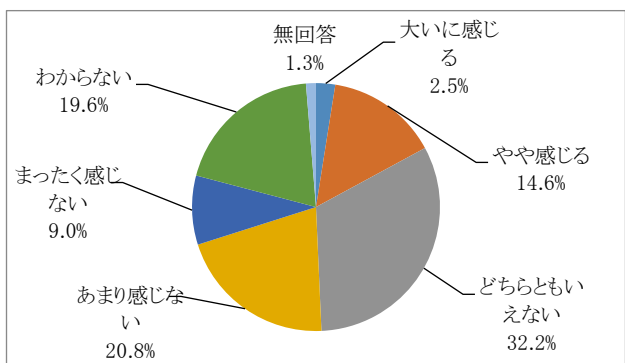
	回答数	構成比
大いに感じる	41	5.1%
やや感じる	208	26.0%
どちらともいえない	240	30.0%
あまり感じない	191	23.9%
まったく感じない	86	10.8%
わからない	26	3.3%
無回答	7	0.9%
計	799	100.0%



40. 桐生市では効率的な行政運営が行われ、必要な行政サービスが提供されている

「大いに感じる」(2.5%)と「やや感じる」(14.6%)の合計は17.1%となっており、「まったく感じない」(9.0%)と「あまり感じない」(20.8%)の合計29.8%を12.7ポイント下回っている。

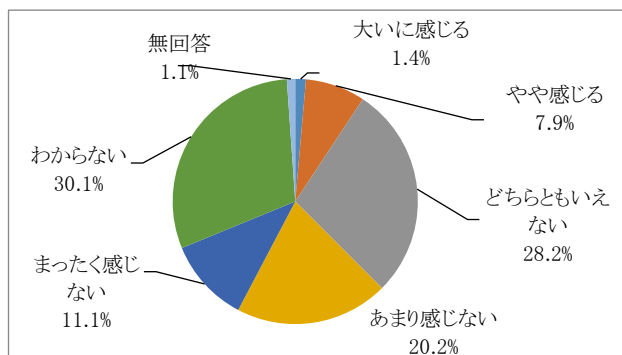
	回答数	構成比
大いに感じる	20	2.5%
やや感じる	117	14.6%
どちらともいえない	257	32.2%
あまり感じない	166	20.8%
まったく感じない	72	9.0%
わからない	157	19.6%
無回答	10	1.3%
計	799	100.0%



41. 桐生市は市民生活の利便性向上のために積極的に他の都市などと連携している

「大いに感じる」(1.4%)と「やや感じる」(7.9%)の合計は9.3%となっており、「まったく感じない」(11.1%)と「あまり感じない」(20.2%)の合計31.3%を22.0ポイント下回っている。

	回答数	構成比
大いに感じる	11	1.4%
やや感じる	63	7.9%
どちらともいえない	225	28.2%
あまり感じない	161	20.2%
まったく感じない	89	11.1%
わからない	241	30.1%
無回答	9	1.1%
計	799	100.0%



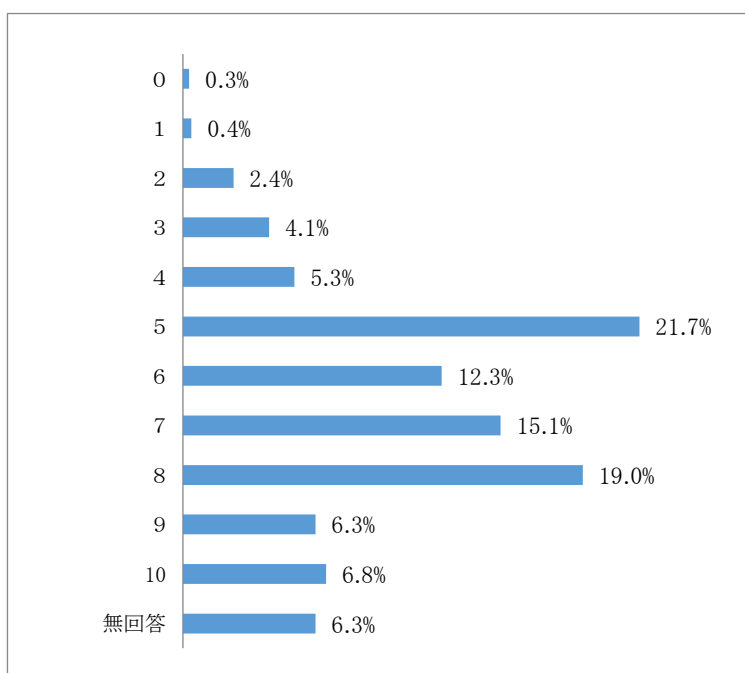
問8 次の項目についてお聞きします。該当する答えに○をつけてください。

1. 現在、あなたはどの程度「幸せ」ですか。「とても幸せ」を10、「とても不幸」を0とすると、どのくらいになりますか。

0点～10点の11段階で現在の幸福実感度をたずねたところ、中間点となる「5点」が21.7%と最も多く、次いで「8点」(19.0%)、「7点」(15.1%)、「6点」(12.3%)と続いており、全体平均は6.44点となっている。

また、中間点(5点)より上の点数である6点以上が59.5%と全体の約6割となっており、一方、中間点(5点)より下の点数である4点以下が12.5%と全体の約1割となっている。

		回答数	構成比
①	0	2	0.3%
②	1	3	0.4%
③	2	19	2.4%
④	3	33	4.1%
⑤	4	42	5.3%
⑥	5	175	21.7%
⑦	6	98	12.3%
⑧	7	121	15.1%
⑨	8	152	19.0%
⑩	9	50	6.3%
⑪	10	54	6.8%
⑫	無回答	50	6.3%
	計	799	100.0%

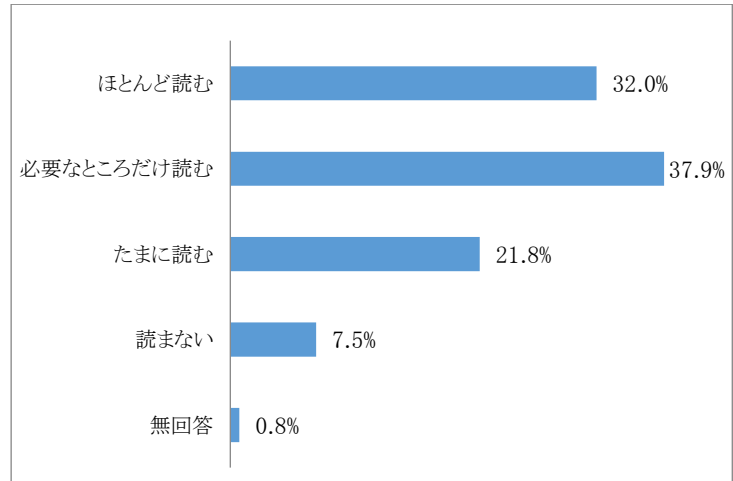


2. 広報きりゅうを読んでいますか。

広報きりゅうを「ほとんど読む」(32.0%)と「必要なところだけ読む」(37.9%)、「たまに読む」(21.8%)を合計すると91.7%と、多くの人が市政情報を得るための手段として広報きりゅうを活用していることがわかる。

今回の調査から市政情報を得るために広報きりゅうが有効に活用されていると考えられるが、今後も引き続き広報きりゅうの内容の充実を図り、市民の求める情報をわかりやすく伝えていく必要がある。

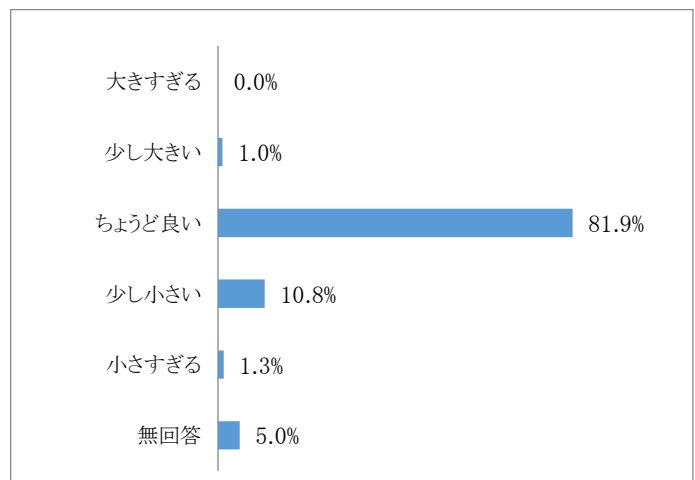
		回答数	構成比
①	ほとんど読む	256	32.0%
②	必要なところだけ読む	303	37.9%
③	たまに読む	174	21.8%
④	読まない	60	7.5%
⑤	無回答	6	0.8%
	計	799	100.0%



3. 広報きりゅうの本文に使用している文字の大きさはどうですか

広報きりゅうの文字の大きさについて、「ちょうど良い」との回答が81.9%であり、多くの人が文字の大きさに不満を持っていないものの、「少し小さい」(10.8%)、「小さすぎる」(1.3%)を合わせると12.1%の人が文字を小さく感じている状況である。文字の大きさについては、多くの人が満足している状態であることから、すぐに改善を要する課題とは言えないものの、新聞など他の発行物の状況を確認しながら引き続き研究していく必要がある。

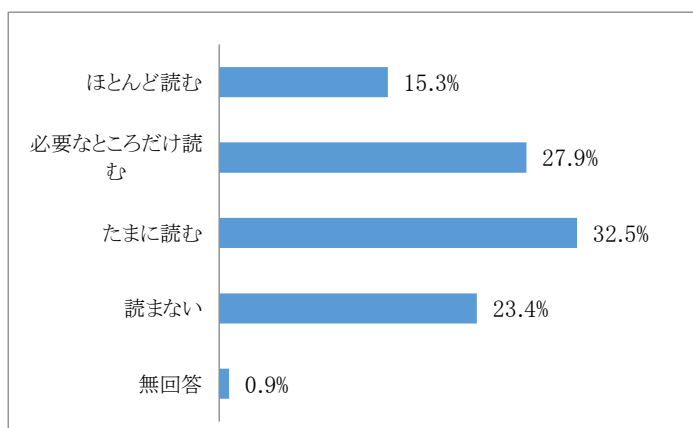
		回答数	構成比
①	大きすぎる	0	0.0%
②	少し大きい	8	1.0%
③	ちょうど良い	655	81.9%
④	少し小さい	86	10.8%
⑤	小さすぎる	10	1.3%
⑥	無回答	40	5.0%
	計	799	100.0%



4. きりゅう市議会だよりを読んでいますか。

「たまに読む」が 32.5%と最も多く、さらに「必要なところだけ読む」(27.9%)と「ほとんど読む」(15.3%)を合わせると 75.7%であり、前回調査と比較して 0.3 ポイント増加した。前回調査以後、色彩やページ数を見直した効果もあると考えられるが、今後、読んでみようと思ってもらえる紙面づくりについて、さらに研究していく必要がある。

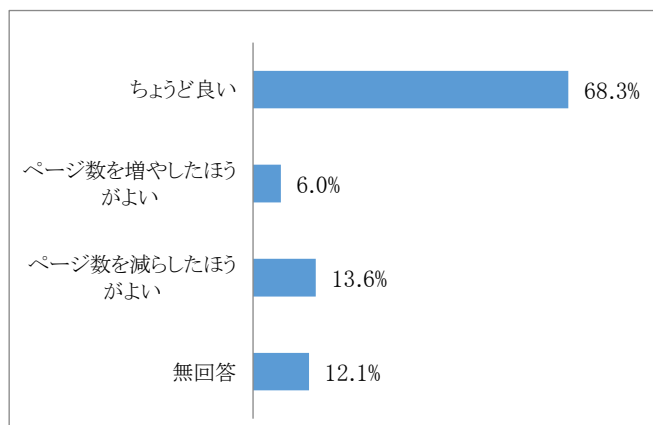
		回答数	構成比
①	ほとんど読む	122	15.3%
②	必要なところだけ読む	223	27.9%
③	たまに読む	260	32.5%
④	読まない	187	23.4%
⑤	無回答	7	0.9%
	計	799	100.0%



5. きりゅう市議会だよりのページ数はどうですか。

「ちょうど良い」が 68.3%を占めており、「減らしたほうが良い」が 13.6%、「増やしたほうが良い」が 6.0%という結果になった。このことから、ページ数については、適切であると考えられるが、問 8-4 の「今後、読んでみようと思ってもらえる紙面づくり」を目指す中で、改めて研究していく必要があると考えられる。

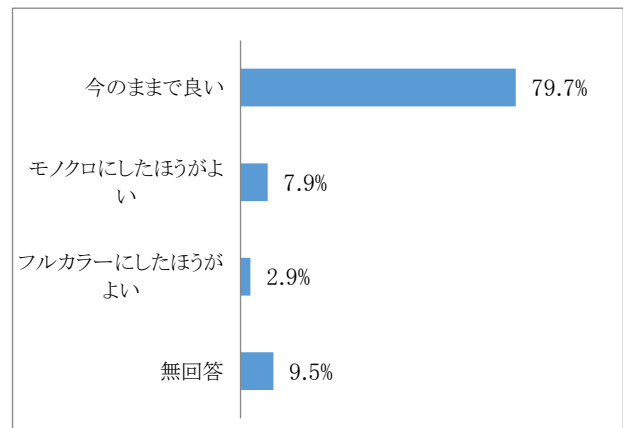
		回答数	構成比
①	ちょうど良い	545	68.3%
②	ページ数を増やしたほうがよい	48	6.0%
③	ページ数を減らしたほうがよい	109	13.6%
④	無回答	97	12.1%
	計	799	100.0%



6. きりゅう市議会だよりの色彩はどうですか。

「今のままで良い」が79.7%を占めており、「モノクロにしたほうがよい」が7.9%、「フルカラーにしたほうがよい」が2.9%という結果になった。このことから、色彩については、「今のままで良い」と考えるが、問8-4の「今後、読んでみようと思ってもらえる紙面づくり」を目指す中で、色彩について改めて研究していく必要があると考えられる。

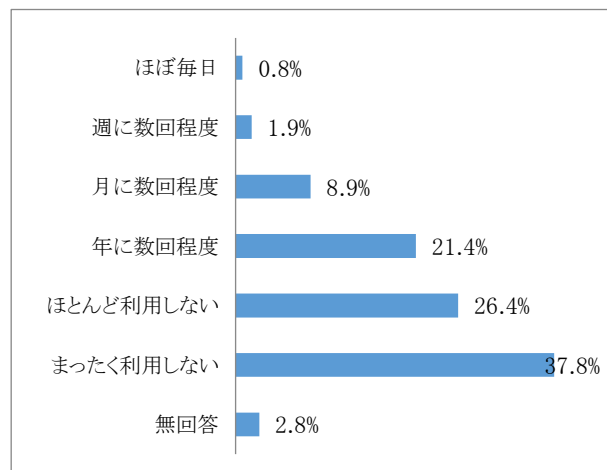
		回答数	構成比
①	今のままで良い	637	79.7%
②	モノクロにしたほうがよい	63	7.9%
③	フルカラーにしたほうがよい	23	2.9%
④	無回答	76	9.5%
	計	799	100.0%



7. 桐生市公式ホームページをどのくらいの頻度で利用しますか。

「まったく利用しない」が37.8%で一番多く、「ほとんど利用しない」の26.4%と合わせると64.2%の人がホームページをほぼ利用していないという結果になった。利用すると回答した人でも21.4%が「年に数回程度」の利用にとどまっており、ホームページ利用促進のための対策が必要であると考えられる。

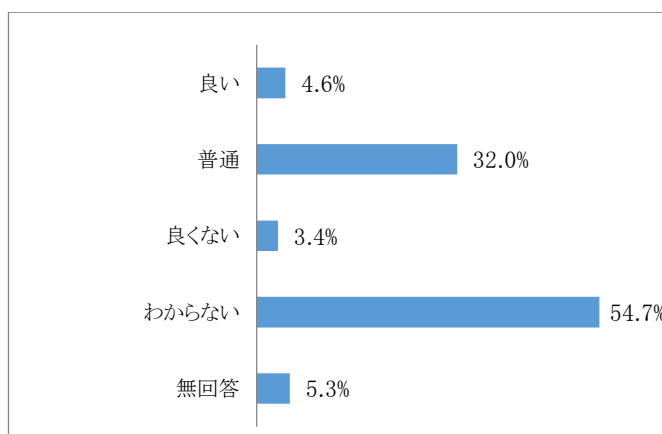
		回答数	構成比
①	ほぼ毎日	6	0.8%
②	週に数回程度	15	1.9%
③	月に数回程度	71	8.9%
④	年に数回程度	171	21.4%
⑤	ほとんど利用しない	211	26.4%
⑥	まったく利用しない	303	37.8%
⑦	無回答	22	2.8%
	計	799	100.0%



8. 桐生市公式ホームページのトップページのデザイン・レイアウトはどうか。

ホームページを利用しない人が多いためか「わからない」が 54.7%と最多であった。次いで「普通」が 32.0%であることから、利用している人にとって大きな不満はないものと考えられる。しかしながら、満足というわけでもないので、今後は利用していない人への利用促進も含めて、より一層見やすいデザイン・レイアウトに改善する必要があると考えられる。

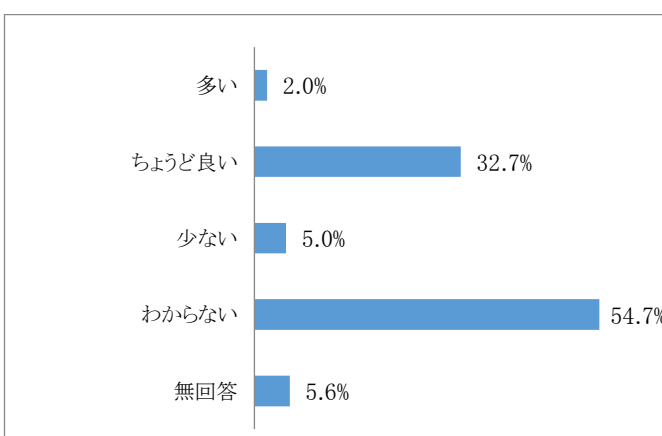
		回答数	構成比
①	良い	37	4.6%
②	普通	256	32.0%
③	良くない	27	3.4%
④	わからない	437	54.7%
⑤	無回答	42	5.3%
	計	799	100.0%



9. 桐生市公式ホームページの基本メニュー（暮らし・手続き、子育て・教育、高齢者、観光・文化、産業・ビジネス、安全・安心、施設、市政）の分類数はどうか。

ホームページを利用しない人が多いためか「わからない」が 54.7%と最多であった。次いで「ちょうど良い」が 32.7%で、利用している人にとっては適切な分類数であると考えられる。今後は利用していない人への利用促進も含めて、より一層分かりやすい分類の設定について研究する必要があると考えられる。

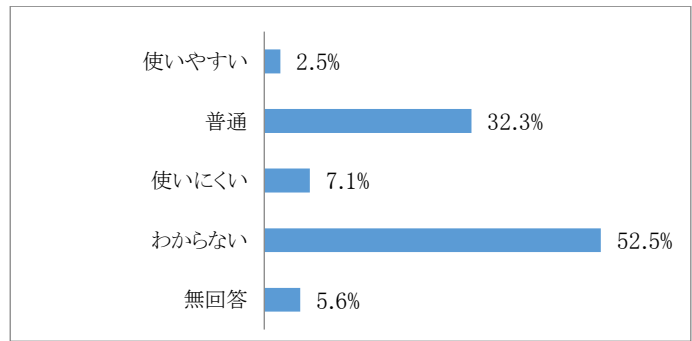
		回答数	構成比
①	多い	16	2.0%
②	ちょうど良い	261	32.7%
③	少ない	40	5.0%
④	わからない	437	54.7%
⑤	無回答	45	5.6%
	計	799	100.0%



10. 桐生市公式ホームページは使いやすいですか。

ホームページを利用しない人が多いためか「わからない」が 52.5%と最多であった。次いで「普通」が 32.3%であることから、利用している人にとって大きな不満はないものと考えられる。しかしながら、満足というわけでもないので、今後は利用していない人への利用促進も含めて、より一層使いやすいホームページに改善する必要があると考えられる。

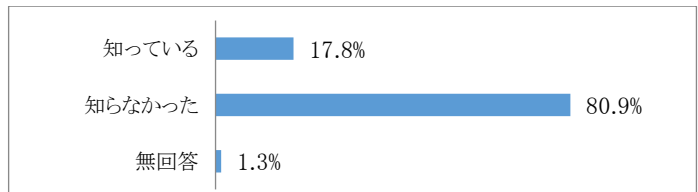
		回答数	構成比
①	使いやすい	20	2.5%
②	普通	258	32.3%
③	使いにくい	57	7.1%
④	わからない	419	52.5%
⑤	無回答	45	5.6%
	計	799	100.0%



11. 毎年、市内の大型ショッピングセンターなどで火災予防イベントを開催していることを知っていますか。

「知らなかった」が 80.9%となっている。このことから、イベントの開催案内について、今後は市ホームページや広報きりゅうのほか、桐生ふれあいメールやソーシャル・ネットワーキング・サービス（SNS）などを活用し、広く市民にイベントの開催を周知する取り組みが必要である。

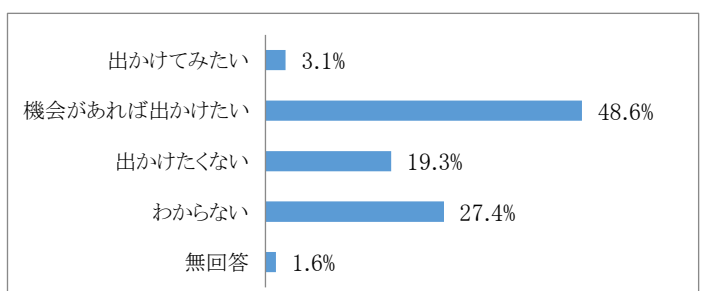
		回答数	構成比
①	知っている	142	17.8%
②	知らなかった	647	80.9%
③	無回答	10	1.3%
	計	799	100.0%



12. 今後、開催する火災予防イベントに出かけてみたいと思いますか。

「機会があれば出かけたたい」が 48.6%と約半数を占めている一方、「出かけたくない」(19.3%)、「わからない」(27.4%)となっている。このことから、イベントの開催を広く周知するとともに、イベントの内容についても、より興味をもってもらえるよう検討していく必要がある。

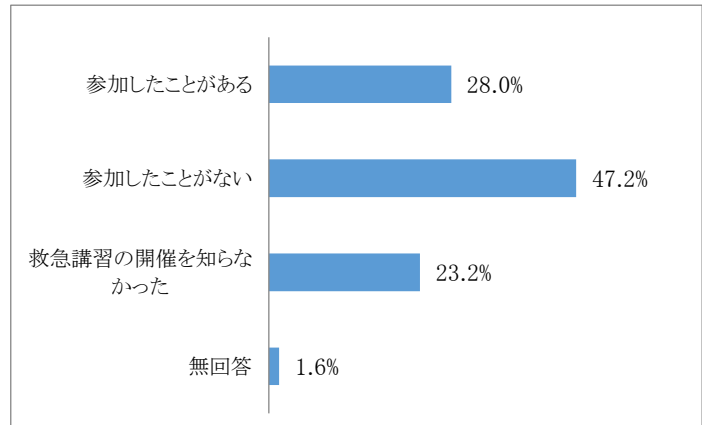
		回答数	構成比
①	出かけてみたい	25	3.1%
②	機会があれば出かけたたい	388	48.6%
③	出かけたくない	154	19.3%
④	わからない	219	27.4%



13. 消防本部が主催する救急講習に参加したことがありますか。

「参加したことがない」(47.2%)と「救急講習の開催を知らなかった」(23.2%)の合計が70.4%となっている。このことから、今後は市ホームページや広報きりゅうのほか、桐生ふれあいメールやSNSなどを活用し、広く市民に救急講習の開催を周知するとともに、応急手当の大切さを理解していただく取り組みが必要である。

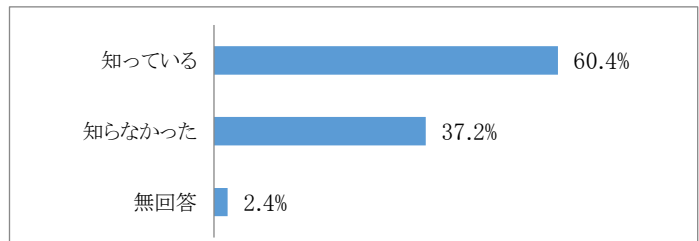
		回答数	構成比
①	参加したことがある	224	28.0%
②	参加したことがない	377	47.2%
③	救急講習の開催を知らなかった	185	23.2%
④	無回答	13	1.6%
	計	799	100.0%



14. 消防団は、地域防災の要として、火災などの災害対応のほか、平常時は火災予防広報などの活動を行っていることを知っていますか。

「知っている」が60.4%となっていることから、おおむね消防団の活動について理解されていることが分かった。今後も、消防団について、より理解を深めてもらうように活動内容などのPRを行っていく必要がある。

		回答数	構成比
①	知っている	483	60.4%
②	知らなかった	297	37.2%
③	無回答	19	2.4%
	計	799	100.0%

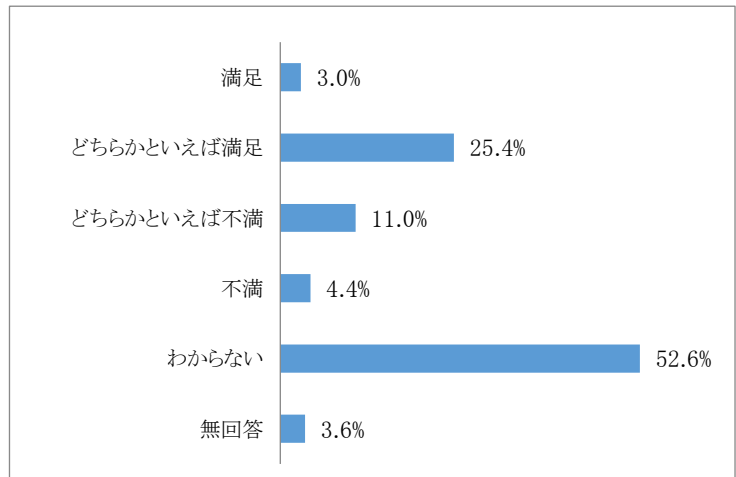


15. 桐生市の子育て支援に満足していますか。

「満足」(3.0%)と「どちらかといえば満足」(25.4%)の合計は28.4%、「不満」(4.4%)と「どちらかといえば不満」(11.0%)の合計は15.4%で、満足度が不満度を13.0ポイント上回っている。

「わからない」が52.6%を占めており、子育て世帯ではない人からの回答が多いと考えられるが、本市が行っている子育て支援策の周知が十分に行き届いていないことも考えられることから、更なる周知に努めるとともに、今後も満足度を上げるための施策の展開に努めたい。

		回答数	構成比
①	満足	24	3.0%
②	どちらかとい えば満足	203	25.4%
③	どちらかとい えば不満	88	11.0%
④	不満	35	4.4%
⑤	わからない	420	52.6%
⑥	無回答	29	3.6%
	計	799	100.0%

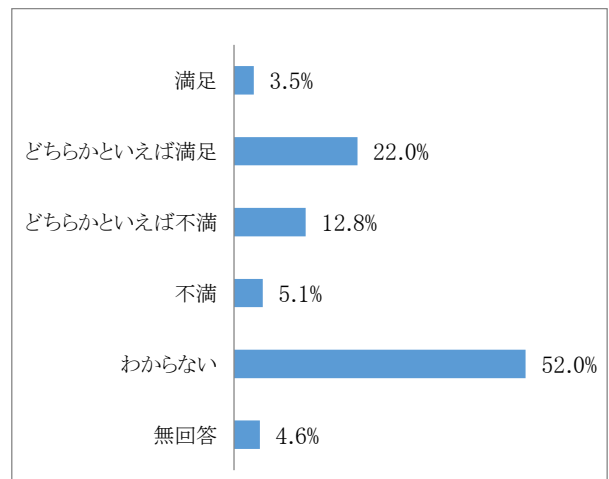


16. 妊娠・出産・子育ての場として満足していますか。

「満足」(3.5%)と「どちらかといえば満足」(22.0%)を合計すると25.5%だが、「どちらかといえ
ば不満」(12.8%)、「不満」(5.1%)の人が合計17.9%おり、5~6人に1人は不満を感じていることが確
認できた。

現在、本市では妊娠から出産・育児まで切れ目ない支援として、様々な事業を展開しているが、包括的
な連携と各事業の周知徹底を図るとともに、事業内容の改善や新規メニューなどの検討を行い、安心し
て妊娠・出産・子育てのできる環境を充実させていきたい。

		回答数	構成比
①	満足	28	3.5%
②	どちらかとい えば満足	176	22.0%
③	どちらかとい えば不満	102	12.8%
④	不満	41	5.1%
⑤	わからない	415	52.0%
⑥	無回答	37	4.6%
	計	799	100.0%

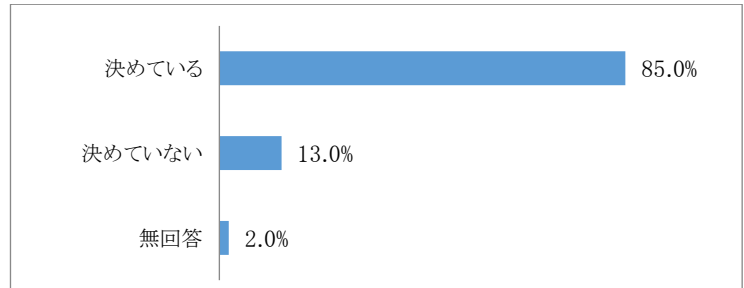


17. かかりつけ医（歯科医を含む）を決めていますか。

「決めている」が85.0%、「決めていない」が13.0%と、多くの市民がかかりつけ医（歯科医を含む）を決めているという結果となった。

健康寿命の延伸を推進するうえで、普段から自身の体について気軽に相談できる医療機関を決めておくことは重要なことであるため、今後がかかりつけ医（歯科医を含む）を持つことの必要性を啓発していきたい。

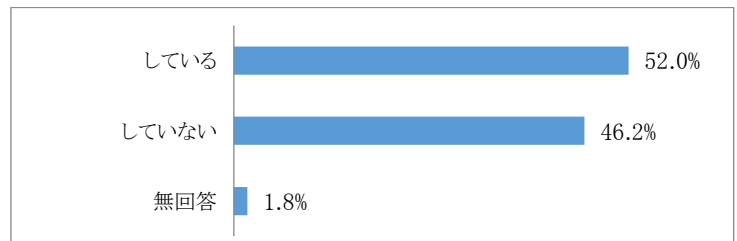
		回答数	構成比
①	決めている	679	85.0%
②	決めていない	104	13.0%
③	無回答	16	2.0%
	計	799	100.0%



18. 継続的に運動（散歩やラジオ体操など、意識して体を動かすこと）をしていますか。

「している」が52.0%と約半数にとどまった。生活習慣の中に適度な運動を取り入れることは、健康寿命の延伸を推進するうえで重要なことであるため、今後も、継続的な運動の必要性を啓発していきたい。

		回答数	構成比
①	している	416	52.0%
②	していない	369	46.2%
③	無回答	14	1.8%
	計	799	100.0%



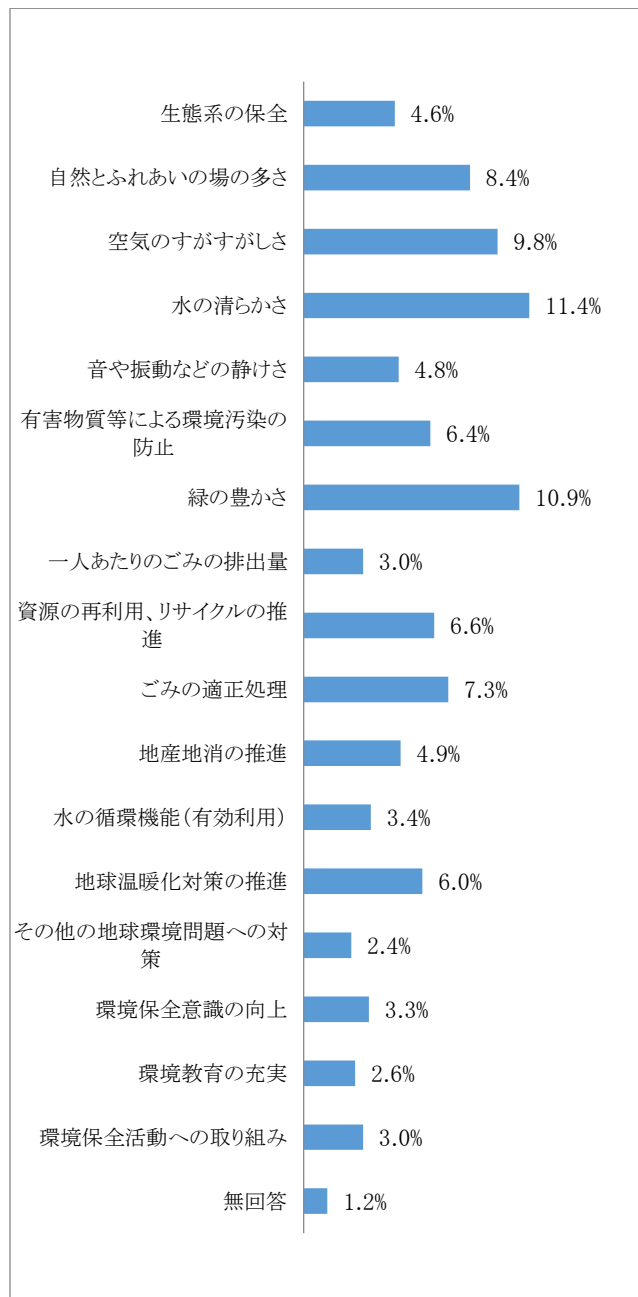
環境に対する意識や行動について

(市民生活部環境課)

問9 興味・関心があるものはどれですか。(複数回答可)

「水の清らかさ」(11.4%)、「緑の豊かさ」(10.9%)、「空気のすがすがしさ」(9.8%)、「自然とふれあいの場の多さ」(8.4%)といった自然に関連する項目が上位を占め、これらの回答数を合計すると、全体の40.5%を占めている。本市は清流と森林を有する自然豊かな地域であるため、市民の自然に対する関心の高さがうかがえる結果となった。

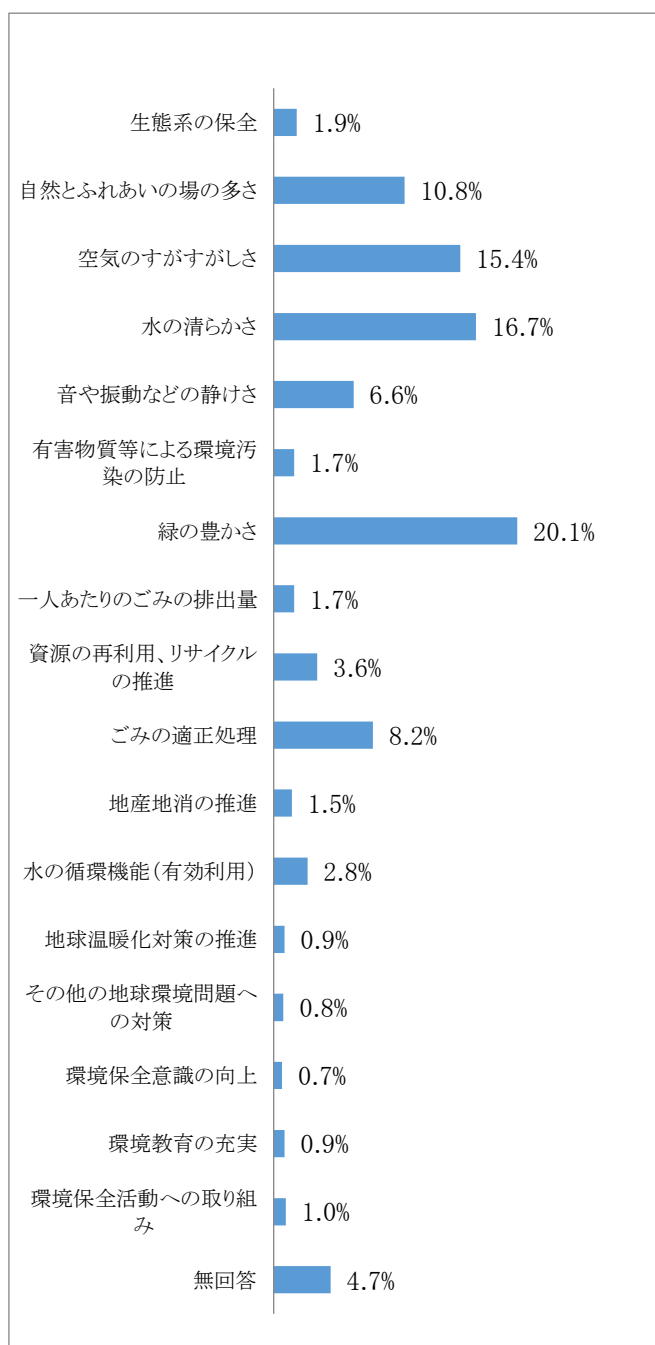
		回答数	構成比
①	生態系の保全	150	4.6%
②	自然とふれあいの場の多さ	277	8.4%
③	空気のすがすがしさ	322	9.8%
④	水の清らかさ	380	11.4%
⑤	音や振動などの静けさ	157	4.8%
⑥	有害物質等による環境汚染の防止	210	6.4%
⑦	緑の豊かさ	360	10.9%
⑧	一人あたりのごみの排出量	100	3.0%
⑨	資源の再利用、リサイクルの推進	217	6.6%
⑩	ごみの適正処理	240	7.3%
⑪	地産地消の推進	161	4.9%
⑫	水の循環機能(有効利用)	113	3.4%
⑬	地球温暖化対策の推進	196	6.0%
⑭	その他の地球環境問題への対策	79	2.4%
⑮	環境保全意識の向上	107	3.3%
⑯	環境教育の充実	86	2.6%
⑰	環境保全活動への取り組み	99	3.0%
⑱	無回答	38	1.2%
	計	3,292	100.0%



問 10 現状で満足しているものはどれですか。(複数回答可)

「緑の豊かさ」(20.1%)、「水の清らかさ」(16.7%)、「空気のすがすがしさ」(15.4%)、「自然とふれあいの場の多さ」(10.8%)が上位を占めており、これらの回答数を合計すると、全体の63.0%となり、市民の自然に対する満足の高さがうかがえる結果となった。

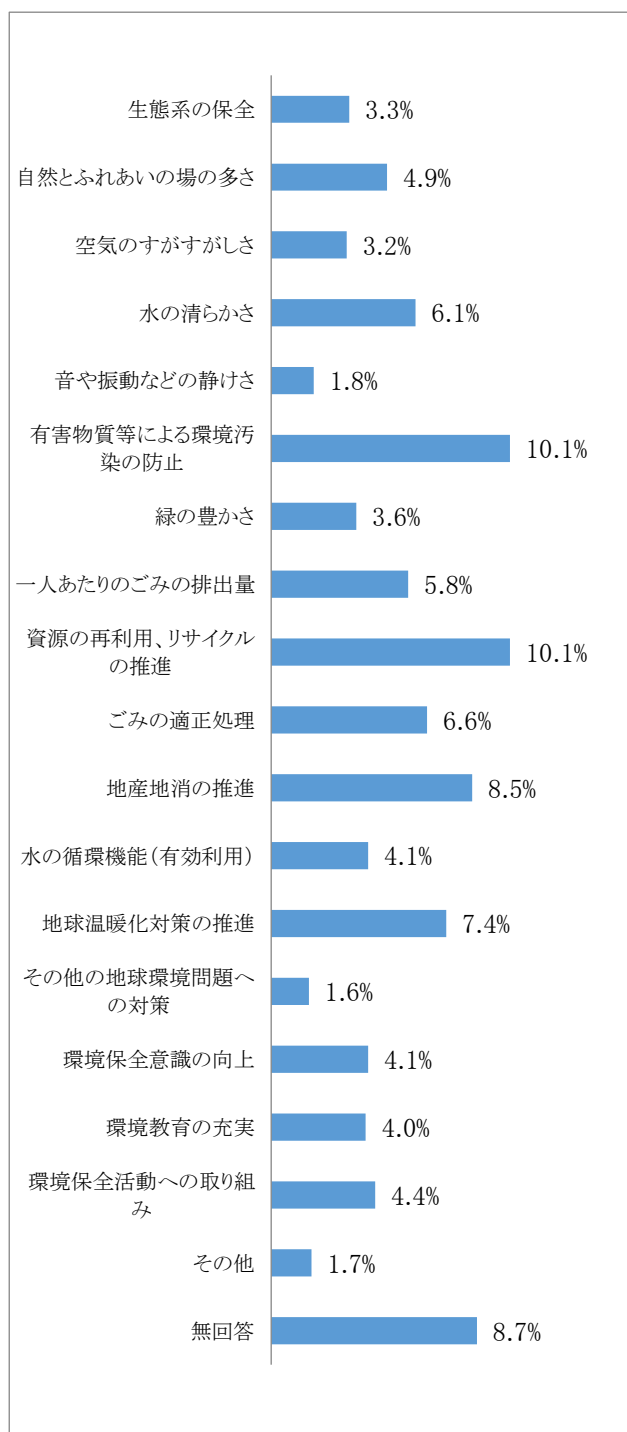
		回答数	構成比
①	生態系の保全	37	1.9%
②	自然とふれあいの場の多さ	213	10.8%
③	空気のすがすがしさ	304	15.4%
④	水の清らかさ	330	16.7%
⑤	音や振動などの静けさ	130	6.6%
⑥	有害物質等による環境汚染の防止	34	1.7%
⑦	緑の豊かさ	403	20.1%
⑧	一人あたりのごみの排出量	33	1.7%
⑨	資源の再利用、リサイクルの推進	72	3.6%
⑩	ごみの適正処理	162	8.2%
⑪	地産地消の推進	30	1.5%
⑫	水の循環機能(有効利用)	55	2.8%
⑬	地球温暖化対策の推進	18	0.9%
⑭	その他の地球環境問題への対策	15	0.8%
⑮	環境保全意識の向上	13	0.7%
⑯	環境教育の充実	18	0.9%
⑰	環境保全活動への取り組み	19	1.0%
⑱	無回答	94	4.7%
	計	1,980	100.0%



問 11 今後、桐生市が特に重点的に取り組むべきだと思うものはどれですか。

「有害物質等による環境汚染の防止」(10.1%)、「資源の再利用、リサイクルの推進」(10.1%)が上位となり、市民が環境汚染や資源の再利用について重点的に取り組むべきと考えていることがうかがえる結果となった。このことから、今後も継続して環境調査などの監視による環境汚染の防止に努めること、また、資源の再利用については、より多くの市民に協力してもらえるよう啓発及び周知に努める取り組みを行っていくことが重要であると考えられる。

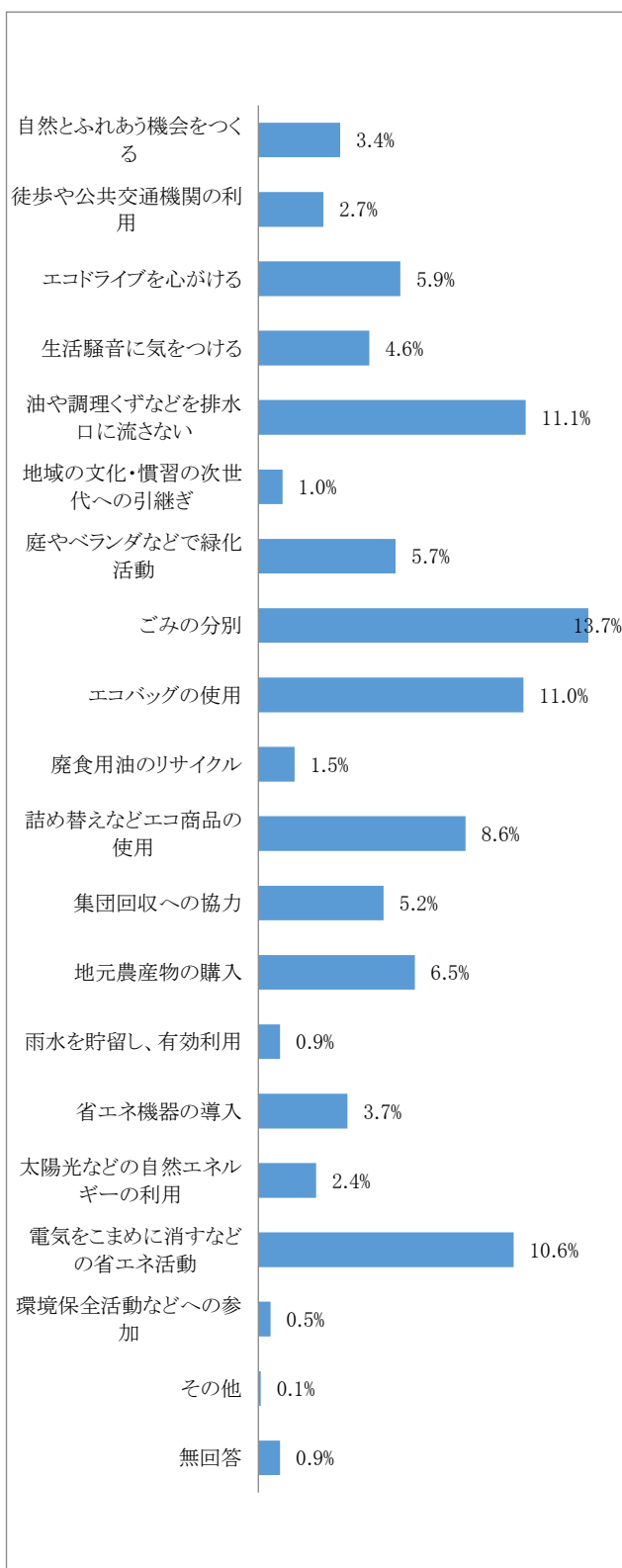
		回答数	構成比
①	生態系の保全	53	3.3%
②	自然とふれあいの場の多さ	80	4.9%
③	空気のすがすがしさ	51	3.2%
④	水の清らかさ	98	6.1%
⑤	音や振動などの静けさ	29	1.8%
⑥	有害物質等による環境汚染の防止	165	10.1%
⑦	緑の豊かさ	58	3.6%
⑧	一人あたりのごみの排出量	94	5.8%
⑨	資源の再利用、リサイクルの推進	163	10.1%
⑩	ごみの適正処理	107	6.6%
⑪	地産地消の推進	137	8.5%
⑫	水の循環機能(有効利用)	67	4.1%
⑬	地球温暖化対策の推進	119	7.4%
⑭	その他の地球環境問題への対策	26	1.6%
⑮	環境保全意識の向上	67	4.1%
⑯	環境教育の充実	64	4.0%
⑰	環境保全活動への取り組み	71	4.4%
⑱	その他	28	1.7%
⑲	無回答	141	8.7%
	計	1,618	100.0%



問 12 日常生活において、どのような取り組みを行っていますか。(複数回答可)

上位の「ごみの分別」(13.7%)、「油や調理くずなどを排水口に流さない」(11.1%)、「エコバッグの使用」(11.0%) の回答数を合計すると 35.8% となり、ごみに関する取り組みが多く行われていることがうかがえる結果となった。

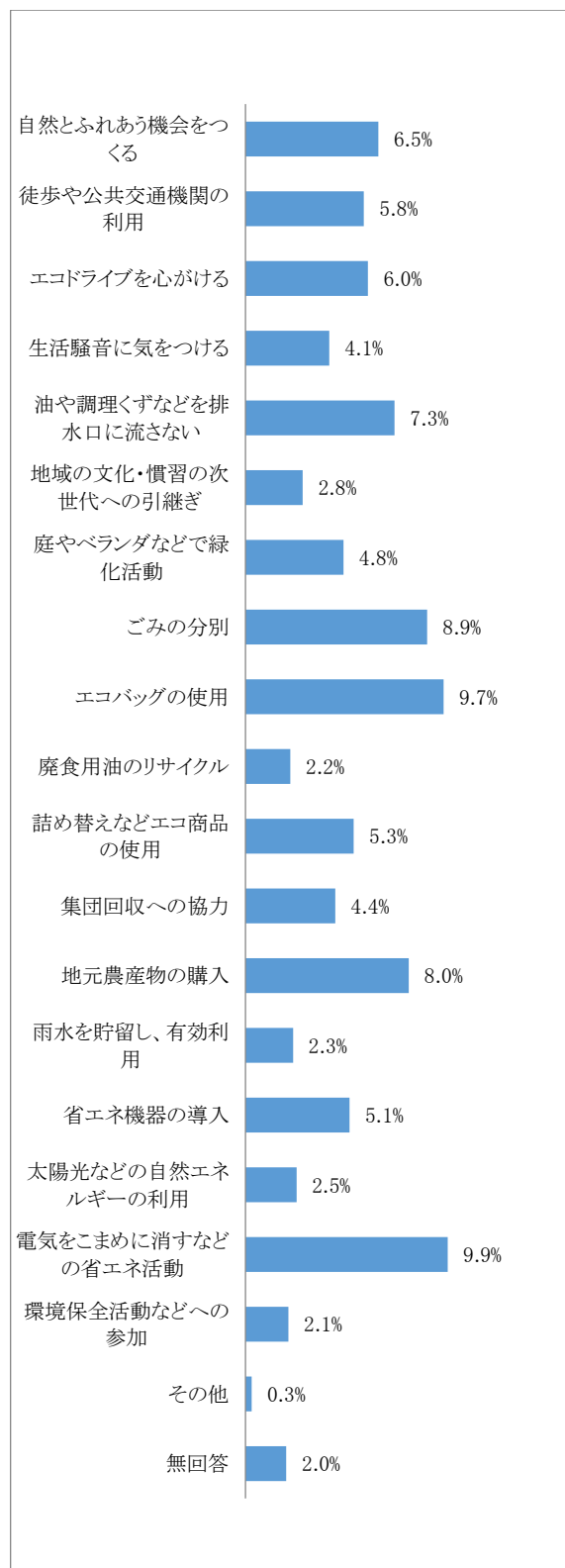
		回答数	構成比
①	自然とふれあう機会をつくる	127	3.4%
②	徒歩や公共交通機関の利用	100	2.7%
③	エコドライブを心がける	223	5.9%
④	生活騒音に気をつける	172	4.6%
⑤	油や調理くずなどを排水口に流さない	419	11.1%
⑥	地域の文化・慣習の次世代への引継ぎ	36	1.0%
⑦	庭やベランダなどで緑化活動	214	5.7%
⑧	ごみの分別	517	13.7%
⑨	エコバッグの使用	414	11.0%
⑩	廃食用油のリサイクル	57	1.5%
⑪	詰め替えなどエコ商品の使用	324	8.6%
⑫	集団回収への協力	195	5.2%
⑬	地元農産物の購入	245	6.5%
⑭	雨水を貯留し、有効利用	35	0.9%
⑮	省エネ機器の導入	140	3.7%
⑯	太陽光などの自然エネルギーの利用	90	2.4%
⑰	電気をこまめに消すなどの省エネ活動	399	10.6%
⑱	環境保全活動などへの参加	19	0.5%
⑲	その他	5	0.1%
⑳	無回答	32	0.9%
	計	3,763	100.0%



問 13 日常生活において、今後、どのような取り組みを行いたいですか。(複数回答可)

「電気をこまめに消すなどの省エネ活動」(9.9%)、「エコバッグの使用」(9.7%)の割合が比較的高いが、全ての項目で10%未満となり、全体的に大きな差はなく、市民一人ひとりの環境に関する取り組みの多様化がうかがえる結果となった。

		回答数	構成比
①	自然とふれあう機会をつくる	190	6.5%
②	徒歩や公共交通機関の利用	170	5.8%
③	エコドライブを心がける	177	6.0%
④	生活騒音に気をつける	120	4.1%
⑤	油や調理くずなどを排水口に流さない	214	7.3%
⑥	地域の文化・慣習の次世代への引継ぎ	81	2.8%
⑦	庭やベランダなどで緑化活動	141	4.8%
⑧	ごみの分別	262	8.9%
⑨	エコバッグの使用	286	9.7%
⑩	廃食用油のリサイクル	66	2.2%
⑪	詰め替えなどエコ商品の使用	155	5.3%
⑫	集団回収への協力	129	4.4%
⑬	地元農産物の購入	234	8.0%
⑭	雨水を貯留し、有効利用	67	2.3%
⑮	省エネ機器の導入	149	5.1%
⑯	太陽光などの自然エネルギーの利用	75	2.5%
⑰	電気をこまめに消すなどの省エネ活動	295	9.9%
⑱	環境保全活動などへの参加	63	2.1%
⑲	その他	9	0.3%
⑳	無回答	60	2.0%
	計	2,943	100.0%



市内の移動について

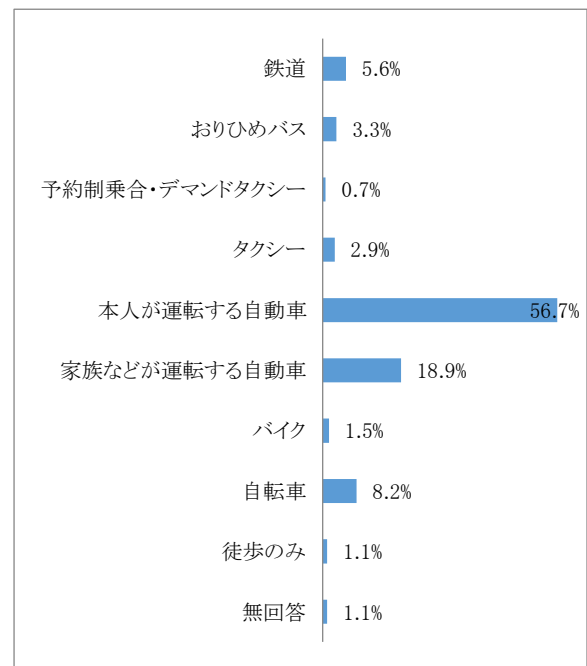
(総合政策部広域連携推進室)

問 14 日常の移動手段には何を利用していますか。(複数回答可)

「本人が運転する自動車」(56.7%)が最も多く、「家族などが運転する自動車」(18.9%)が2番目となり、日常の移動手段の7割以上が自家用車で移動していることが分かった。

①～④の公共交通機関を利用している人を合計しても1割程度であった。

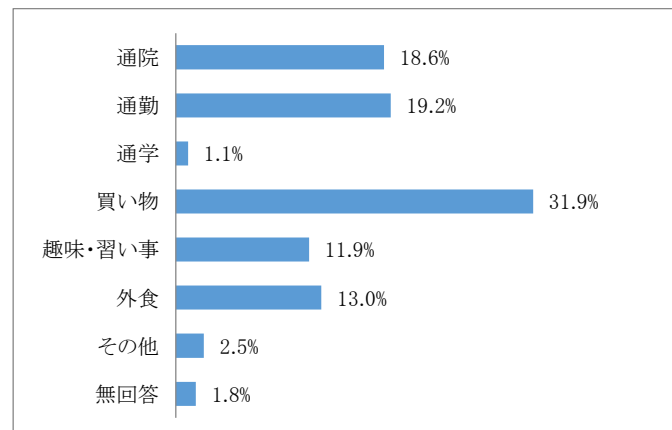
		回答数	構成比
①	鉄道	64	5.6%
②	おりひめバス	38	3.3%
③	予約制乗合・デマンドタクシー	8	0.7%
④	タクシー	33	2.9%
⑤	本人が運転する自動車	646	56.7%
⑥	家族などが運転する自動車	215	18.9%
⑦	バイク	17	1.5%
⑧	自転車	94	8.2%
⑨	徒歩のみ	13	1.1%
⑩	無回答	12	1.1%
	計	1,140	100.0%



問 15 問 14 で①～⑦と答えた人にお聞きします。主な利用の目的は何ですか。

「買い物」(31.9%)が最も多く、次いで「通院」(18.6%)、「通勤」(19.2%)、「外食」(13.0%)、「趣味・習い事」(11.9%)と続いた。

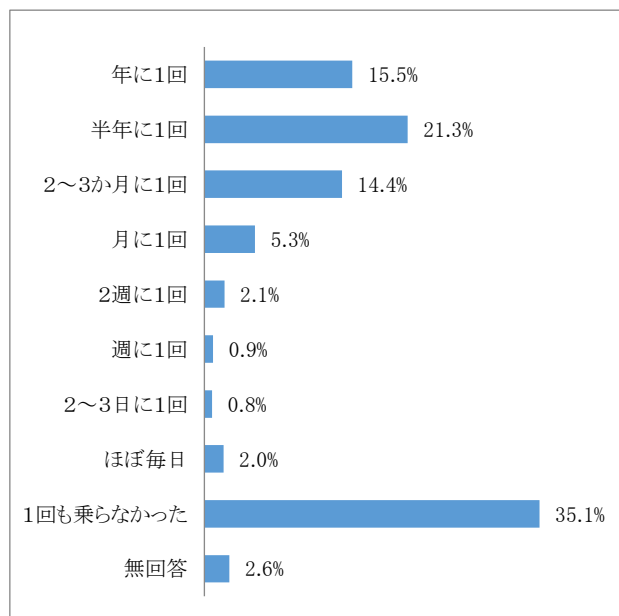
		回答数	構成比
①	通院	340	18.6%
②	通勤	352	19.2%
③	通学	21	1.1%
④	買い物	584	31.9%
⑤	趣味・習い事	218	11.9%
⑥	外食	239	13.0%
⑦	その他	45	2.5%
⑧	無回答	33	1.8%
	計	1,832	100.0%



問 16 過去1年間、鉄道をどのくらい利用しましたか。

「1回も乗らなかった」(35.1%)と最も多く、次いで「半年に1回」(21.3%)、「年に1回」(15.5%)、「2～3か月に1回」(14.4%)と続いた。「ほぼ毎日」(2.0%)の人もいるが、月に1回以上乗る人の割合は1割程度であった。鉄道を利用する人の半数近くが、年に数回程度であるとの結果になった。

		回答数	構成比
①	年に1回	124	15.5%
②	半年に1回	170	21.3%
③	2～3か月に1回	115	14.4%
④	月に1回	42	5.3%
⑤	2週に1回	17	2.1%
⑥	週に1回	7	0.9%
⑦	2～3日に1回	6	0.8%
⑧	ほぼ毎日	16	2.0%
⑨	1回も乗らなかった	281	35.1%
⑩	無回答	21	2.6%
	計	799	100.0%



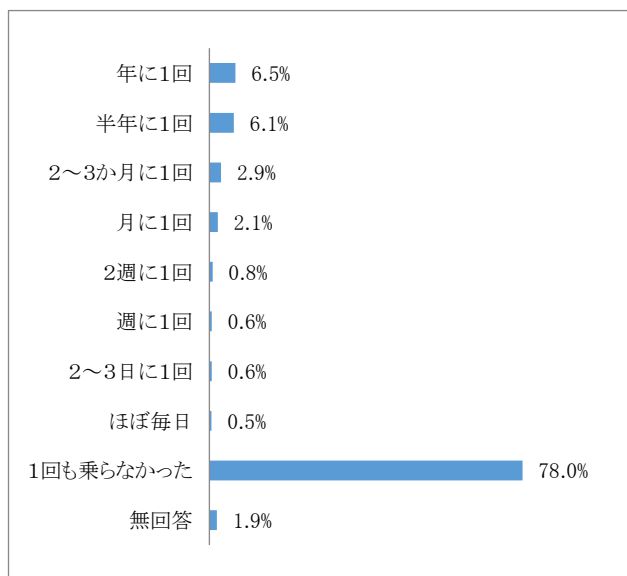
問 17 過去1年間、バスをどのくらい利用しましたか。

「1回も乗らなかった」(78.0%)と最も多く、次いで「年に1回」(6.5%)、「半年に1回」(6.1%)、「2～3か月に1回」(2.9%)と続いた。

月に1回以上乗った人の割合は、全体の5%にも満たなかった。

週に1回以上乗った人の割合は1.7%であることから、週に1回以上バスに乗る必要がある人は1,800人程度いると推定できる。

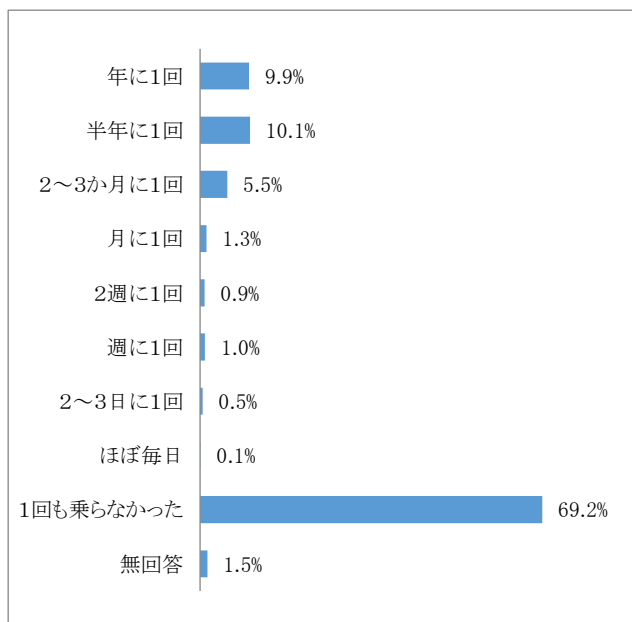
		回答数	構成比
①	年に1回	52	6.5%
②	半年に1回	49	6.1%
③	2～3か月に1回	23	2.9%
④	月に1回	17	2.1%
⑤	2週に1回	6	0.8%
⑥	週に1回	5	0.6%
⑦	2～3日に1回	5	0.6%
⑧	ほぼ毎日	4	0.5%
⑨	1回も乗らなかった	623	78.0%
⑩	無回答	15	1.9%
	計	799	100.0%



問 18 過去 1 年間、タクシーをどのくらい利用しましたか。

「1 回も乗らなかった」(69.2%) と最も多く、次いで「半年に 1 回」(10.1%)、「年に 1 回」(9.9%)、「2～3 か月に 1 回」(5.5%) と続いた。月に 1 回以上乗った人の割合は 5% にも満たなかった。週に 1 回以上乗った人の割合は 1.6% であることから、週に 1 回以上タクシーに乗る必要がある人は 1,700 人程度いると推定できる。

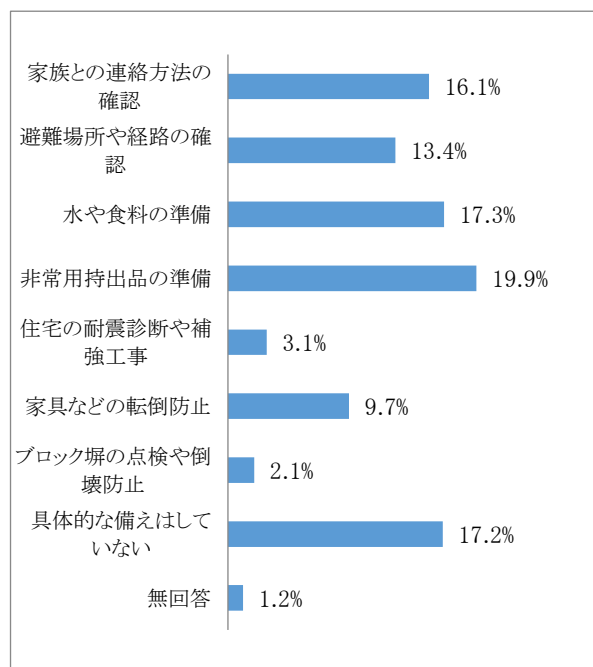
		回答数	構成比
①	年に 1 回	79	9.9%
②	半年に 1 回	81	10.1%
③	2～3 か月に 1 回	44	5.5%
④	月に 1 回	10	1.3%
⑤	2 週に 1 回	7	0.9%
⑥	週に 1 回	8	1.0%
⑦	2～3 日に 1 回	4	0.5%
⑧	ほぼ毎日	1	0.1%
⑨	1 回も乗らなかった	553	69.2%
⑩	無回答	12	1.5%
	計	799	100.0%



問 19 日頃から、どのような備えをしていますか。(複数回答可)

前回調査に比べ、「水や食料の準備」や「非常用持出品」など増えている項目もあり、「具体的な備えはしていない」(17.2%)が2.7ポイント減り、家庭における備えが普及しつつある結果となった。今後も様々な機会を捉えて啓発を続け、家庭における防災意識の高揚に努めていく必要がある。

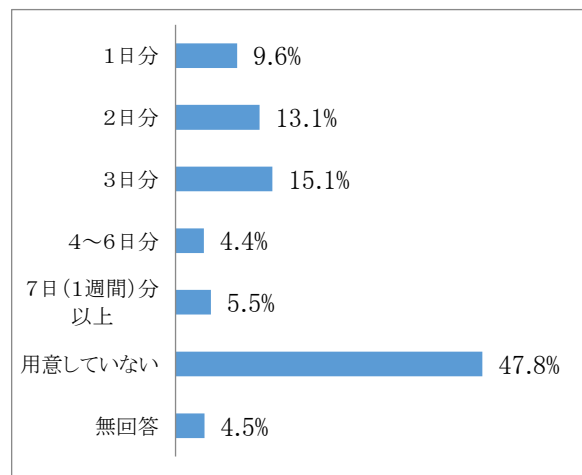
		回答数	構成比
①	家族との連絡方法の確認	230	16.1%
②	避難場所や経路の確認	192	13.4%
③	水や食料の準備	247	17.3%
④	非常用持出品（非常用ラジオ、懐中電灯、医薬品など）の準備	283	19.9%
⑤	住宅の耐震診断や補強工事	44	3.1%
⑥	家具などの転倒防止	139	9.7%
⑦	ブロック塀の点検や倒壊防止	30	2.1%
⑧	具体的な備えはしていない	246	17.2%
⑨	無回答	17	1.2%
	計	1,428	100.0%



問 20 水（1人1日3リットル）や食料は家族何日分の備蓄をしていますか。

水や食料の備蓄については、前回調査に比べ、2～3日分が28.2%で0.5ポイント増加し、4日以上が9.9%で0.5ポイント増加しているが、「用意していない」(47.8%)が前回調査と同程度となっており、備えが十分でない結果となった。さらなる啓発に努めていく必要がある。

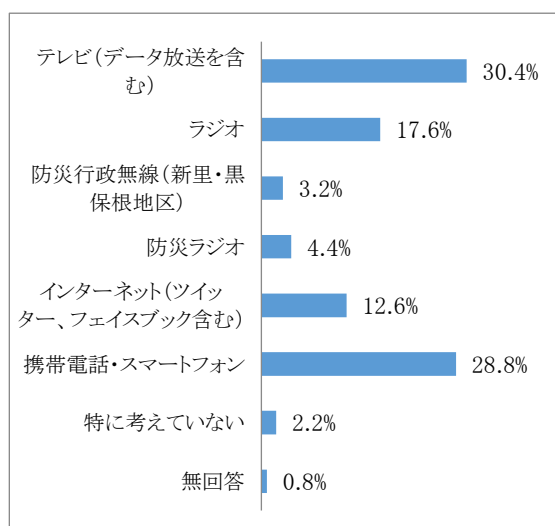
		回答数	構成比
①	1日分	77	9.6%
②	2日分	105	13.1%
③	3日分	121	15.1%
④	4～6日分	35	4.4%
⑤	7日（1週間）分以上	44	5.5%
⑥	用意していない	381	47.8%
⑦	無回答	36	4.5%
	計	799	100.0%



問 21 災害時に情報を入力する方法は何ですか。(複数回答可)

回答の多い順から、「テレビ」(30.4%)、「携帯電話・スマートフォン」(28.8%)、「ラジオ」(17.6%)が上位を占めた。前回調査からの比較では、「ラジオ」は6.4ポイントの減少となっており、「携帯電話・スマートフォン」は2.6ポイント増、また「インターネット(ツイッター、フェイスブック含む)」が3.7ポイント増となっている。市からの防災情報伝達手段は複数用意しているが、更なる情報伝達の強化を目指すため、効果的で効率的な伝達方法の研究をするとともに、市民への防災・気象情報の活用を啓発していく必要がある。

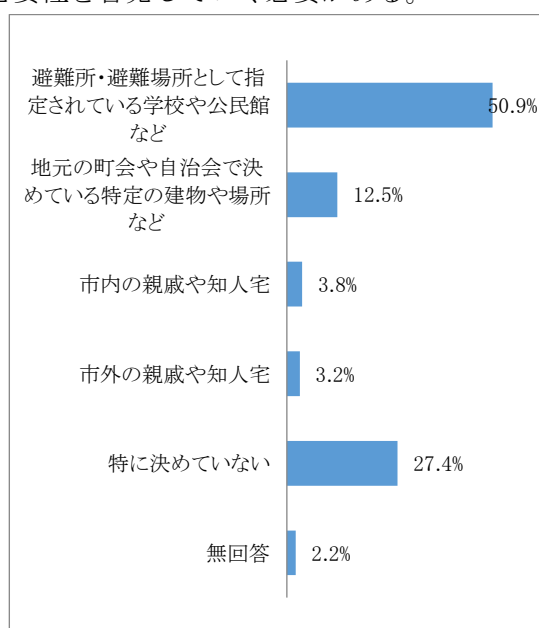
		回答数	構成比
①	テレビ(データ放送を含む)	538	30.4%
②	ラジオ	313	17.6%
③	防災行政無線(新里・黒保根地区)	56	3.2%
④	防災ラジオ	78	4.4%
⑤	インターネット(ツイッター、フェイスブック含む)	224	12.6%
⑥	携帯電話・スマートフォン	511	28.8%
⑦	特に考えていない	39	2.2%
⑧	無回答	15	0.8%
	計	1,774	100.0%



問 22 自宅以外へ避難しなければならない事態に備えて、どこへ避難するか決めていますか。また、決めている場合、どこへ避難しますか。(複数回答可)

自宅以外へ避難しなければならない事態に備えて、学校や公民館、特定の建物や場所など、どこへ避難するか決めている人は70.4%と多いが、「特に決めていない」(27.4%)と前回調査より4.2ポイント高くなっている。今後も、避難場所や避難経路の事前確認の必要性を啓発していく必要がある。

		回答数	構成比
①	避難所・避難場所として指定されている学校や公民館など	458	50.9%
②	地元の町会や自治会で決めている特定の建物や場所など	112	12.5%
③	市内の親戚や知人宅	34	3.8%
④	市外の親戚や知人宅	29	3.2%
⑤	特に決めていない	246	27.4%
⑥	無回答	20	2.2%
	計	899	100.0%

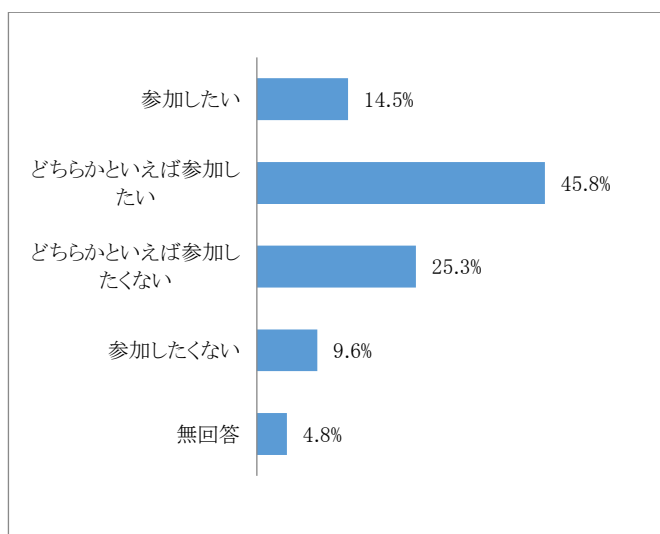


問 23 災害に対しては、地域住民が自主的に連帯して防災活動を行うことが必要です。こういった地域防災活動に参加したいと思いますか。

「参加したい」(14.5%)、「どちらかといえば参加したい」(45.8%)と回答した人の合計が60.3%で、前回調査に比べて2.5ポイント減少している。また、「どちらかといえば参加したくない」(25.3%)は2ポイント増加しており、地域防災(共助)に対する理解が少なくなったと考えられる。

今後も自主防災組織の活動を支援するとともに、自主防災組織の未組織地域に対して、自主防災活動の必要性について啓発していく必要がある。

		回答数	構成比
①	参加したい	116	14.5%
②	どちらかといえば参加したい	366	45.8%
③	どちらかといえば参加したくない	202	25.3%
④	参加したくない	77	9.6%
⑤	無回答	38	4.8%
	計	799	100.0%



桐生が岡動物園の有料化について

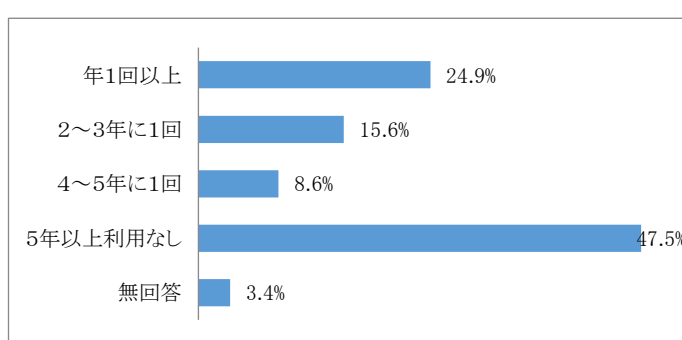
(都市整備部公園緑地課)

問 24 動物園をどのくらいの頻度で利用していますか。

動物園の利用頻度に関して、「5年以上利用なし」が47.5%、「年1回以上」が24.9%、「2～3年に1回」が15.6%、「4～5年に1回」が8.6%であり、動物園を1年以上利用していない人の割合が全体の約4分の3であるという結果となった。

回答者の年齢層から家族（子や孫）と利用する時期が過ぎると、動物園の利用が減少する傾向にあるものと推察される。

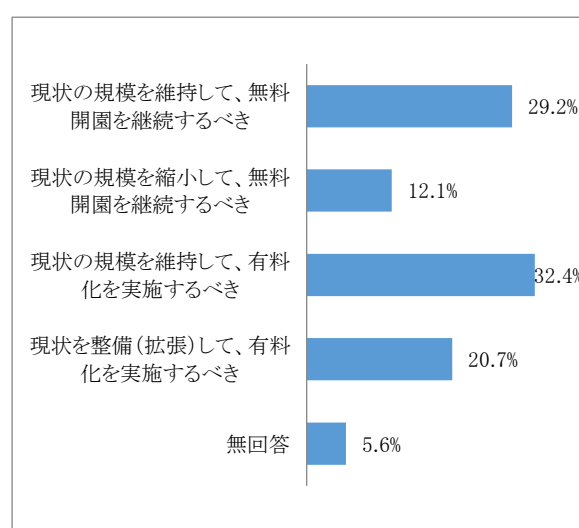
		回答数	構成比
①	年1回以上	199	24.9%
②	2～3年に1回	125	15.6%
③	4～5年に1回	69	8.6%
④	5年以上利用なし	379	47.5%
⑤	無回答	27	3.4%
	計	799	100.0%



問 25 動物園の有料化についてどう思いますか。

「現状の規模を維持して無料開園を継続」(29.2%)と「現状の規模を縮小して、無料開園を継続」(12.1%)の合計が41.3%、「現状の規模を維持して有料化を実施」(32.4%)と「現状を整備（拡張）して有料化を実施」(20.7%)の合計が53.1%で、有料化の実施が11.8ポイント上回っているものの、無料開園の継続を望んでいる人も全体の約4割いる結果となった。

		回答数	構成比
①	現状の規模を維持して、無料開園を継続するべき	233	29.2%
②	現状の規模を縮小して、無料開園を継続するべき	97	12.1%
③	現状の規模を維持して、有料化を実施するべき	259	32.4%
④	現状を整備（拡張）して有料化を実施するべき	165	20.7%
⑤	無回答	45	5.6%
	計	799	100.0%

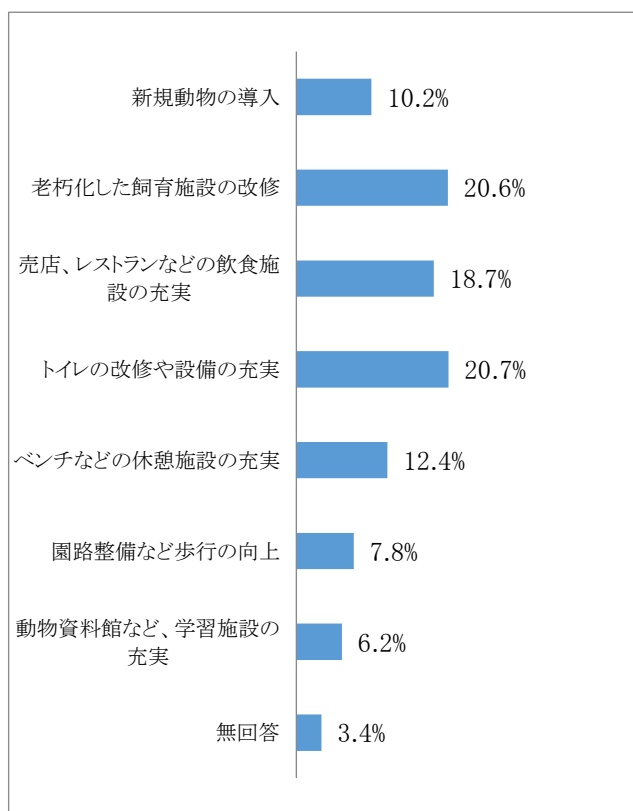


問 26 入園料がかかることで来園者が減少することも予想されるため、魅力を維持する整備が必要になると考えますが、どのような整備が必要だと思いますか。(複数回答可)

回答の多い順から「トイレの改修や設備の充実」(20.7%)、「老朽化した飼育施設の改修」(20.6%)、「売店、レストランなど飲食設備の充実」(18.7%)、「ベンチなどの休憩施設の充実」(12.4%)、「新規動物の導入」(10.2%)、「園路設備など歩行の向上」(7.8%)、「動物資料館など、学習施設の充実」(6.2%)となっている。

動物園の魅力を維持していくためには、老朽化している既存施設の改修や、飲食や休憩ができる施設の設置により、来園者の利便性向上が必要と考えられる。

		回答数	構成比
①	新規動物の導入	202	10.2%
②	老朽化した飼育施設の改修	407	20.6%
③	売店、レストランなどの飲食施設の充実	371	18.7%
④	トイレの改修や設備の充実	409	20.7%
⑤	ベンチなどの休憩施設の充実	245	12.4%
⑥	園路整備など歩行の向上	154	7.8%
⑦	動物資料館など、学習施設の充実	123	6.2%
⑧	無回答	68	3.4%
	計	1,979	100.0%



問 27 有料化に必要な整備を行った上で、入園料（大人・子ども）はどのくらいにするのが妥当と思いますか。

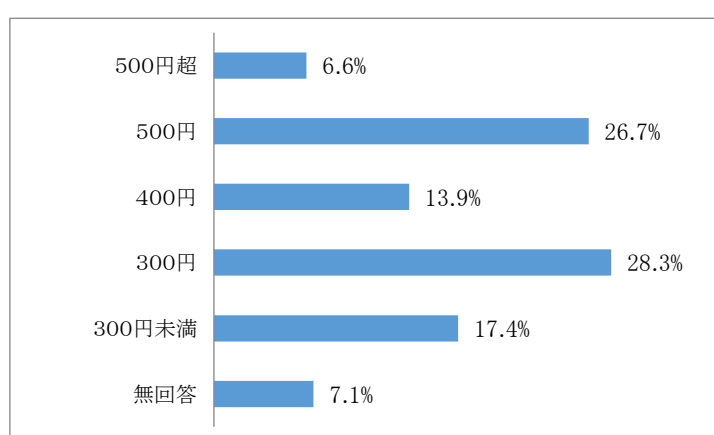
<大人料金（中学生以上）>

利用料金に関して、大人料金（中学生以上）は「300円」（28.3%）が最も多く、次いで「500円」（26.7%）、「300円未満」（17.4%）、「400円」（13.9%）、「500円超」（6.6%）という結果であった。

300～500円の価格帯を妥当だと思う意見が68.9%と、全体の約7割を占めた。

今回のアンケートの結果から妥当とされる大人料金（中学生以上）の入園料は、300円～500円の価格帯であると考えられる。

		回答数	構成比
①	500円超	53	6.6%
②	500円	213	26.7%
③	400円	111	13.9%
④	300円	226	28.3%
⑤	300円未満	139	17.4%
⑥	無回答	57	7.1%
	計	799	100.0%

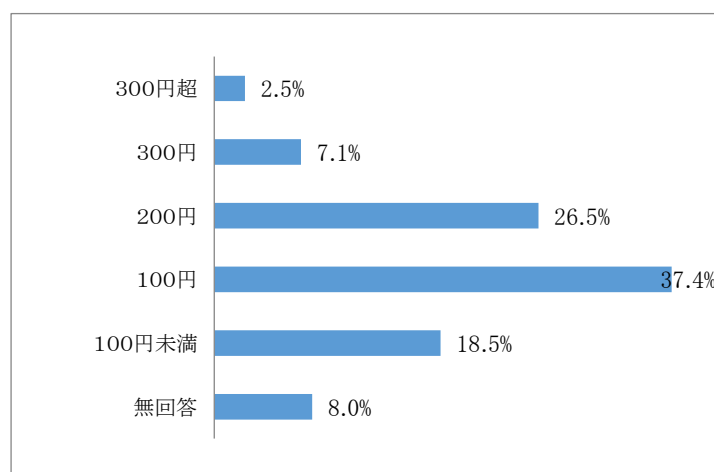


<子ども料金>

利用料金に関して、子ども料金は37.4%の人が「100円」という価格帯に回答しており、次いで「200円」（26.5%）、「100円未満」（18.5%）、「300円」（7.1%）、「300円超」（2.5%）という結果であった。「100円」と「200円」の回答を合計すると63.9%となった。

今回のアンケートの結果から妥当とされる子ども料金の入園料は、100～200円の価格帯であると考えられる。

		回答数	構成比
①	300円超	20	2.5%
②	300円	57	7.1%
③	200円	212	26.5%
④	100円	298	37.4%
⑤	100円未満	148	18.5%
⑥	無回答	64	8.0%
	計	799	100.0%



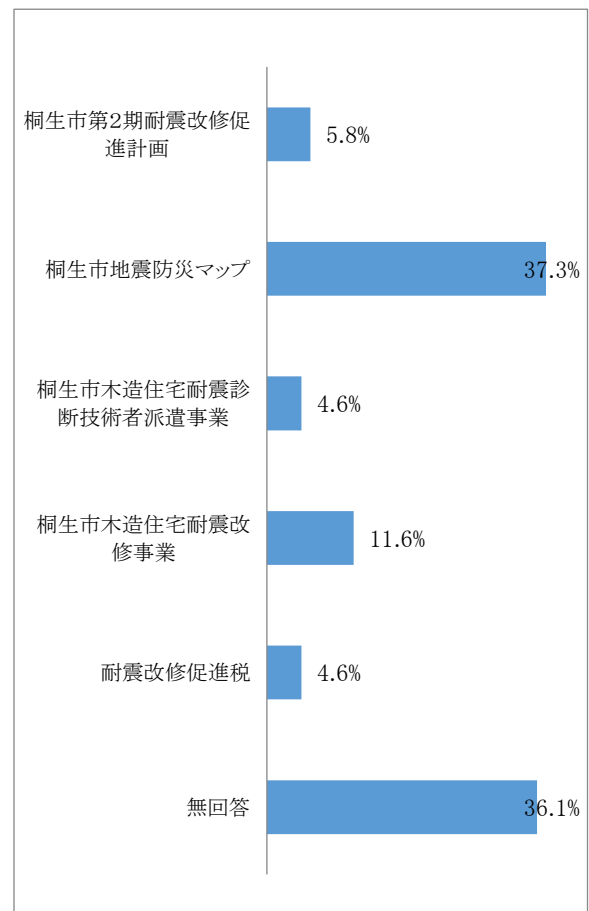
住宅の耐震について

(都市整備部建築指導課)

問 28 耐震に関して知っているものに○をつけてください。(複数回答可)

最も知られている「桐生市地震防災マップ」でも 37.3%であり、全体的に認知度が低いことが分かる。近年は大規模な地震が多く発生しているため、今後も継続して耐震に関する認知度の向上に努めていく必要がある。

		回答数	構成比
①	桐生市第2期耐震改修促進計画（建物の耐震化を促進するための計画）	56	5.8%
②	桐生市地震防災マップ（地震が起きた時の地盤の揺れやすさなどを示した地図）	358	37.3%
③	桐生市木造住宅耐震診断技術者派遣事業（一定要件の建築物の耐震診断費を補助）	44	4.6%
④	桐生市木造住宅耐震改修事業（一定の耐震改修工事費用の一部を補助）	111	11.6%
⑤	耐震改修促進税（一定の耐震改修工事を行った場合、改修工事を完了した年の所得税額を一定額控除）	44	4.6%
⑥	無回答	346	36.1%
	計	959	100.0%

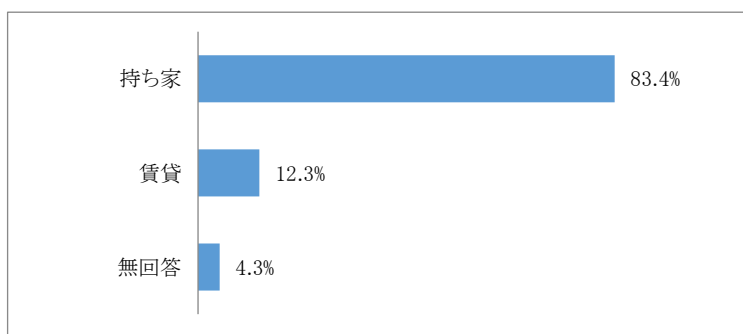


問 29 お住まいの住宅について、各項目で該当するものに○をつけてください。

＜所有状況＞は「持ち家」の比率が高く、＜建築時期＞は旧耐震である「昭和 56 年 5 月 31 日以前」が 22.2%、＜構造＞は「木造」が過半を超えている。旧耐震基準で建てられた建物は過去の震災でも被害が多かったことから、耐震診断を促すための啓発を行いたい。

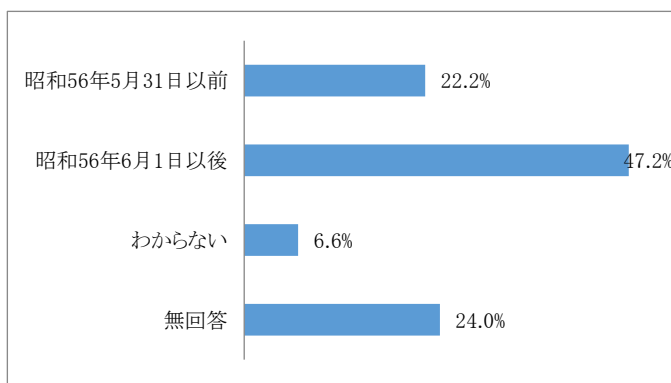
＜所有状況＞

		回答数	構成比
①	持ち家	667	83.4%
②	賃貸	98	12.3%
③	無回答	34	4.3%
	計	799	100.0%



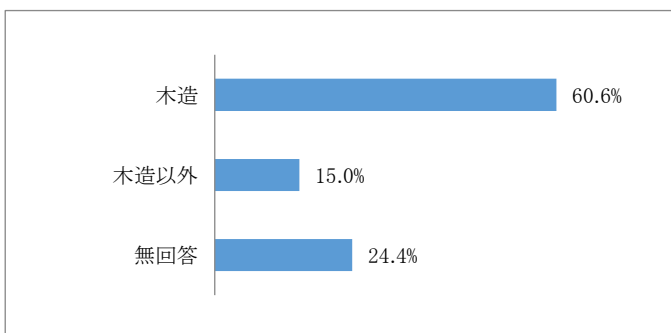
＜建築時期＞

		回答数	構成比
①	昭和 56 年 5 月 31 日以前	177	22.2%
②	昭和 56 年 6 月 1 日以後	377	47.2%
③	わからない	53	6.6%
④	無回答	192	24.0%



＜構造＞

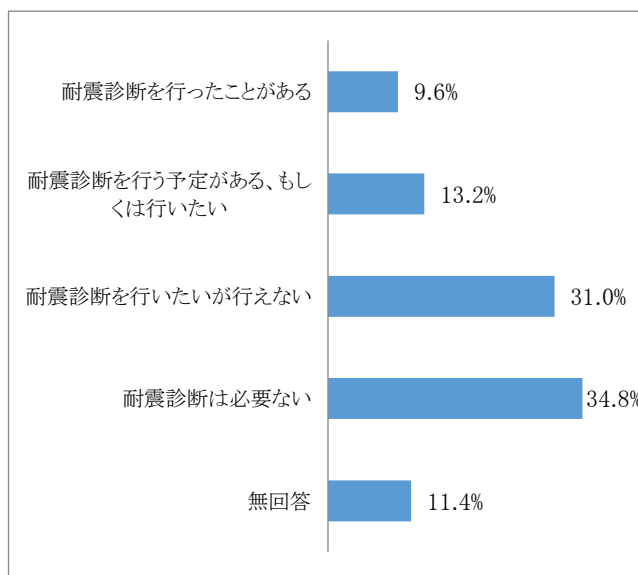
		回答数	構成比
①	木造	484	60.6%
②	木造以外	120	15.0%
③	無回答	195	24.4%
	計	799	100.0%



問 30 問 29 の〈所有の状況〉で①と答えた人にお聞きします。耐震診断を行ったことがありますか。

持ち家の中で「耐震診断は必要ない」が 34.8%となっているが、これは新耐震後の建物が多いと考えられる。続いて「耐震診断を行いたいが行えない」が 31.0%となっており、耐震診断の意識の高さがうかがえる。

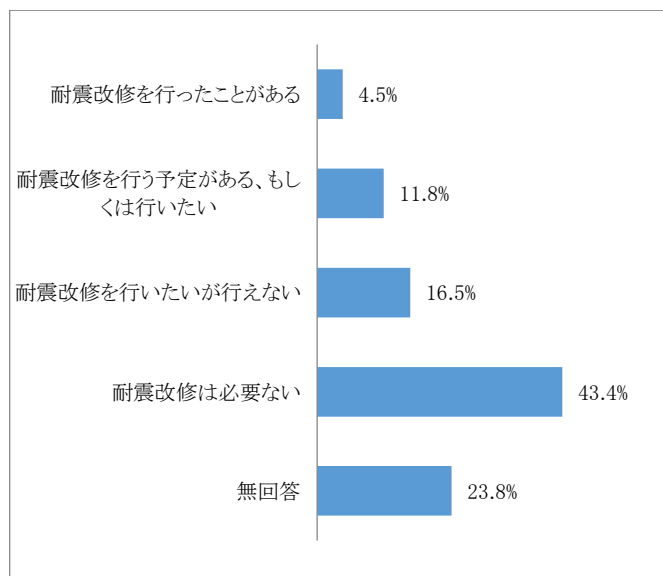
		回答数	構成比
①	耐震診断を行ったことがある	64	9.6%
②	耐震診断を行う予定がある、もしくは行いたい	88	13.2%
③	耐震診断を行いたいが行えない	207	31.0%
④	耐震診断は必要ない	232	34.8%
⑤	無回答	76	11.4%
	計	667	100.0%



問 31 問 29 の〈所有の状況〉で①と答えた人にお聞きします。耐震改修を行ったことがありますか。

持ち家の中で「耐震改修は必要ない」が 43.4%となっており、その理由は問 32 のとおりである。続いて「耐震改修を行いたいが行えない」が 16.5%で、その理由としては「耐震に関する知識不足」や「金銭的な問題」があげられている。耐震診断・改修どちらにも言えることだが、耐震の知識を深めてもらうと共に補助制度の周知をしていきたい。

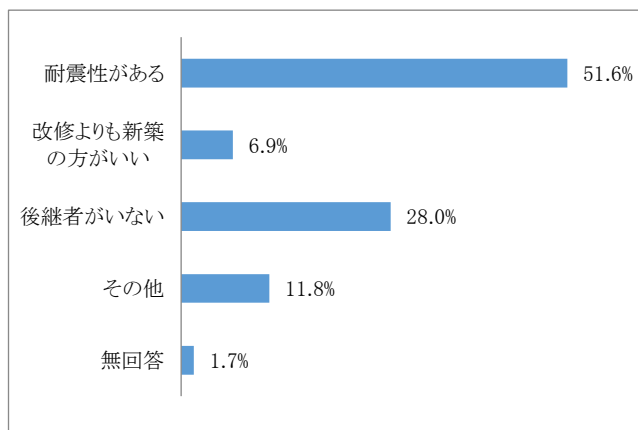
		回答数	構成比
①	耐震改修を行ったことがある	30	4.5%
②	耐震改修を行う予定がある、もしくは行いたい	79	11.8%
③	耐震改修を行いたいが行えない	110	16.5%
④	耐震改修は必要ない	289	43.4%
⑤	無回答	159	23.8%
	計	667	100.0%



問 32 問 31 で④と答えた人にお聞きします。なぜ、耐震改修が必要ないのですか。

「後継者がいない」が 28.0%となっており、耐震化率を向上させるための支援制度のみでは対応できない部分もあることが分かる結果となった。

		回答数	構成比
①	耐震性がある	149	51.6%
②	改修よりも新築の方がいい	20	6.9%
③	後継者がいない	81	28.0%
④	その他	34	11.8%
⑤	無回答	5	1.7%
	計	289	100.0%

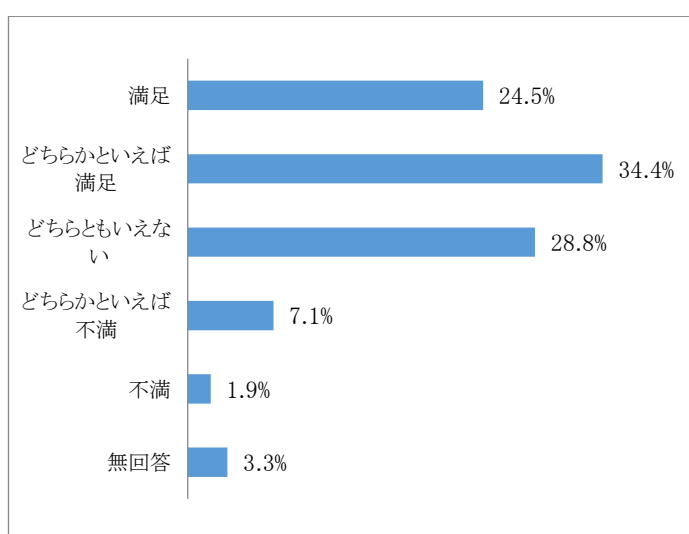


問 33 桐生市水道局が行っている水道事業全般について満足していますか。

「どちらかといえば満足」(34.4%)が最も多く、次いで「どちらともいえない」(28.8%)、「満足」(24.5%)となっている。

水道事業全般について「満足」(24.5%)と「どちらかといえば満足」(34.4%)を合計すると、全体の58.9%となり、満足している人の割合が高い結果となっている。また、「どちらかといえば不満」(7.1%)と「不満」(1.9%)を合計した満足していない人の割合は、全体の9.0%という結果になった。

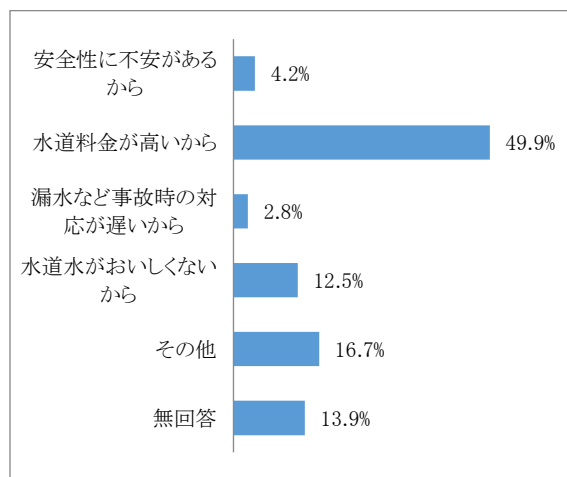
		回答数	構成比
①	満足	196	24.5%
②	どちらかとい えば満足	275	34.4%
③	どちらとも いえない	230	28.8%
④	どちらかとい えば不満	57	7.1%
⑤	不満	15	1.9%
⑥	無回答	26	3.3%
	計	799	100.0%



問 34 問 33 で④・⑤と答えた人にお聞きします。その理由は何ですか。

「水道料金が高いから」(49.9%)が最も多く、次いで「水道水がおいしくないから」(12.5%)となっている。また、その他の理由として「水道局の仕事が分からない」や「積極的に情報発信してほしい」という声が挙げられた。これらの結果を踏まえ、今後の参考としたい。

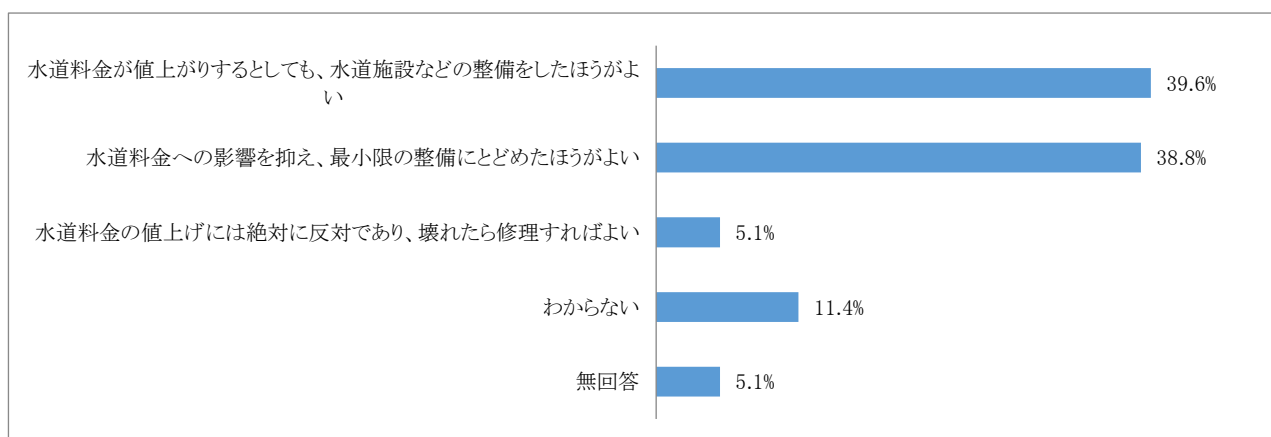
		回答数	構成比
①	安全性に不安があるから	3	4.2%
②	水道料金が高いから	36	49.9%
③	漏水など事故時の対応が遅いから	2	2.8%
④	水道水がおいしくないから	9	12.5%
⑤	その他	12	16.7%
⑥	無回答	10	13.9%
	計	72	100.0%



問 35 全国的に老朽化した施設整備の時期を迎えている状況の中、今後の老朽化した水道管の布設替えや施設、設備の整備についてどう思いますか。

「水道料金が値上がりするとしても、水道施設などの整備をしたほうがよい」(39.6%)が最も多く、次いで「水道料金への影響を抑え、最小限の整備にとどめたほうがよい」(38.8%)となり、この2つに回答が集中した。この結果から老朽化施設の整備の必要性は認識しているということが分かる。今後、施設整備の更新時期を迎える中、水利用者の更なる理解のもと、負担を抑えながら整備を行っていききたい。

		回答数	構成比
①	水道料金が値上がりするとしても水道施設などの整備をしたほうがよい	316	39.6%
②	水道料金への影響を抑え、最小限の整備にとどめたほうがよい	310	38.8%
③	水道料金の値上げには絶対に反対であり、壊れたら修理すればよい (修理するためには水道が一時止まる場合があります)	41	5.1%
④	わからない	91	11.4%
⑤	無回答	41	5.1%
	計	799	100.0%

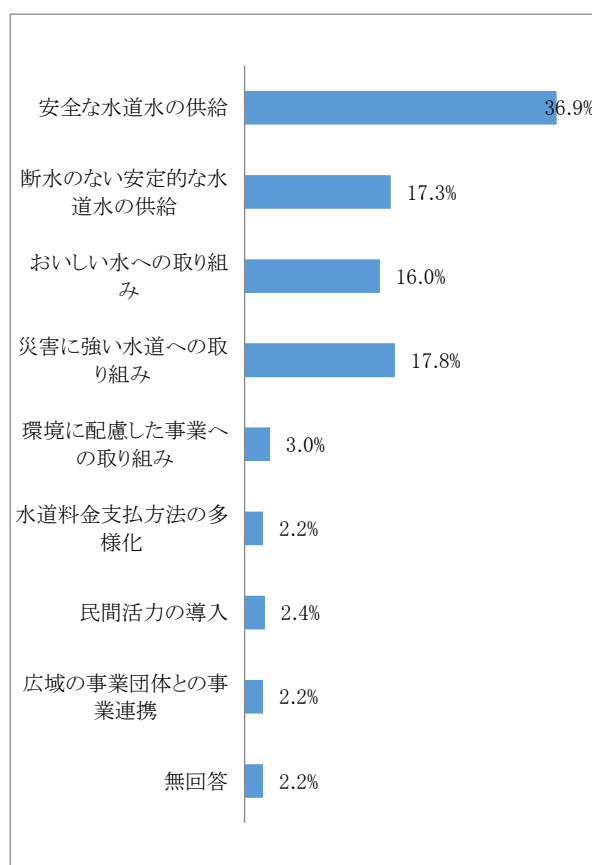


問 36 今後の水道事業に望むことを教えてください。（3つまで回答可）

「安全な水道水の供給」(36.9%) が最も多く、次いで「災害に強い水道への取り組み」(17.8%)、「断水のない安定的な水道水の供給」(17.3%)、「おいしい水への取り組み」(16.0%) となった。

この結果を受けて、今後も桐生市水道局のスローガンでもある「安全でおいしい水の安定供給」に努めたい。

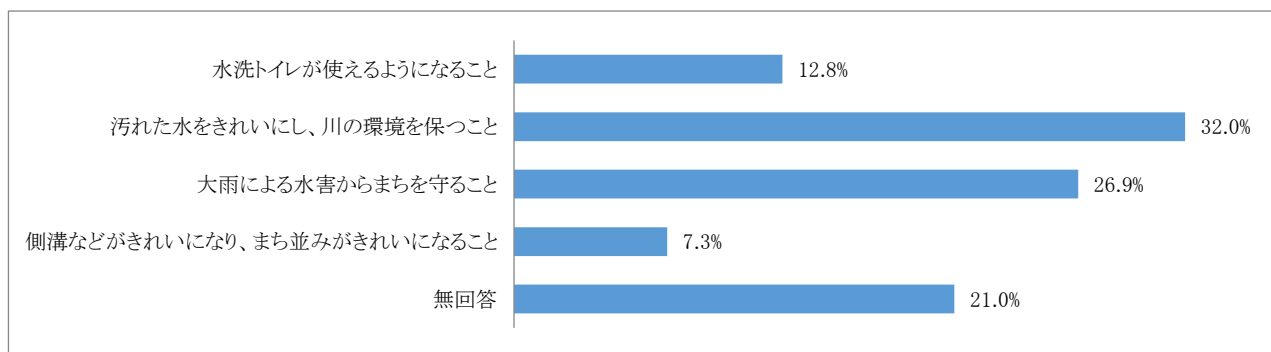
		回答数	構成比
①	安全な水道水の供給	688	36.9%
②	断水のない安定的な水道水の供給	321	17.3%
③	おいしい水への取り組み	298	16.0%
④	災害に強い水道への取り組み	331	17.8%
⑤	環境に配慮した事業への取り組み	56	3.0%
⑥	水道料金支払方法の多様化	40	2.2%
⑦	民間活力の導入	45	2.4%
⑧	広域の事業団体との事業連携	40	2.2%
⑨	無回答	41	2.2%
	計	1860	100.0%



問 37 公共下水道の役割として重点的に取り組むべきだと思うことはどれですか。

「汚れた水をきれいにし、川の環境を保つこと」(32.0%)が最も多く、次いで「大雨による水害からまちを守ること」(26.9%)となっている。下水道が生活環境の改善に果たす主な役割として汚水処理と雨水排除があるが、市民の意識としては、汚水処理の役割のイメージがやや強いことがうかがえる。

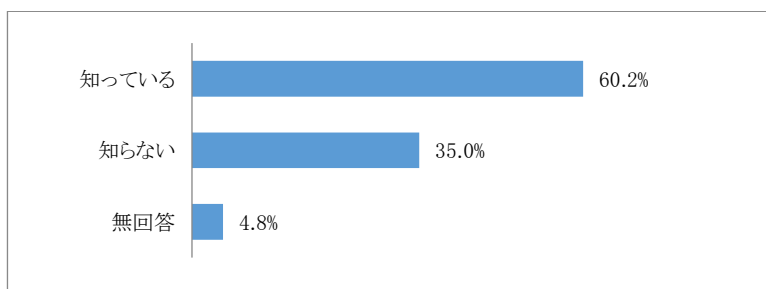
		回答数	構成比
①	水洗トイレが使えるようになること	102	12.8%
②	汚れた水をきれいにし、川の環境を保つこと	256	32.0%
③	大雨による水害からまちを守ること	215	26.9%
④	側溝などがきれいになり、まち並みがきれいになること	58	7.3%
⑤	無回答	168	21.0%
	計	799	100.0%



問 38 公共下水道事業は利用者からの使用料収入が主な財源であることを知っていますか。

「知っている」(60.2%)、「知らない」(35.0%)となっていることから、多くの市民は下水道事業の経営の仕組みを知っているという結果になっており、下水道事業への関心は高いものと考えられる。

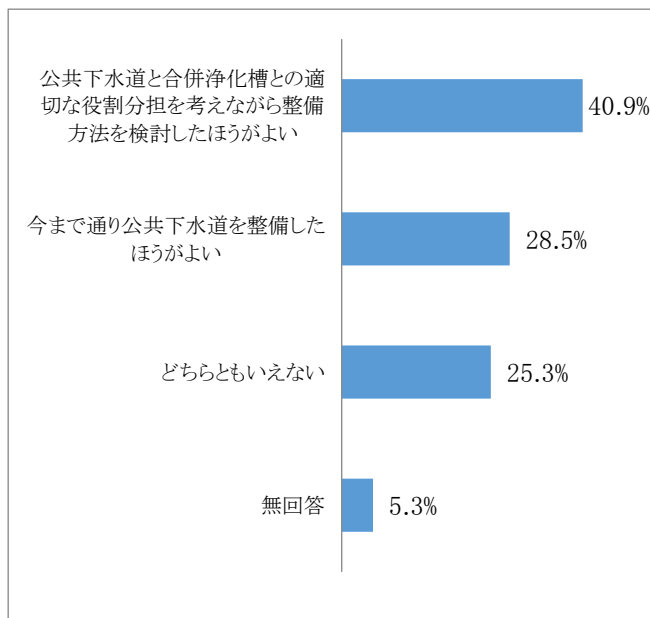
		回答数	構成比
①	知っている	481	60.2%
②	知らない	280	35.0%
③	無回答	38	4.8%
	計	799	100.0%



問 39 今後、人口減少や高齢化が進む中、公共下水道と合併浄化槽との適切な役割分担を考え、整備区域を見直すなど、整備方法を検討する必要があると思いますか。

「公共下水道と合併浄化槽との適切な役割分担を考えながら整備方法を検討した方がよい」(40.9%)が最も多くなっていることから、今後、汚水処理施設の整備については、費用対効果を検証し実施していきたい。

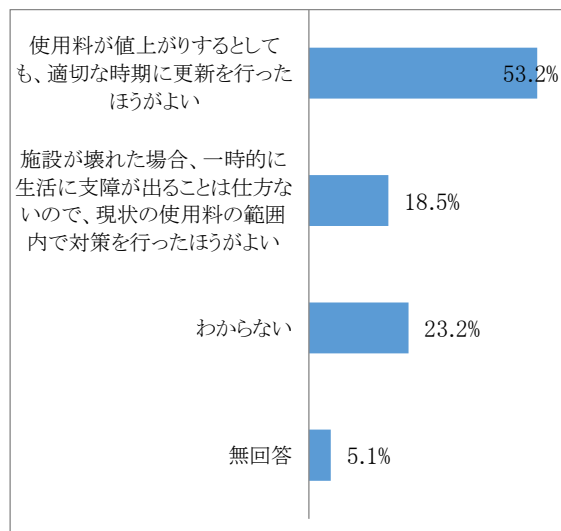
		回答数	構成比
①	公共下水道と合併浄化槽との適切な役割分担を考えながら整備方法を検討したほうがよい	327	40.9%
②	今まで通り公共下水道を整備したほうがよい	228	28.5%
③	どちらともいえない	202	25.3%
④	無回答	42	5.3%
	計	799	100.0%



問 40 桐生市の公共下水道事業は、施設の老朽化が進んでいます。老朽化した施設の更新を行わないと、日常生活に支障が出る可能性があります。今後、施設の更新時期を迎えた場合、更新の必要性についてどう思いますか。

「使用料が値上がりするとしても、適切な時期に更新を行ったほうがよい」(53.2%)が最も多くなっており、多くの市民は老朽化施設の整備の必要性を認識していることがうかがえる。今後の施設更新については、市民負担を十分に考慮しながら、計画的な更新を実施していきたい。

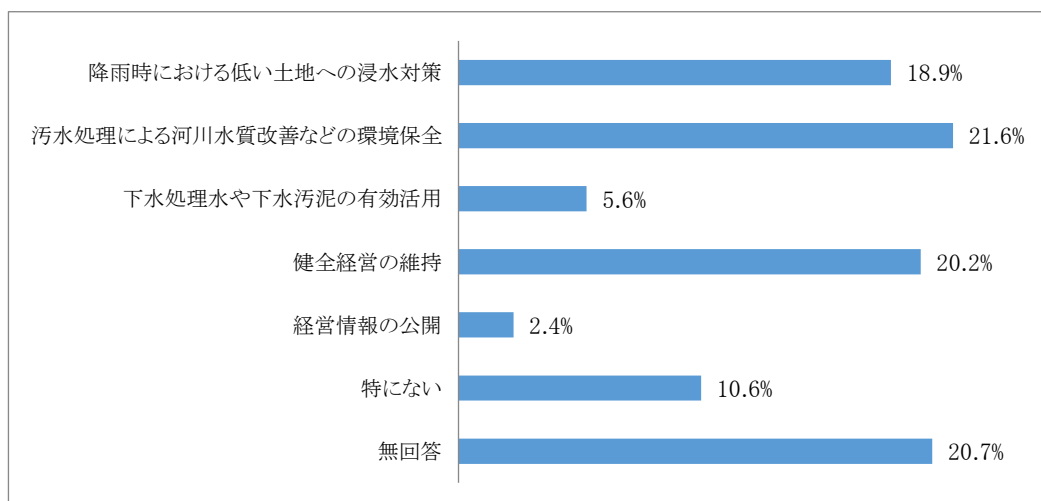
		回答数	構成比
①	使用料が値上がりするとしても、適切な時期に更新を行ったほうがよい	425	53.2%
②	施設が壊れた場合、一時的に生活に支障が出ることは仕方ないので現状の使用料の範囲内で対策を行ったほうがよい	148	18.5%
③	わからない	185	23.2%
④	無回答	41	5.1%
	計	799	100.0%



問 41 これからの公共下水道事業について、何を期待しますか。

「汚水処理による河川水質改善などの環境保全」(21.6%)が最も多く、次いで「健全経営の維持」(20.2%)、「降雨時における低い土地への浸水対策」(18.9%)が約2割となっている。今後も、下水道の大きな役割である汚水処理、雨水排除を適切に行いながら、企業会計の導入などによる経営体制の強化にも努めていきたい。

		回答数	構成比
①	降雨時における低い土地への浸水対策	151	18.9%
②	汚水処理による河川水質改善などの環境保全	173	21.6%
③	下水処理水や下水汚泥の有効活用	45	5.6%
④	健全経営の維持	161	20.2%
⑤	経営情報の公開	19	2.4%
⑥	特にない	85	10.6%
⑦	無回答	165	20.7%
	計	799	100.0%



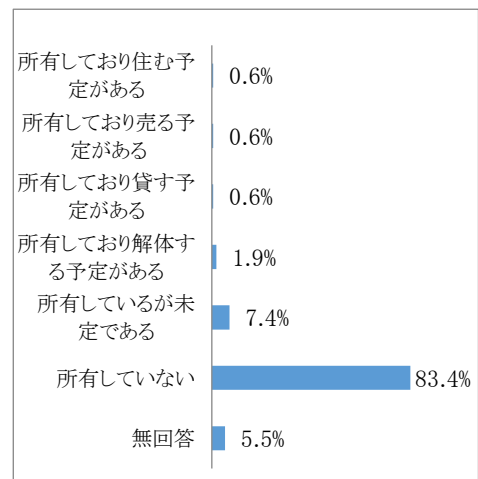
空き家の利活用について

(都市整備部空き家対策室)

問 42 あなたまたは家族が市内に空き家を所有していますか。

空き家を所有していると答えた人の割合は 11.1%と、平成 28 年度に実施した実態調査の結果（行政区ごとの空き家率 2.8%～11.9%）とほぼ同水準である。空き家所有者の中で使う予定がないものは 6 割以上であり、この層への啓発が必要であると考えられる。

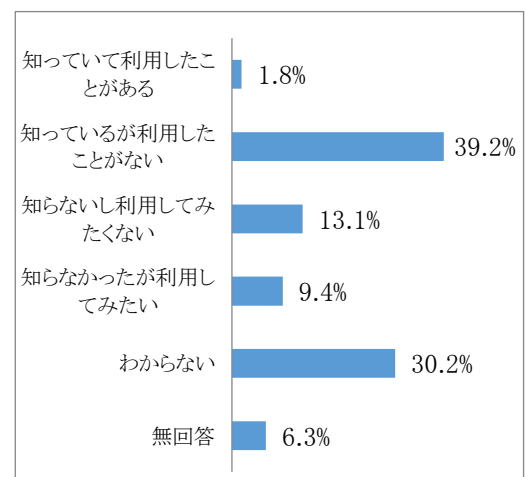
		回答数	構成比
①	所有しており住む予定がある	5	0.6%
②	所有しており売る予定がある	5	0.6%
③	所有しており貸す予定がある	5	0.6%
④	所有しており解体する予定がある	15	1.9%
⑤	所有しているが未定である	59	7.4%
⑥	所有していない	666	83.4%
⑦	無回答	44	5.5%
	計	799	100.0%



問 43 空き家や空き地情報をホームページなどで発信する「空き家・空き地バンク」事業を市で実施しているのを知っていますか。

「空き家・空き地バンク」については、前々回から調査項目としているが、事業の認知度は約 4 割となっており、一定の認知をされていると考えられる。「利用してみたくない」は前回より下がり、「利用してみたい」も上がっていることから、空き家や空き地で困った場合「空き家・空き地バンク」が解決手段の一つとして使われる可能性があると考えられる。

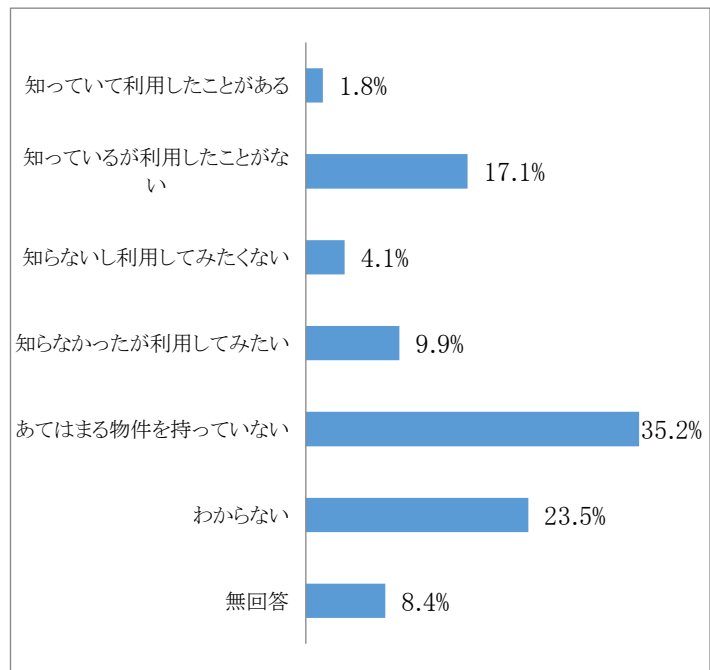
		回答数	構成比
①	知っていて利用したことがある	14	1.8%
②	知っているが利用したことがない	314	39.2%
③	知らないし利用してみたくない	105	13.1%
④	知らなかったが利用してみたい	75	9.4%
⑤	わからない	241	30.2%
⑥	無回答	50	6.3%
	計	799	100.0%



問 44 空き家のリフォームや解体に使える補助金を市が実施しているのを知っていますか。

「知っている」という回答が約5分の1であったことから、本補助金の周知が課題と考えており、今後は認知度を4分の1から3分の1程度に上げていけるよう周知活動などを検討する必要があると考える。

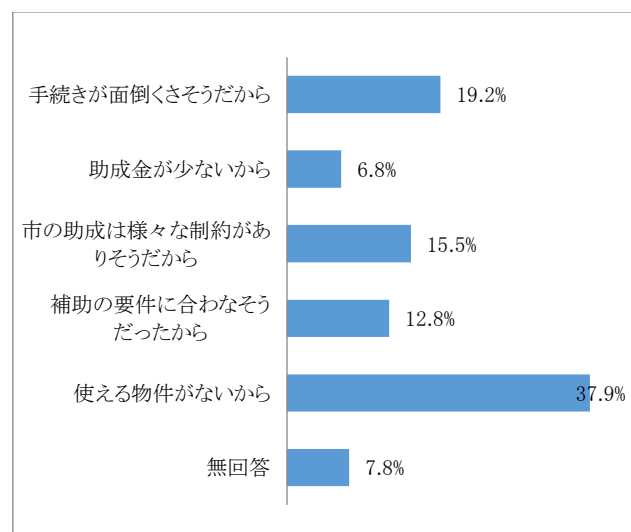
		回答数	構成比
①	知っていて利用したことがある	14	1.8%
②	知っているが利用したことがない	137	17.1%
③	知らないし利用してみたくない	33	4.1%
④	知らなかったが利用してみたい	79	9.9%
⑤	あてはまる物件を持っていない	281	35.2%
⑥	わからない	188	23.5%
⑦	無回答	67	8.4%
	計	799	100.0%



問 45 問 44 で②・③と答えた人にお聞きします。利用したことがない、または利用してみたくない理由は何ですか。(複数回答可)

理由として手続きの煩雑さや制約などが挙げられている。桐生暮らしを応援するための補助金であることから、手続きに関することが補助金を使わない理由とならないよう今後は手続きへの理解と丁寧な説明に努める必要がある。

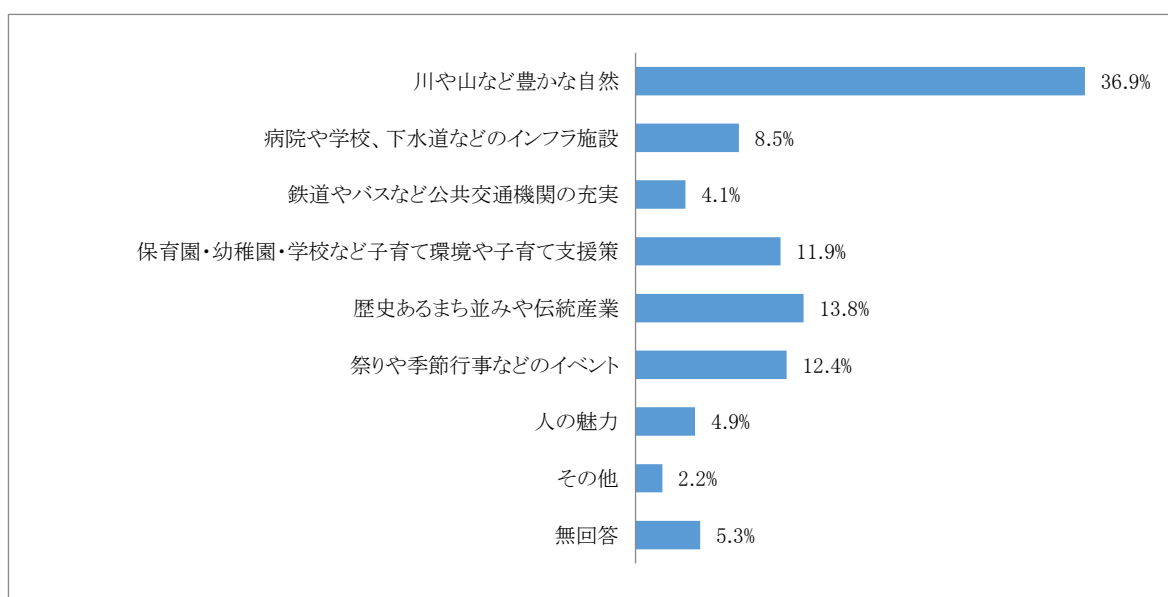
		回答数	構成比
①	手続きが面倒くさそうだから	42	19.2%
②	助成金が少ないから	15	6.8%
③	市の助成は様々な制約がありそうだから	34	15.5%
④	補助の要件に合わなそうだったから	28	12.8%
⑤	使える物件がないから	83	37.9%
⑥	無回答	17	7.8%
	計	219	100.0%



問 46 移住・定住を考えている人にあなたが伝えたい桐生市の魅力はどれですか。(複数回答可)

桐生の豊かな自然はもちろんのこと、前回調査と比較して子育てに関することや歴史あるまち並み、祭りなどのイベントについての回答が増え、人の魅力との回答も増加した。また自然災害の少なさとの回答もあり、このような項目も地域の魅力となるということを改めて認識した。今後はこの結果を移住相談会などで活用していきたい。

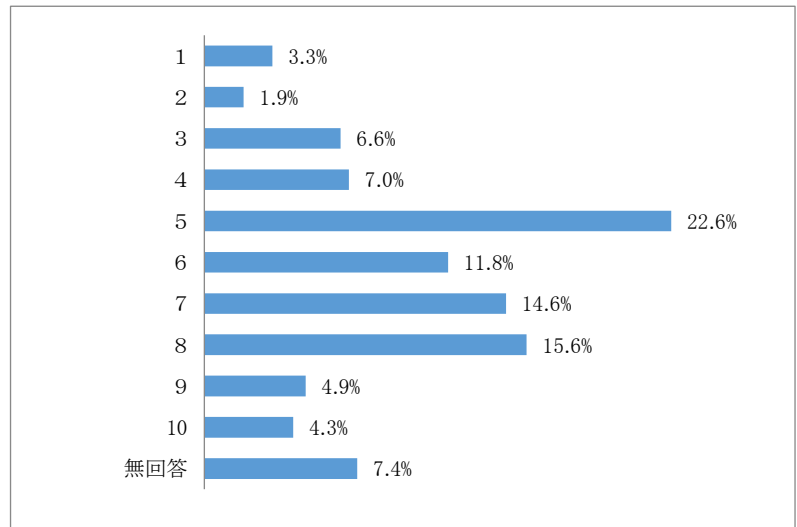
		回答数	構成比
①	川や山など豊かな自然	571	36.9%
②	病院や学校、下水道などのインフラ施設	131	8.5%
③	鉄道やバスなど公共交通機関の充実	63	4.1%
④	保育園・幼稚園・学校など子育て環境や子育て支援策	184	11.9%
⑤	歴史あるまち並みや伝統産業	214	13.8%
⑥	祭りや季節行事などのイベント	192	12.4%
⑦	人の魅力	75	4.9%
⑧	その他	34	2.2%
⑨	無回答	82	5.3%
	計	1,546	100.0%



問 47 あなたは桐生市に対する考えを聞かれたときに次の項目についてどのくらい桐生市を薦めますか。
 <住む場として>

10段階の評価について、「1～6」を「お薦めしない」、「7～8」を「どちらでもない」、「9～10」を「積極的に薦める」として捉えると、無回答を除く回答者の割合は、「お薦めしない」が53.2%、「どちらでもない」が30.2%、「積極的に薦める」が9.2%となった。なお、無回答を除く回答者の平均値は6.0ポイントとなった。今後は、「お薦めしない」の低減とともに、「積極的に薦める」の増加に努めることが重要であると考ええる。

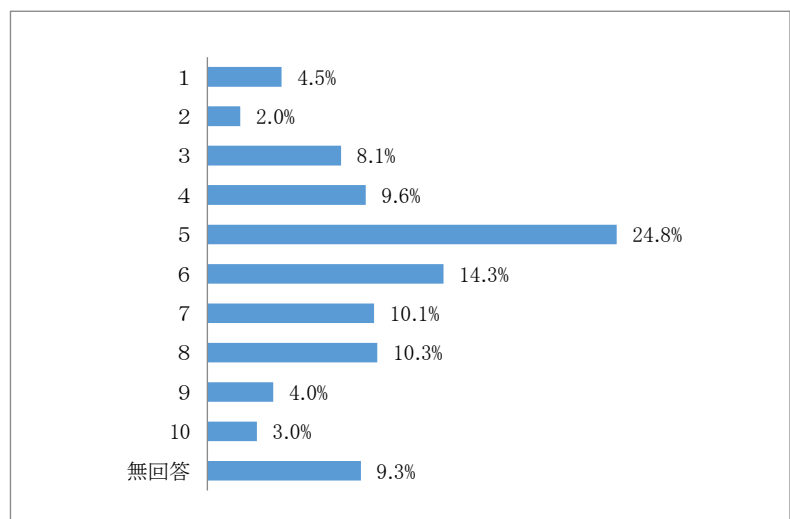
		回答数	構成比
①	1	26	3.3%
②	2	15	1.9%
③	3	53	6.6%
④	4	56	7.0%
⑤	5	181	22.6%
⑥	6	94	11.8%
⑦	7	117	14.6%
⑧	8	125	15.6%
⑨	9	39	4.9%
⑩	10	34	4.3%
⑪	無回答	59	7.4%
	計	799	100.0%



<訪れる場として>

10段階の評価について、「1～6」を「お薦めしない」、「7～8」を「どちらでもない」、「9～10」を「積極的に薦める」として捉えると、無回答を除く回答者の割合は、「お薦めしない」が63.3%、「どちらでもない」が20.4%、「積極的に薦める」が7.0%となった。なお、無回答を除く回答者の平均値は5.5ポイントとなった。今後は、「お薦めしない」の低減とともに、「積極的に薦める」の増加に努めることが重要であると考ええる。

		回答数	構成比
①	1	36	4.5%
②	2	16	2.0%
③	3	65	8.1%
④	4	77	9.6%
⑤	5	198	24.8%
⑥	6	114	14.3%
⑦	7	81	10.1%
⑧	8	82	10.3%
⑨	9	32	4.0%
⑩	10	24	3.0%
⑪	無回答	74	9.3%
	計	799	100.0%



問 48 あなたが住みたいと思うまちはどんなまちですか。20 文字以内でご記入ください。

回答欄に何らかの記述をした回答者 570 人の回答内容について、ユーザーローカル テキストマイニングツール(<https://textmining.userlocal.jp/>)で分析した。

その結果、出現単語数 5,144 のうち、特に出現頻度の高かった単語は、安心 (119 回)・安全 (78 回)・自然 (75 回) であった。

回答者の属性別にクロス集計を行った結果でも、性別、年齢層、居住年数それぞれの属性で傾向に大きな差異はなかった。

なお、全 7,850 文字 5,144 単語について機械的な判断により、5 つの要約を作成すると以下のとおりとなる。

1. 自然が豊かであり、安心なまち
2. 日常生活が安全、安心して暮らせるまち
3. 静かで安心して楽しく生活できるようなまち
4. 豊かな自然と安心して暮らせるまち
5. 家族が安全・安心して暮らせるまち

第23回「市民の声」アンケート自由意見集約結果

1 記載の状況

アンケート回収総数 799 人中、自由意見欄に記載があったのは 343 人で全体の 42.9%。記載者全体のうち男が 39.1%、女が 59.7%、不明 1.2%である。

第22回の 34.9% (1,067 人中 372 人) に比べ 8.0 ポイント増加した。

(1) 記載者数

男 134 人 女 205 人 不明 4 人 合計 343 人

(2) 区別記載者数

1 区から 22 区まで全ての区で記載者があり、最小は 2 区と 22 区の 2 人、最大は 15 区の 58 人、不明 6 人。

(3) 年代別記載者数

区分されている全ての世代に記載があり、最小は 18 歳から 29 歳までの 30 人、最大は 60 歳代の 83 人、不明 6 人。

2 項目別内訳

記載内容は、1 人 1 件から、最大 9 件の記載があり、2 件以上について記載されているものについては、それぞれ別分類して 1 件とした。

分類の方法は、概ね事務分掌により分類したが、項目別で数が多いものについては事業名を参考にさらに細かく分類した。なお、賛成・反対の意見は別扱いとせず、1 つの項目とした (一部を除く)。

「活気のある (住みよい) 街づくりを希望します…」といったような、具体的な施策や内容などに触れられていないものについては、「市政運営」にくくって分類した。

3 項目別件数

前項の分類に従って作成した「自由意見記入欄項目別分類」で、分類した数は 110 項目 751 件。複数の課や事業に関わるものはそれぞれに掲載した。

項目別に数の多かったものは次のとおり (10 件以上)。

公共交通	63 件	窓口サービス	15 件
市政運営	54 件	空き家・空き地対策	14 件
動物園・遊園地	39 件	議員定数	13 件
商業振興	37 件	雇用対策・就労支援	12 件
人口減少対策	36 件	学校跡地利用	11 件
子育て支援	26 件	環境	11 件
観光振興	26 件	医療	11 件
合併	25 件	厚生総合病院	11 件
高齢者支援	23 件	情報発信	10 件
企業誘致	23 件	都市整備	10 件
道路整備	22 件	公園整備・管理	10 件
「市民の声」アンケート	18 件		

4 項目別件数（部局別）

部局別、項目別件数は次のとおり。

総合政策部	(17 項目 237 件)
--------------	----------------------

公共交通	63 件	ふるさと納税	2 件
市政運営	54 件	広聴	2 件
人口減少対策	36 件	シティブランディング	2 件
合併	25 件	都市間連携	2 件
「市民の声」アンケート	18 件	手数料	1 件
学校跡地利用	11 件	市有地管理	1 件
情報発信	10 件	ホームページ	1 件
公共施設管理	4 件	桐生市歌	1 件
財政	4 件		

総務部	(12 項目 60 件)
------------	---------------------

窓口サービス	15 件	職員の資質・サービス	2 件
市税	9 件	ネーミングライツ	1 件
庁舎管理	8 件	国際姉妹都市	1 件
職員の接遇	8 件	歴史	1 件
職員数	7 件	職員給与	1 件
人事・職員管理	6 件	契約	1 件

市民生活部	(16 項目 47 件)
--------------	---------------------

環境	11 件	野外焼却	2 件
ごみ収集	6 件	地域生活	1 件
交通安全	6 件	男女共同参画	1 件
防犯	5 件	動物愛護	1 件
自治組織	3 件	市民相談	1 件
防災	3 件	人権	1 件
市民参加	2 件	防犯灯	1 件
免許返納	2 件	騒音	1 件

保健福祉部 (15 項目 97 件)

子育て支援	26 件	医療助成	3 件
高齢者支援	23 件	福祉全般	2 件
医療	11 件	国民健康保険	2 件
厚生総合病院	11 件	健診	2 件
介護保険	4 件	介護予防	1 件
生活保護	4 件	介護施設	1 件
障害者雇用・支援	3 件	低所得者支援	1 件
保育園・認定こども園	3 件		

産業経済部 (10 項目 119 件)

商業振興	37 件	産業振興	2 件
観光振興	26 件	農業振興	2 件
企業誘致	23 件	鳥獣害対策	1 件
雇用対策・就労支援	12 件	地場産業振興センター	1 件
桐生八木節まつり	8 件	林業振興	1 件

都市整備部 (11 項目 116 件)

動物園・遊園地	39 件	道路維持・管理	1 件
道路整備	22 件	歴史まちづくり	1 件
空き家・空き地対策	14 件	緑化推進	1 件
都市整備	10 件	住宅支援	1 件
公園整備・管理	10 件	市営住宅	1 件
河川整備・管理	9 件		

地域振興整備局 (2 項目 2 件)

新里まつり	1 件	カリビアンビーチ	1 件
-------	-----	----------	-----

消防本部 (2 項目 2 件)

火災予防	1 件	救急搬送	1 件
------	-----	------	-----

水道局 (5項目 15件)

水道事業	7件	水道水	1件
下水道事業	4件	境野水処理センター	1件
水道料金	2件		

議会事務局 (4項目 16件)

議員定数	13件	議員活動	1件
議会運営	1件	市議会だより	1件

選挙管理委員会事務局 (1項目 1件)

選挙	1件
----	----

教育委員会管理部 (11項目 26件)

給食	7件	社会教育	1件
図書館	6件	堀マラソン大会	1件
公民館	3件	文化財	1件
スポーツ施設	3件	重伝建	1件
文化振興	1件	堀マラソン大会	1件
市民文化会館	1件		

教育委員会教育部 (4項目 13件)

学校教育	8件	通学	1件
通学路	3件	幼稚園	1件

『市民の声』アンケート

(第23回)

市民の皆様へ

桐生市では、このまちで暮らす皆さんが、住んでいて良かったと実感できるまちを目指し、広く皆さんの声を取り入れて市政を進めています。

そこで、今後の市政に反映させる資料とするため、23回目となるアンケート調査を行います。

実施にあたり、アンケートをお願いする人を2,000人とし、無作為に抽出したところ、あなたに回答をお願いすることになりました。

お忙しい中、誠に恐縮ですが、桐生市をより良くするため、ぜひ、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

令和元年7月

桐生市長 荒木 恵 司

記入方法について

- ・封筒の宛名のご本人がお答えください。やむを得ず、ご本人が回答できない場合はご家族の人がお答えください。
- ・筆記具は、鉛筆でもボールペンでも結構です。
- ・あなたの氏名を書く必要はありません。
- ・いずれの質問も、回答欄にある番号や該当する欄に○をつけていただく形式となっています。
- ・回答で「その他（ ）」に○をつけた場合には、具体的な内容を（ ）内に回答ください。「（理由： ）」も同様です。

- ・回答いただいたアンケートは、お手数ですが同封の返信用封筒に入れて、切手を貼らずに **7月31日（水）までに** 投かんしてください。

【このアンケートのお問い合わせ先】

桐生市役所 総合政策部

広報課広報広聴担当

電話番号 4 6 - 1 1 1 1 内線505・506

基本調査項目

【問1】あなたのお住まいの地区に○をつけてください。

- 1区（本町一～三丁目、横山町） 2区（本町四～六丁目）
3区（稲荷町、錦町一～三丁目、織姫町、美原町、清瀬町）
4区（新宿一～三丁目、三吉町一・二丁目、小梅町、琴平町）
5区（浜松町一・二丁目） 6区（仲町一～三丁目、川岸町、泉町、東町、高砂町、旭町）
7区（東一～七丁目）
8区（末広町、宮前町一・二丁目、堤町一～三丁目、巴町一・二丁目、元宿町）
9区（永楽町、小曾根町、宮本町一～四丁目、宮本町）
10区（東久方町一～三丁目、西久方町一・二丁目、天神町一～三丁目、平井町）
11区（境野町一～七丁目） 12区（広沢町一～三丁目、桜木町の一部）
13区（広沢町四～七丁目、広沢町間ノ島） 14区（梅田町一～五丁目）
15区（相生町一丁目の一部、相生町二丁目の一部を除く、相生町三～五丁目） 16区（川内町一～五丁目）
17区（菱町一～五丁目） 18区（相生町一丁目の一部を除く、相生町二丁目の一部、桜木町の一部）
19区（新里町赤城山・板橋・関・高泉・大久保・奥沢、新里町鶴ヶ谷の一部）
20区（新里町鶴ヶ谷の一部、新里町山上・小林・武井・野） 21区（新里町新川）
22区（黒保根町水沼・八木原・上田沢・下田沢・宿廻）

【問2】あなたの性別はどちらですか。

- ①女 ②男

【問3】あなたの年齢はおいくつですか。

- ①18・19歳 ②20～29歳 ③30～39歳 ④40～49歳 ⑤50～59歳 ⑥60～69歳
⑦70～79歳 ⑧80歳以上

【問4】あなたは桐生市に住んでどのくらいになりますか。

- ①1年未満 ②1年以上～5年未満 ③5年以上～10年未満
④10年以上～20年未満 ⑤20年以上～30年未満 ⑥30年以上

【問5】あなたの職業に○をつけてください。兼業の人は、本業と思われるほうに○をつけてください。

- ①自営業主、家族従業者（農・林・漁業、会社・工場・商店などの経営、自由業）
②勤め人（会社・工場・商店・官公庁などに勤務、パート・アルバイトを含む）
③学生 ④その他（家事専業、無職、その他）

【問6】職業をお持ちの人や学生の人にお聞きます。あなたの勤務先（事業所・工場・商店などの所在地）や通学先はどちらですか。

- ①桐生市 ②みどり市 ③太田市 ④館林市
⑤伊勢崎市 ⑥足利市 ⑦佐野市 ⑧前橋市
⑨上記の市以外で県内の市町村 ⑩上記の市以外で県外の市区町村

[問7] あなたの暮らしやお住まいの地区、桐生市についてお聞きします。次の項目について、あなたの実感に最も近いものに○をつけてください。

	大いに感じる	やや感じる	どちらともいえない	あまり感じない	まったく感じない	わからない
1. 桐生市の農林業は元気で活力がある	1	2	3	4	5	6
2. 桐生市の中心市街地、商店街はにぎわっている	1	2	3	4	5	6
3. 桐生市は企業誘致に取り組み、工場の建設などが進んでいる	1	2	3	4	5	6
4. 桐生市は働きやすい環境が整っている	1	2	3	4	5	6
5. 桐生市のものづくり産業は元気で活力がある	1	2	3	4	5	6
6. 桐生市は観光地として市外から人が訪れたい魅力のあるまちである	1	2	3	4	5	6
7. 桐生市は安心して子どもを産み、育てることができるまちである	1	2	3	4	5	6
8. 桐生市は高齢者にとって暮らしやすいまちである	1	2	3	4	5	6
9. 桐生市は障がいのある人にとって暮らしやすいまちである	1	2	3	4	5	6
10. お住まいの地区には困っている人を見かけたときに声をかけたり協力したりしやすい雰囲気がある	1	2	3	4	5	6
11. 桐生市は経済的に弱い立場の人の生活を支える仕組みや自立を促す仕組みが整っている	1	2	3	4	5	6
12. お住まいの地区には安心してかかることができる医療機関（病院や薬局など）が充実している	1	2	3	4	5	6
13. 自分は心身ともに健康的な生活を送ることができている	1	2	3	4	5	6
14. 自分は節電や環境に配慮した製品の購入など日頃から地球環境に配慮した生活をしている	1	2	3	4	5	6
15. 自分は日頃から、ごみの減量や資源のリサイクルを意識して生活をしている	1	2	3	4	5	6
16. 桐生市は消防や救急の体制が十分に整っている	1	2	3	4	5	6
17. 自分は災害（地震・火災・風水害）に対する備えが十分であるという安心感を持っている	1	2	3	4	5	6
18. お住まいの地区は治安が良く、安心して暮らすことができる	1	2	3	4	5	6
19. 桐生市は消費者のための情報提供や相談体制が十分に整っている	1	2	3	4	5	6
20. お住まいの地区では子どもが社会で生活していく上で必要な学力や体力、生活習慣などをしっかり身につけている	1	2	3	4	5	6

	大いに感じる	やや感じる	どちらともいえない	あまり感じない	まったく感じない	わからない
21. お住まいの地区では子どもが健全に育っている	1	2	3	4	5	6
22. 桐生市は児童・生徒・保護者のための教育に関する相談・支援体制が充実している	1	2	3	4	5	6
23. 桐生市は生涯にわたって学習できる環境が充実している	1	2	3	4	5	6
24. 自分は桐生市の芸術や文化、文化財に愛着や誇りを感じる	1	2	3	4	5	6
25. 桐生市には気軽に運動をする場所や機会、体を動かしたりする環境が整っている	1	2	3	4	5	6
26. 桐生市は市中心部や周辺都市へ快適にアクセスできる道路網が整っている	1	2	3	4	5	6
27. お住まいの地区の公共交通（鉄道やバス）は利便性が良い	1	2	3	4	5	6
28. 桐生市は地域の特性を踏まえた、良好な景観のあるまちづくりができています	1	2	3	4	5	6
29. 桐生市は重伝建地区をはじめとする歴史的まち並みを生かしたまちづくりが進んでいる	1	2	3	4	5	6
30. 桐生市は住み続けたいくなる生活の場としての住環境が整っている	1	2	3	4	5	6
31. お住まいの地区はいつでも安心して水道が使える	1	2	3	4	5	6
32. お住まいの地区は下水道や浄化槽などが整備され、快適に暮らすことができる	1	2	3	4	5	6
33. 桐生市の自然環境は良い	1	2	3	4	5	6
34. お住まいの地区には安全で快適に利用できる公園や、緑地が整備されている	1	2	3	4	5	6
35. 桐生市では地域の課題解決に市民と行政が協力して取り組んでいる	1	2	3	4	5	6
36. 桐生市は市民の声を適切に聴き取り、積極的に情報を発信している	1	2	3	4	5	6
37. 桐生市は男女問わず誰もが家庭・職場・地域など、あらゆる場面で活躍できる環境が整っている	1	2	3	4	5	6
38. 桐生市は国籍や文化の異なる人々にとっても住みやすいまちである	1	2	3	4	5	6
39. 自分は桐生市に対して、まちとしての価値や魅力を感じる	1	2	3	4	5	6
40. 桐生市では効率的な行政運営が行われ、必要な行政サービスが提供されている	1	2	3	4	5	6
41. 桐生市は市民生活の利便性向上のために積極的に他の都市などと連携している	1	2	3	4	5	6

[問8] 次の項目についてお聞きします。該当する答えに○をつけてください。

1. 現在、あなたはどの程度「幸せ」ですか。「とても幸せ」を10、「とても不幸」を0とすると、どのくらいになりますか。

とても不幸 ←————→ とても幸せ

現在の幸福度	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
--------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----

2. 広報きりゅうを読んでいますか。
①ほとんど読む ②必要なところだけ読む ③たまに読む ④読まない
3. 広報きりゅうの本文に使用している文字の大きさはどうですか。
①大きすぎる ②少し大きい ③ちょうど良い ④少し小さい ⑤小さすぎる
4. きりゅう市議会だよりを読んでいますか。
①ほとんど読む ②必要なところだけ読む ③たまに読む ④読まない
5. きりゅう市議会だよりのページ数はどうですか。
①ちょうど良い ②ページ数を増やしたほうがよい ③ページ数を減らしたほうがよい
6. きりゅう市議会だよりの色彩はどうですか。
①今のままで良い ②モノクロにしたほうがよい ③フルカラーにしたほうがよい
7. 桐生市公式ホームページをどのくらいの頻度で利用しますか。
①ほぼ毎日 ②週に数回程度 ③月に数回程度 ④年に数回程度
⑤ほとんど利用しない ⑥まったく利用しない
8. 桐生市公式ホームページのトップページのデザイン・レイアウトはどうですか。
①良い ②普通 ③良くない ④わからない
9. 桐生市公式ホームページの基本メニュー（暮らし・手続き、子育て・教育、高齢者、観光・文化、産業・ビジネス、安全・安心、施設、市政）の分類数はどうですか。
①多い ②ちょうど良い ③少ない ④わからない
10. 桐生市公式ホームページは使いやすいですか。
①使いやすい ②普通 ③使いにくい ④わからない
11. 毎年、市内の大型ショッピングセンターなどで火災予防イベントを開催していることを知っていますか。
①知っている ②知らなかった
12. 今後、開催する火災予防イベントに出かけてみたいと思いますか。
①出かけてみたい ②機会があれば出かけたたい ③出かけたくない ④わからない
13. 消防本部が主催する救急講習に参加したことがありますか。
①参加したことがある ②参加したことがない ③救急講習の開催を知らなかった

14. 消防団は、地域防災の要として、火災などの災害対応のほか、平常時は火災予防広報などの活動を行っていることを知っていますか。

- ①知っている ②知らなかった

15. 桐生市の子育て支援に満足していますか。

- ①満足 ②どちらかといえば満足 ③どちらかといえば不満 ④不満 ⑤わからない

16. 妊娠・出産・子育ての場として満足していますか。

- ①満足 ②どちらかといえば満足 ③どちらかといえば不満 ④不満 ⑤わからない

17. かかりつけ医（歯科医を含む）を決めていますか。

- ①決めている ②決めていない

18. 継続的に運動（散歩やラジオ体操など、意識して体を動かすこと）をしていますか。

- ①している ②していない

環境に対する意識や行動についてお聞きします（市民生活部環境課）

新たな環境基本計画の策定に向けて、環境に対する意識や行動についてお聞きします。次の項目について、該当する答えの番号に○をつけてください。

【問9】 興味・関心があるものはどれですか。（複数回答可）

- ①生態系の保全 ②自然とふれあいの場の多さ ③空気のすがすがしさ
④水の清らかさ ⑤音や振動などの静けさ ⑥有害物質等による環境汚染の防止
⑦緑の豊かさ ⑧一人あたりのごみの排出量 ⑨資源の再利用、リサイクルの推進
⑩ごみの適正処理 ⑪地産地消の推進 ⑫水の循環機能（有効利用）
⑬地球温暖化対策の推進 ⑭その他の地球環境問題への対策 ⑮環境保全意識の向上
⑯環境教育の充実 ⑰環境保全活動への取り組み

【問10】 現状で満足しているものはどれですか。（複数回答可） ※選択肢は前問（問9）と同じ

- ①生態系の保全 ②自然とふれあいの場の多さ ③空気のすがすがしさ
④水の清らかさ ⑤音や振動などの静けさ ⑥有害物質等による環境汚染の防止
⑦緑の豊かさ ⑧一人あたりのごみの排出量 ⑨資源の再利用、リサイクルの推進
⑩ごみの適正処理 ⑪地産地消の推進 ⑫水の循環機能（有効利用）
⑬地球温暖化対策の推進 ⑭その他の地球環境問題への対策 ⑮環境保全意識の向上
⑯環境教育の充実 ⑰環境保全活動への取り組み

市内の移動についてお聞きします

(総合政策部広域連携推進室)

人口減少や自動車利用者の増加などで、鉄道やバス、タクシーといった公共交通機関の利用者は減少しています。将来にわたり持続可能な公共交通にしていくために、一定数の利用者と収益を確保していくことは、必要不可欠な課題です。こうした状況を踏まえて、次の項目について、該当する答えの番号に○をつけてください。

[問14] 日常の移動手段には何を利用していますか。(複数回答可)

- ①鉄道 ②おりひめバス ③予約制乗合・デマンドタクシー ④タクシー
⑤本人が運転する自動車 ⑥家族などが運転する自動車 ⑦バイク
⑧自転車 ⑨徒歩のみ

[問15] 問14で①～⑦と答えた人にお聞きします。主な利用の目的は何ですか。

(複数回答可)

- ①通院 ②通勤 ③通学 ④買い物 ⑤趣味・習い事 ⑥外食
⑦その他 ()

[問16] 過去1年間、鉄道をどのくらい利用しましたか。

- ①年に1回 ②半年に1回 ③2～3か月に1回 ④月に1回 ⑤2週に1回
⑥週に1回 ⑦2～3日に1回 ⑧ほぼ毎日 ⑨1回も乗らなかった

[問17] 過去1年間、バスをどのくらい利用しましたか。

- ①年に1回 ②半年に1回 ③2～3か月に1回 ④月に1回 ⑤2週に1回
⑥週に1回 ⑦2～3日に1回 ⑧ほぼ毎日 ⑨1回も乗らなかった

[問18] 過去1年間、タクシーをどのくらい利用しましたか。

- ①年に1回 ②半年に1回 ③2～3か月に1回 ④月に1回 ⑤2週に1回
⑥週に1回 ⑦2～3日に1回 ⑧ほぼ毎日 ⑨1回も乗らなかった

防災に関する意識や日頃からの災害への備えについてお聞きします。次の項目について、該当する答えの番号に○をつけてください。

[問19] 日頃から、どのような備えをしていますか。(複数回答可)

- ①家族との連絡方法の確認 ②避難場所や経路の確認 ③水や食料の準備
- ④非常用持出品(非常用ラジオ、懐中電灯、医薬品など)の準備
- ⑤住宅の耐震診断や補強工事 ⑥家具などの転倒防止 ⑦ブロック塀の点検や倒壊防止
- ⑧具体的な備えはしていない

[問20] 水(1人1日3リットル)や食料は家族何日分を備蓄していますか。

- ①1日分 ②2日分 ③3日分 ④4～6日分 ⑤7日(1週間)分以上 ⑥用意していない

[問21] 災害時に情報を入手する方法は何ですか。(複数回答可)

- ①テレビ(データ放送を含む) ②ラジオ ③防災行政無線(新里・黒保根地区)
- ④防災ラジオ ⑤インターネット(ツイッター、フェイスブックを含む)
- ⑥携帯電話・スマートフォン ⑦特に考えていない

※防災行政無線…災害時、市が住民に情報を提供するための無線通信システムのこと。
新里町、黒保根町に設置。
※防災ラジオ…市が有償で配布している、緊急情報を受信すると自動起動しお知らせする「桐生市防災ラジオ」のこと。

[問22] 自宅以外へ避難しなければならない事態に備えて、どこへ避難するか決めていますか。また、決めている場合、どこへ避難しますか。(複数回答可)

- ①避難所・避難場所として指定されている学校や公民館など
- ②地元の自治会や町会で決めている特定の建物や場所など
- ③市内の親戚や知人宅 ④市外の親戚や知人宅 ⑤特に決めていない

[問23] 災害に対しては、地域住民が自主的に連帯して防災活動を行うことが重要です。こういった地域防災活動に参加したいと思いますか。

- ①参加したい ②どちらかといえば参加したい ③どちらかといえば参加したくない
- ④参加したくない

桐生が岡動物園の有料化についてお聞きします（都市整備部公園緑地課）

桐生が岡動物園は、「無料の市営動物園」として市内外に定着し、入園料無料が大きな魅力のひとつですが、年間の維持管理費（人件費を含む）はおよそ1億円かかっています。また、老朽化した飼育施設も多くなり、この先の財政状況を考えると、無料開園での維持が年々難しくなっていくと考えられます。こうした状況を踏まえて、次の項目について、該当する答えの番号に○をつけてください。

【問24】 動物園をどのくらいの頻度で利用していますか。

- ①年1回以上 ②2～3年に1回 ③4～5年に1回 ④5年以上利用なし

【問25】 動物園の有料化についてどう思いますか。

※有料化した場合、ゲートや券売機の設置、それに伴う人員配置が必要となり、新たな経費が発生します。

- ①現状の規模を維持して、無料開園を継続するべき
②現状の規模を縮小して、無料開園を継続するべき
③現状の規模を維持して、有料化を実施するべき
④現状を整備（拡張）して、有料化を実施するべき

【問26】 入園料がかかることで来園者が減少することも予想されるため、魅力を維持する整備が必要になると考えますが、どのような整備が必要だと思えますか。

（複数回答可）

- ①新規動物の導入 ②老朽化した飼育施設の改修
③売店、レストランなどの飲食施設の充実 ④トイレの改修や設備の充実
⑤ベンチなどの休憩施設の充実 ⑥園路整備など歩行の向上
⑦動物資料館など、学習施設の充実

【問27】 有料化に必要な整備を行った上で、入園料（大人・子ども）はどのくらいにするのが妥当と思えますか。それぞれに○をつけてください。

※同規模の公立有料動物園を参考に試算した場合、大人400円、子ども200円の入園料としたとき、維持管理費のおおむね3割の収入が見込めます。ただし、有料化に伴う入園者の減少で想定収入が減少する場合があります。

<大人料金（中学生以上）>

- ①500円超 ②500円 ③400円 ④300円 ⑤300円未満

<子ども料金>

- ①300円超 ②300円 ③200円 ④100円 ⑤100円未満

住宅の耐震についてお聞きします

(都市整備部建築指導課)

市では建築物の耐震化を促進するため、桐生市第2期耐震改修促進計画を策定し、昭和56年以前の木造住宅の耐震診断や、耐震改修費用への補助などを実施しています。こうした状況を踏まえて、次の項目について、該当する答えの番号に○をつけてください。

[問28] 耐震に関して知っているものに○をつけてください。(複数回答可)

- ①桐生市第2期耐震改修促進計画(建物の耐震化を促進するための計画)
- ②桐生市地震防災マップ(地震が起きた時の地盤の揺れやすさなどを示した地図)
- ③桐生市木造住宅耐震診断技術者派遣事業(一定要件の建築物の耐震診断費を補助)
- ④桐生市木造住宅耐震改修事業(一定の耐震改修工事費用の一部を補助)
- ⑤耐震改修促進税(一定の耐震改修工事を行った場合、改修工事を完了した年の所得税額を一定額控除)

[問29] お住まいの住宅について、各項目で該当するものに○をつけてください。

<所有状況> ①持ち家 ②賃貸

<建築時期> ①昭和56年5月31日以前 ②昭和56年6月1日以後 ③わからない

<構造> ①木造 ②木造以外

[問30] 問29の<所有の状況>で①と答えた人にお聞きします。耐震診断を行ったことがありますか。

- ①耐震診断を行ったことがある
- ②耐震診断を行う予定がある、もしくは行いたい
- ③耐震診断を行いたいが行えない
- ④耐震診断は必要ない

[問31] 問29の<所有の状況>で①と答えた人にお聞きします。耐震改修を行ったことがありますか。

- ①耐震改修を行ったことがある
- ②耐震改修を行う予定がある、もしくは行いたい
- ③耐震改修を行いたいが行えない(理由:)
- ④耐震改修は必要ない

[問32] 問31で④と答えた人にお聞きします。なぜ、耐震改修が必要ないのですか。

- ①耐震性がある ②改修よりも新築の方がいい
- ③後継者がいない ④その他

水道事業は、開始以来88年が経過し、創設時の施設や水道管の老朽化が著しく、大規模な整備が課題となっています。一方で人口減少などに伴い、水道料金収入は減少していくことが推測されます。このような状況の中、事業が安定的に継続できるよう「桐生市水道事業経営戦略」を策定しました。こうした状況を踏まえて、次の項目について、該当する答えの番号に○をつけてください。

[問33] 桐生市水道局が行っている水道事業全般について満足していますか。

- ①満足 ②どちらかといえば満足 ③どちらともいえない

④どちらかといえば不満

⑤不満

[問34] 問33で④・⑤と答えた人にお聞きします。その理由は何ですか。

- ①安全性に不安があるから ②水道料金が高いから
 ③漏水など事故時の対応が遅いから ④水道水がおいしくないから
 ⑤その他 ()

[問35] 全国的に老朽化した施設整備の時期を迎えている状況の中、今後の老朽化した水道管の布設替えや施設、設備の整備についてどう思いますか。

- ①水道料金が値上がりするとしても、水道施設などの整備をしたほうがよい
 ②水道料金への影響を抑え、最小限の整備にとどめたほうがよい
 ③水道料金の値上げには絶対に反対であり、壊れたら修理すればよい
 (修理するためには水道が一時止まる場合があります)
 ④わからない

[問36] 今後の水道事業に望むことを教えてください。(3つまで回答可)

- ①安全な水道水の供給 ②断水のない安定的な水道水の供給
 ③おいしい水への取り組み ④災害に強い水道への取り組み
 ⑤環境に配慮した事業への取り組み ⑥水道料金支払方法の多様化
 ⑦民間活力の導入 ⑧広域の事業団体との事業連携

公共下水道事業は、開始以来50年以上が経過し、老朽化が進む下水道施設の更新が必要です。一方、公共下水道の未整備地域では、合併浄化槽を設置している世帯が多くなっています。このような中、施設の整備や更新には多額の費用が必要であることから、公共下水道サービスを安定的に提供するための方針をまとめているところです。こうした状況を踏まえて次の項目について、該当する答えの番号に○をつけてください。

【問37】 公共下水道の役割として重点的に取り組むべきだと思うことはどれですか。

- ①水洗トイレが使えるようになること
- ②汚れた水をきれいにし、川的环境を保つこと
- ③大雨による水害からまちを守ること
- ④側溝などがきれいになり、まち並みがきれいになること

【問38】 公共下水道事業は利用者からの使用料収入が主な財源であることを知っていますか。

- ①知っている
- ②知らない

【問39】 今後、人口減少や高齢化が進む中、公共下水道と合併浄化槽との適切な役割分担を考え、整備区域を見直すなど、整備方法を検討する必要があると思いますか。

- ①公共下水道と合併浄化槽との適切な役割分担を考えながら整備方法を検討したほうがよい
- ②今まで通り公共下水道を整備したほうがよい
- ③どちらともいえない

【問40】 桐生市の公共下水道事業は、施設の老朽化が進んでいます。老朽化した施設の更新を行わないと、日常生活に支障が出る可能性があります。今後、施設の更新時期を迎えた場合、更新の必要性についてどう思いますか。

- ①使用料が値上がりするとしても、適切な時期に更新を行ったほうがよい
- ②施設が壊れた場合、一時的に生活に支障が出ることは仕方ないので、現状の使用料の範囲内で対策を行ったほうがよい
- ③わからない

【問41】 これからの公共下水道事業について、何を期待しますか。

- ①降雨時における低い土地への浸水対策
- ②汚水処理による河川水質改善などの環境保全
- ③下水処理水や下水汚泥の有効活用
- ④健全経営の維持
- ⑤経営情報の公開
- ⑥特にない

空き家の利活用についてお聞きします

(都市整備部空き家対策室)

適正な管理がされていない空き家は、放っておけば様々な問題を起こすおそれがあるため、市では空き家の利活用や解体を支援し、移住・定住につなげていく事業を実施しています。こうした状況を踏まえて、次の項目について、該当する答えの番号に○をつけてください。

[問42] あなたまたは家族が市内に空き家を所有していますか。

- ①所有しており住む予定がある ②所有しており売る予定がある
- ③所有しており貸す予定がある ④所有しており解体する予定がある
- ⑤所有しているが未定である ⑥所有していない

[問43] 空き家や空き地情報をホームページなどで発信する「空き家・空き地バンク」事業を市で実施しているのを知っていますか。

- ①知っていて利用したことがある ②知っているが利用したことがない
- ③知らないし利用してみたくない ④知らなかったが利用してみたい
- ⑤わからない

[問44] 空き家のリフォームや解体に使える補助金を市が実施しているのを知っていますか。

- ①知っていて利用したことがある
- ②知っているが利用したことがない
- ③知らないし利用してみたくない
- ④知らなかったが利用してみたい
- ⑤あてはまる物件を持っていない
- ⑥わからない

[問45] 問44で②・③と答えた人にお聞きします。利用したことがない、または利用してみたくない理由は何ですか。（複数回答可）

- ①手続きが面倒くさそうだから ②助成金が少ないから
- ③市の助成は様々な制約がありそうだから
- ④補助の要件に合わなそうだったから ⑤使える物件がないから

最後に、市政について、何かお気づきのことや考えていることがありましたら、ご自由にお書きください。

ご協力、大変ありがとうございました。

自由意見記入欄